Canon

LX-D5500
LX-P5500
カラーラベルプリンター

ユーザーズガイド

PUB No. 4Y1-8572-030

ガイドと CD-ROM の使いかた

スタートガイド（同梱の冊子）

本製品を初めてお使いになるときは必ずお読みください。
スタートガイドは、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、プリンターを使用するまでに必要な準備（ソフトウェアのインストール方法など）について説明しています。

プリンターソフトウェア（同梱の CD-ROM）

プリンタードライバー、ユーザーズガイド、製品安全データシートが収録されています。

■ プリンタードライバー

本製品を Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP で使用するための付属ソフトウェアです。
プリンタードライバーのインストール方法については、スタートガイドをお読みください。

■ ユーザーズガイド

本製品の具体的な操作方法を説明した電子マニュアルです。
基本的な印刷手順、メンテナンスの方法、困ったときの対処方法、そして、プリンター本体やプリンタードライバーに関するすべての機能を説明しています。
目次および索引から、目的の項目を表示させることができます。
ユーザーズガイドをご覧になるには Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。
お使いのコンピューターに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールを行ってください。

■ 製品安全データシート (MSDS)

化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、本製品で使用するインクタンク内のインクに含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱上の注意、環境への影響などに関する情報を記載しています。
製品安全データシートをご覧になるには Adobe Reader が必要です。お使いのコンピューターに Adobe Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードして、インストールを行ってください。

メモ

- 製品安全データーシート（MSDS) は、その内容が変更される場合があります。最新版はキヤノンのホームページ http://canon.jp/ecology にて提供しております。あわせてご確認ください。

ヘルプ機能

本製品では、スタートガイドやユーザーズガイドのほかにも、プリンタードライバーの操作中にヘルプ機能によってプリンターの機能や操作、困ったときの対処方法などを見ることができます。
ヘルプ機能は、プリンタードライバーの画面にある［ヘルプ］（またはメニューの［ヘルプ］）でご利用になれます。
また、文字列を右クリックして表示する「コンテキストヘルプ」にも対応しています。

目次

はじめに

このたびは、カラーラベルプリンター LX-D5500（染料モデル）/ LX-P5500（顔料モデル）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品の機能を十分にご理解いただき、効果的にご利用いただくため、ご使用になる前に本書をひととおりお読みください。
本書では、本製品をご活用いただくための情報が説明されています。

オンライン登録について

ユーザー登録及びアンケートへのご協力をお願いいたします。登録されますと、新製品やアップグレードについてご案内させていただきます。

http://cweb.canon.jp/cardprinter/purchase.html

マークについて

本書では、次のようなマークを使用しています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

掲載画面について

- 本書では、プリンタードライバーの設定画面は LX-D5500（染料モデル）/ Windows 7 の画面を使用しています。
- 本プリンタードライバーの画面の表示内容や操作のしかたは、特に記載がない限り LX-P5500（顔料モデル）/Windows XP / Windows Vista でも同様です。

商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat Reader、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標です。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

- Microsoft Windows 8 日本語版を Windows 8 と表記しています。
- Microsoft Windows 7 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- Microsoft Windows Vista 日本語版を Windows Vista と表記しています。
- Microsoft Windows XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft Windows を Windows と表記しています。

お客様へのお願い

- 本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。
- 本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- 本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

カラープリンター使用に関する注意事項

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条
等

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本装置は、事務所等で使用される装置ですが、電波障害規制（VCCI）では、家庭環境でも使用でき得る規制値を満たしています。

国際エネルギースタープログラムについて

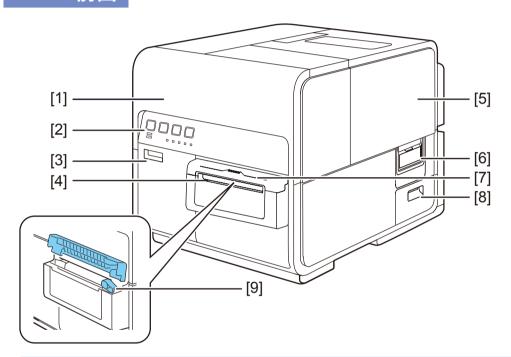
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

第 1 章 お使いになる前に

本製品をお使いになる前に、必要な準備や、覚えていただきたい基本的な事柄について説明します。

1-1 各部の名称と働き

本プリンターの各部の名称と働きを説明します。

1-1-1. 前面

［1］ **上ユニット**

搬送路に詰まった用紙を取り除くときや、内部を清掃するときに開きます。
内部にはプリントヘッドが収納されています。

［2］ **操作パネル**

電源のオン、オフとプリンターの状態を示すランプがついています。

［3］ **インクタンクドア**

インクタンクを交換する場合に開閉します。

［4］ **排紙口**

用紙が排紙されます。

［5］ **ロールカバー**

給紙部を保護するためのカバーです。

[6]　**ロールカバー取っ手**

ロールカバーを開くときに使います。

[7]　**カッターカバー**

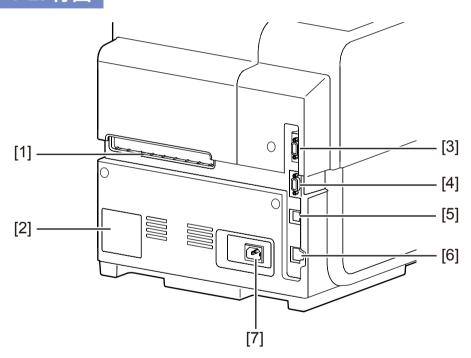
手動カッターを操作する場合に開きます。

[8]　**メンテナンスカートリッジドア**

メンテナンスカートリッジを交換する場合に開閉します。

[9]　**手動カッター**

排紙された用紙を手動でカットします。

1-1-2. 背面

[1]　**背面給紙口**

ファンフォールド紙を使用する場合の給紙口です。

[2]　**定格銘板ラベル**

プリンター識別のためのシリアル番号が記載されています。（プリンターの修理を受ける場合やユーザー登録を行う場合に必要になります）

[3]　**RS232C コネクター**

拡張用インターフェイスです。

［4］ **RS232C コネクター**

外部機器接続用インターフェイスです。

［5］ **USB コネクター**

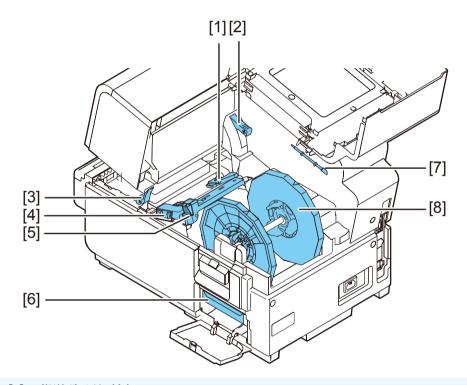
USB ケーブルを接続します。

［6］ **LAN コネクター**

LAN ケーブルを接続します。

［7］ **電源コネクター**

電源ケーブルを接続します。

1-1-3. 本体内部

［1］ **搬送ガイド（左）**

用紙をまっすぐ搬送させるための固定ガイドです。

［2］ **上ユニットオープンレバー**

上ユニットを開くときに押し下げます。

［3］ **ピンチローラー圧解除レバー**

用紙が詰まったときに手前に倒します。

［4］ **搬送ガイド（右）**

用紙をまっすぐ搬送させるためと用紙の幅を検知するためのガイドです。

［5］ **用紙ガイド**

用紙が浮き上がらないためのガイドです。

［6］ **メンテナンスカートリッジ**

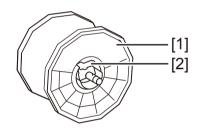
クリーニングなどで不用になったインクを回収するためのカートリッジです。

［7］ **クリーニングスティック**

搬送部の清掃用スティックです。

［8］ **ロールホルダー**

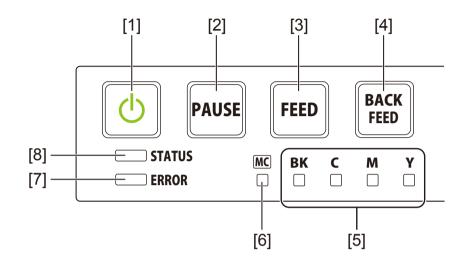
用紙をセットするためのホルダーです。

1-1-4. ロールホルダー

［1］ **ホルダーストッパー**

用紙が抜けないようにするためのストッパーです。

［2］ **ホルダーストッパー固定 / 解除レバー**

ホルダーストッパーのロックを固定 / 解除するためのレバーです。ホルダーストッパーの取り付け / 取り外しを行うときに使用します。

1-1-5.操作パネル

[1] 電源キー / 電源ランプ

点灯	電源オン状態です。
点滅	スリープ状態です。
消灯	電源オフ状態です。

[2] ポーズキー

印刷中	押すと印刷の一時停止を行います。
一時停止中	押すと印刷を再開します。

[3] フィードキー

押すと用紙を 1 ページ送ります。押し続けると用紙を送り続けます。

[4] バックフィードキー

押すと用紙を 1 ページ戻します。押し続けると用紙をバックフィードします。ただし、バックフィード可能な長さは、累積で 300mm 未満です。

[5] インク警告ランプ

左から、Bk（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のインク残量を、以下の LED 表示状態により示します。

点灯	インクなしまたはインクタンク未装着です。
点滅	インク残量が少なくなりました。
消灯	インクは十分あります。

［6］	メンテナンスカートリッジ警告ランプ	
	点灯	満タン状態です。
	点滅	もうすぐ満タンです。
	消灯	十分な余裕があります
［7］	エラーランプ	
	点灯	オペレーターコールエラーです。 （ステータスモニターをご確認ください）
	点滅	サービスマンコールエラーです。 （ステータスモニターをご確認ください）
	消灯	正常に動作しています。
［8］	ステータスランプ	
	点灯	オンライン状態です。
	点滅	動作中を示します。 （ステータスモニターをご確認ください）
	消灯	オフライン状態です。 （ステータスモニターをご確認ください）

重要

- 印刷中にインクタンクドアやメンテナンスカートリッジドアを開けると、エラーになり印刷が中断されます。インクタンク交換時、メンテナンスカートリッジ交換時や上ユニット開閉時以外は、開けないようにしてください。
- 上ユニットに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また上ユニットはゆっくりと開閉してください。

1-1-6. オンラインとスリープ

オンライン状態：コンピューターから印刷を行える状態です。ステータスランプが点灯します。
スリープ状態　：コンピューターからの指示や印刷データは受け付けますが電源ランプは点滅状態となり、ステータスランプは消灯します。

1-2 コンピューターと接続する

コンピューターとプリンターの接続方法について説明します。
本プリンターは Hi-Speed USB と LAN に対応しています。

重要

- USB ケーブルは、コンピューターやプリンターの電源オンの状態でも抜き差しすることはできますが、次の場合はケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
  - コンピューターの起動中（デスクトップ画面が表示されるまでの間）
  - プリンターの印刷中
  - プリンタードライバーのインストール中

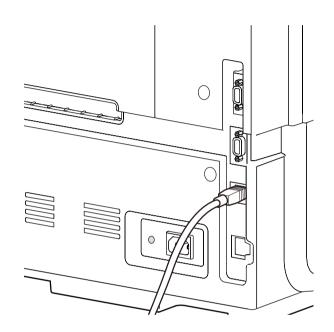
  コンピューターやプリンターが電源オン状態のときにケーブルを外す場合は、コンピューター側のコネクターを抜くようにしてください。また、ケーブルを差し直す場合は、5 秒以上間隔を空けて差し込んでください。間隔が短いと正しく動作しない場合があります。

メモ

- USB ケーブルや LAN ケーブルなどは同梱されていません。お使いのコンピューターに合わせて、市販のケーブルをご用意ください。

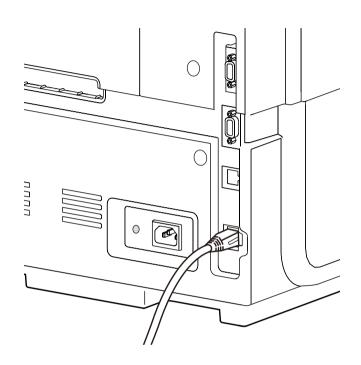
1-2-1.USB ケーブルで接続する

1 **プリンターとコンピューターを USBケーブルで接続します。**

USB ケーブルのシリーズ B タイプのコネクターを本プリンター背面の USB コネクターへ接続し、次にコンピュータ側を接続します。

メモ

- 接続するコンピューターにプリンタードライバーがインストールされていない場合は、USB ケーブルを接続する前にプリンタードライバーのインストールを行ってください。
- プリンタードライバーのインストールについては、付属のスタートガイドをお読みください。

1-2-2.LAN ケーブルで接続する

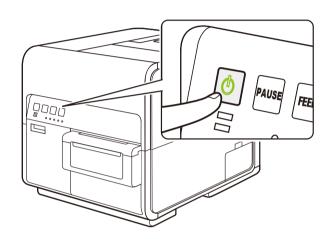
1 プリンターを LANケーブルでネットワーク（TCP/IP）に接続します。

メモ

- カテゴリー 5 対応のツイストペアケーブルをご使用ください。
- 社内の LAN に接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 接続するコンピューターにプリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンタードライバーのインストールを行ってください。
- プリンタードライバーのインストールおよびネットワーク接続については、付属のスタートガイドをお読みください。

1-3 電源を入れる /切る

電源の入れかたと切りかたについて説明します。

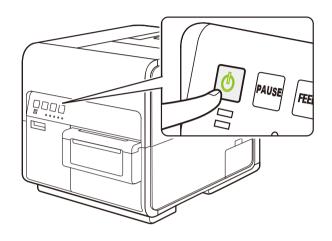
1-3-1. 電源を入れる

電源ケーブルが差し込まれているのを確認して、プリンターの電源を入れます。

1 **電源キーを押します。**
しばらくして、印刷できる状態になります。
オンライン状態のときは、STATUS ランプが点灯します。

メモ

● プリンターがスリープ状態（電源ランプ点滅）のときは、電源キーを押すとオンライン状態になります。なお、印刷を行う場合は、スリープ状態のまま、コンピューターから印刷データを送るとオンライン状態に切り替わり、印刷が開始されます。

1-3-2. 電源を切る

1 **電源キーを 1 秒以上長押しします。**

電源ランプがゆっくり点滅して、電源オフになります。

メモ

- 印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的にスリープ状態から電源オフへ切り替えることができます。

➡「3-8-2. スリープタイマーとオフタイマー（P.108）」

重要

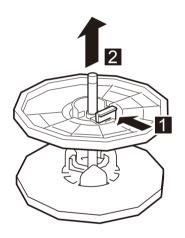
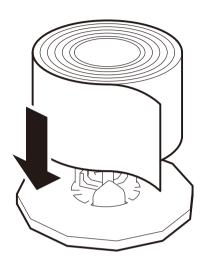
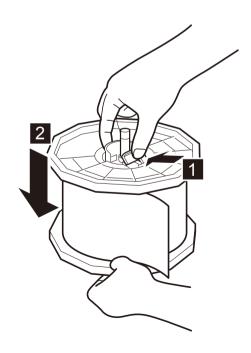
- プリンターを長期間ご使用にならない場合
  - 用紙の変色等を防ぐために用紙をプリンターから外して、付属のビニール袋または箱の中に入れて、高温、多湿および直射日光を避けて保管してください。
  - 本体に差し込まれている電源コード、インターフェイスケーブルを外して下さい。

1-4 用紙をセットする

用紙をロールホルダーにセットしてから、本機にセットするまでの手順を説明します。

1-4-1. 用紙をロールホルダーにセットする

用紙をロールホルダーにセットする手順を説明します。

1 ホルダーストッパー解除レバーを押しながらロールホルダーからホルダーストッパーを取り外します。

2 ロール紙を図のような向きにして、ロールホルダーに隙間なく突き当たるまで、しっかりとセットします。

3 ホルダーストッパー解除レバーを押しながらホルダーストッパーを突き当たるまでしっかりと差し込みます。

ホルダーストッパー解除レバーから指を離してセット完了です。

メモ

● 本プリンターで使用できる用紙の種類は次のとおりです。

用紙の種類	LX-D5500（染料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）	内容
[マットコート紙]	○	○	通常の印刷用紙のように幅広い用途に使用できる無光沢の用紙です。
[光沢紙]	○	○	光沢性を有する用紙です。
[合成紙]	○	○	耐久性や耐水性に優れた用紙です。
[薄紙マットコート紙]	○	○	薄紙タイプのコート紙です。
[白 PET]	○	×	素材の伸び縮みが少なく破れにくいフィルムタイプのメディアです。

● 用紙についての詳細や用紙の入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

メモ

● ロールホルダーをオプションでご用意しています。
（複数のロール紙を使用する場合、オプションのロールホルダーを用意しておくと、ロール紙を差し替える手間が省けます）
入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
また、ご購入の際は、以下の型番が記載されていることをご確認ください。

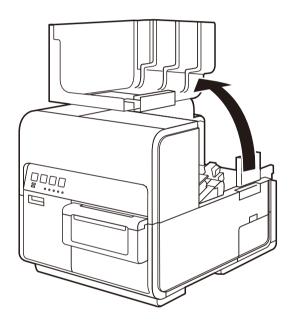
LX-D5500/LX-P5500 用ロールホルダー：型式名 RH-L01

1-4-2. 本体にセットする

用紙を本体にセットする方法を説明します。

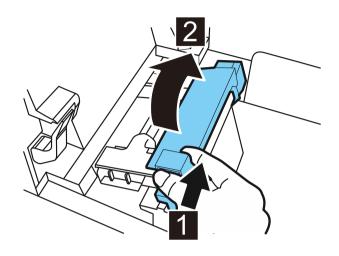
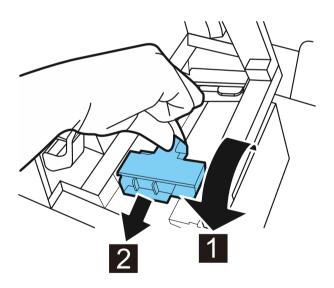
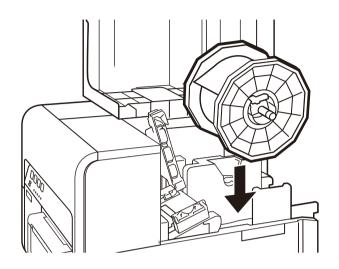
1 **電源ランプが点灯していることを確認します。**

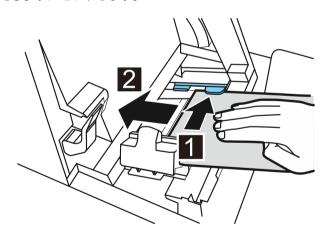
ランプが点灯または点滅していない場合は、電源キーを押して電源オンにしてください。

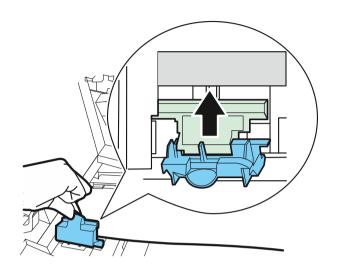
2 **ロールカバーを開きます。**

メモ

● 用紙セット手順内の「搬送ガイド（右）」「搬送ガイド（左）」は、プリンター正面から見た位置を示しています。

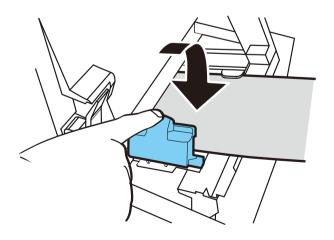
➡「1-1-3. 本体内部（P.6）」

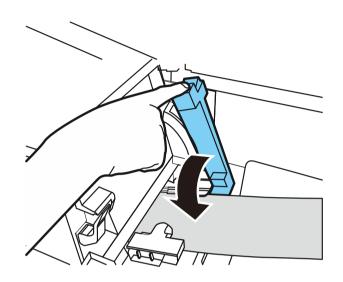
3 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。

4 搬送ガイド（右）を開いて、右側に止まる位置までスライドさせます。

5 ロールホルダーを本体にセットします。

6 用紙をセットします。

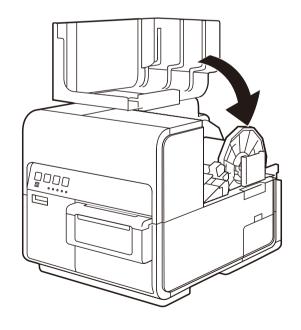
用紙を搬送ガイド（左）の下を通して、左側面のガイドに沿わせながら、給紙口の奥のローラーに突き当たるようにセットします。

給紙口の奥のローラーに突き当たったら、自動的に用紙が少しだけ引き込まれます。

7 搬送ガイド(右)を用紙の台紙部の幅に合わせて突き当てます。

重要

- 紙づまりの原因となりますので、搬送ガイド(右)を用紙端面に強く押しつけないでください。

8 搬送ガイド(右)をゆっくり倒してロックします。

9 カチッと音がするまで、用紙ガイドをゆっくり倒してロックします。

ロックされると、用紙の搬送が自動的に行われます。

10 ロールカバーを閉じます。

準備完了です。

メモ

- 用紙に大きなたるみがあるとロールカバーと干渉しますので、大きくたるんでいたら用紙を巻いて適度にたるみを取ってください。
- 用紙がうまくセットされていなかった場合やジャムが発生した場合は、印刷を開始した時点でコンピューター画面のステータスモニターに「用紙サイズ違い」や［用紙なし］［用紙ジャム］というメッセージが表示され、印刷が停止します。その場合は、用紙を正しくセットしなおしてください。エラーが解除され、印刷が開始されます。
- オートカッター使用時にカット位置がズレてしまう恐れがありますので、タグ紙をお使いになるときは、ミシン目の部分を折らないようにしてください。

重要

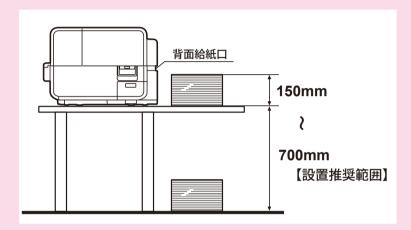
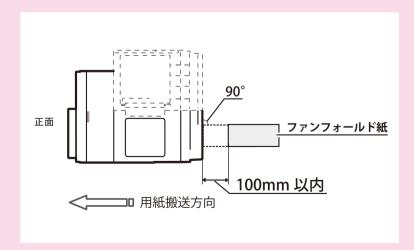
- 印刷する場合、ロールカバーは必ず閉じてください。
- 用紙はカラーラベルプリンター専用紙を使用することをお奨めします。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンター本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。
- プリンターを長期間ご使用にならない場合は、用紙の変色等を防ぐために用紙をプリンターから外してください。また、取り外した用紙は、付属のビニール袋または箱の中に入れ、高温、多湿および直射日光を避けて保管してください。
- 開封した用紙は、できる限り短期間で使い切ることをお奨めします。
- カラーラベルプリンター専用紙の印刷可能領域外には、印刷しないでください。

  ➡「3-2-5. 用紙サイズを自由に設定する（P.59）」
- 実際にセットした用紙と、プリンタードライバーに設定されている用紙が、同じ用紙（サイズ）に設定されていることを確認してください。

1-5 ファンフォールド紙を使用する場合

用紙にファンフォールド紙を使用するときは、以下の点を守ってください。

重要

- **ファンフォールド紙の用紙束上面が、プリンターの背面給紙口より低い位置になるようにしてください。**

- **背面給紙口から 100mm 以内の間隔にして、ファンフォールド紙が、斜めにならないように用紙束を置いてください。**

- **プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］で、［ファンフォールド紙モード］にチェックを付けて［送信］ボタンを押してください。**

➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」

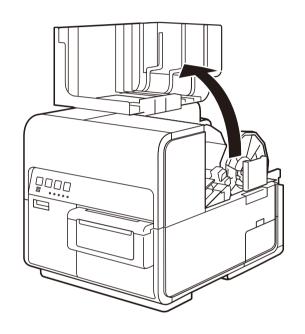
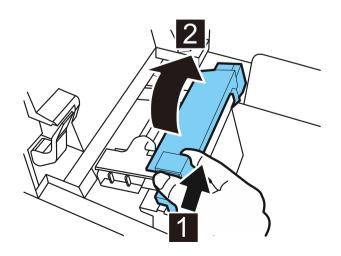
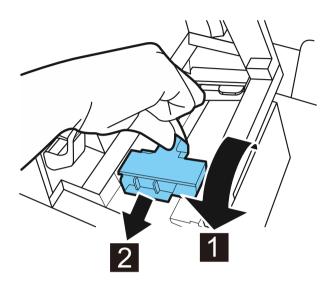
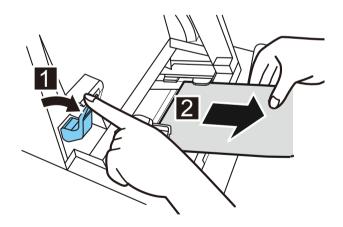
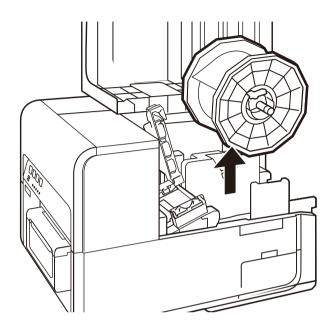
重要

- ファンフォールド紙をお使いになる場合は、ロールホルダーを外してください。
- 用紙のセット方法は、ロール紙と同じです。

  ➡「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」
- 印刷する場合、ロールカバーは必ず閉じてください。
- ファンフォールド紙からロール紙へ変更するときは、［ファンフォールド紙モード］のチェックをはずしてください。
- 画像に影響がでる恐れがありますので、ファンフォールド紙をお使いになる場合は、設置環境温度を 15 ℃以上、湿度を 40% 以上でお使いください。

1-6 用紙を交換する

用紙の交換のしかたを説明します。

1 ロールカバーを開きます。

2 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。

3 搬送ガイド（右）を開いて、右側に止まる位置までスライドさせます。

4 ピンチローラー圧解除レバーを押しながら用紙を抜き取ります。

5 ロールホルダーを取り外します。

6 新しい用紙をセットします。

➡「1-4 用紙をセットする（P.15）」

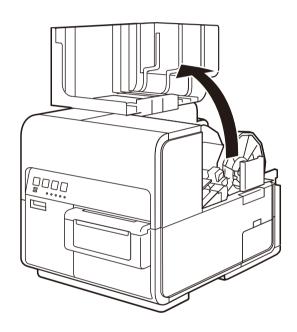
メモ

● 用紙交換するときにバックフィードキーを押すと、ロールホルダーが空転する場合があります。

1-7 用紙の後端処理をする

用紙を最後まで使い切ったときの説明をします。

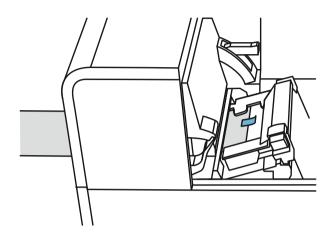
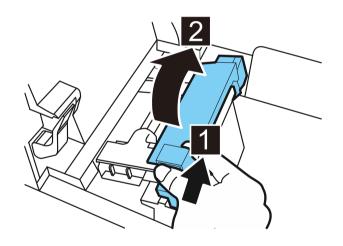
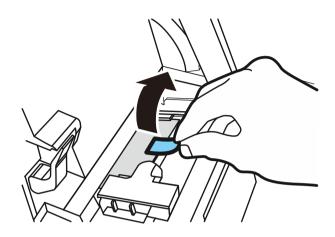
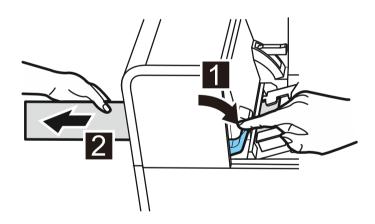
用紙を使い終わると、ステータスモニターに「用紙なし」と表示されて、プリンターが停止します。
印刷を続けるには、次の手順で新しい用紙をセットしてください。

1 ロールカバーを開きます。

メモ

● 用紙の終端を検知していなかったときに、印刷を行うとロールホルダーが空転します。

2 用紙の後端部に貼ってあるテープを確認します。

3 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。

4 用紙の後端部をとめているテープを剥がします。

5 ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、排紙口より用紙を引き出してください。

6 新しい用紙をセットします。

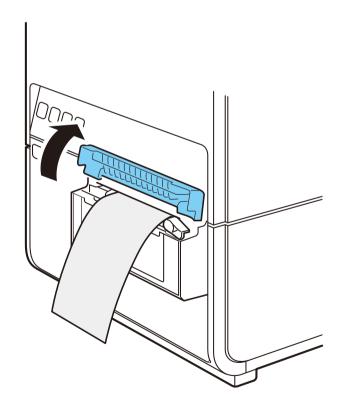
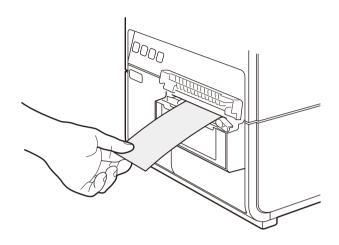
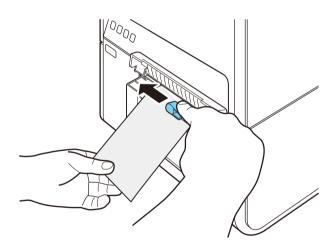
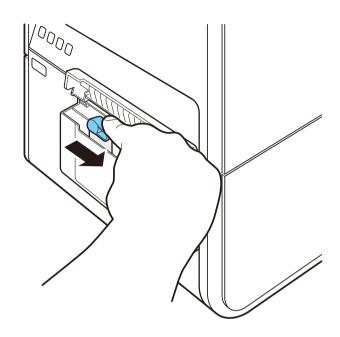
➡ 「1-4 用紙をセットする（P.15）」

1-8 手動カッターを使う

印刷後の手動カッターの使い方を説明します。

注意

- **手動カッターに手や顔をぶつけないように注意してください。けがの原因となります。**
  また、ラベルの印刷が終了したことを確認してから切り離すようにしてください。

1 カッターカバーを開きます。

2 印刷されたラベルを図のように持ちます。

3 カッターを図のように軽くスライドさせて、ラベルを切り離します。

4 カッターを元の位置に戻して、カッターカバーを閉じます。

メモ

- カッターの切れ味が著しく落ちたときは、分解等せずにお買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

第 2 章 印刷のしかた

印刷の準備ができたら、各種のアプリケーションソフトウェアなどで原稿を作成し、印刷を行います。
ここでは Windows 7 で「LabelCreate」を使用した印刷方法を例に説明しています。

2-1 印刷を行う

原稿が作成できたら、アプリケーションソフトウェアから印刷を開始します。

重要

- 印刷中にプリンターに対して振動や衝撃を与えないようにしてください。紙づまりや印刷不良の原因となります。

メモ

- お使いのアプリケーションソフトウェアによって、印刷の手順や画面のボタン名などが異なります。お使いのアプリケーションソフトウェアの説明書を併せてご覧ください。
- 印刷するときは、Windows のシステムスタンバイの設定またはスリープ状態の設定を「なし」にしてください。システムスタンバイの設定またはスリープ状態の設定をするには、Windows［スタート］メニューの［コントロールパネル］の中の［電源オプション］を開きます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューを開き、［印刷］をクリックします。**

印刷のダイアログボックスが表示されます。

2 **［プリンター設定］が［Canon LX-D5500］または［Canon LX-P5500］になっている**

ことを確認します。

別のプリンター名が表示されてる場合は、［プリンター設定］から、［Canon LX-D5500］または [Canon LX-P5500] を選択してください。

メモ

- お使いのアプリケーションソフトウェアにプリンターの設定を行うボタン（[詳細設定]、［プロパティ］など）がある場合は、ここで用紙の種類や色設定などの印刷設定を行います。

3 部数を指定します。

ここで指定した部数は、プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスの設定よりも優先されます。

4 用紙の準備ができていることを確認し、［印刷］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

- 目的に合わせて印刷の設定を変えたい場合は、「プリンタードライバーの使いかた」をご覧ください。

➡「第 3 章　プリンタードライバーの使いかた　P.(41)」

- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトウェアとプリンタードライバーで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトウェアの設定の方が優先されることがあります。
- アプリケーションソフトウェアの中で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトウェアだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトウェアで共通して使用する印刷設定は、Windows のコントロールパネルから設定してください。

2-2 印刷を中止する

コンピューターから印刷しているときに印刷を中止します。

2-2-1. ステータスモニターから印刷を中止する

ステータスモニターの［印刷中止］をクリックして、印刷を中止することができます。

■ Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）Status Monitor 画面の［印刷中止］をクリックする

印刷が中止され、現在印刷中のジョブとプリンター内でデータ処理中または受信中のデータ、およびコンピューターにてデータ処理中のすべての印刷データを破棄します。

📖 メモ

● ステータスモニターが表示されていない場合は、タスクバーに最小化されているか、またはタスクトレイに入っています。それぞれクリックすると、ステータスモニターが表示されます。

➡「4-1 ステータスモニターを表示する　P.(129)」

● ステータスモニター以外にも印刷キューウィンドウ（印刷データの順番が登録されるウィンドウ）で印刷を中止できます。
詳しくは、Windows の説明書をご覧ください。

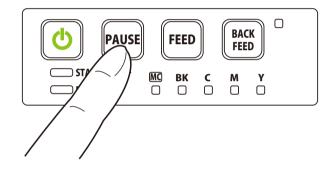
2-3 印刷を一時停止する

一時停止させるときの説明をします。

操作パネルのポーズキーを押して、印刷を一時停止することができます。

2-3-1. 操作パネルから一時停止する

印刷途中で印刷状況を確認したいときやクリーニングを行いたいときなどに操作します。

1 印刷を行っている最中に操作パネルのポーズキーを押します。

2 プリンターが一時停止します。

再度ポーズキーを押すと一時停止が解除されて続きから印刷します。

2-3-2. 一時停止中のクリーニング

重要

- ステータスモニターからのクリーニングは、一時停止中のときのみ有効となります。
- 一時停止中は、［ユーティリティー］シートは使用することができません。

1 **一時停止中にクリーニングを行うことができます。ステータスモニターのクリーニングメニューをクリックして弱、中、強から選んでクリーニングを行います。**

インクの噴出し口（ノズル）の目づまりをクリーニングします。
印刷結果の状態に合わせて、弱、中、強から選んでクリーニングを行ってください。

クリーニング（弱）	印刷のかすれが発生した場合に最初に行う回復動作です。
クリーニング（中）	回復「弱」を行っても印刷のかすれが発生する場合に行う回復動作です。
クリーニング（強）	回復「中」を行っても印刷のかすれが発生する場合に行う回復動作です。

重要

- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- クリーニングによって状況が改善されない場合は、プリントヘッドの消耗など、別の原因が考えられます。ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにお問い合わせください。
- クリーニングはインクを消費します。

第 3 章 プリンタードライバーの使いかた

プリンタードライバーのダイアログボックスにある各項目の機能を説明します。

3-1 印刷設定ダイアログボックスを表示する

［印刷設定］ダイアログボックスの説明をします。

いろいろな印刷機能の設定を行う場合は、プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスを表示します。この［印刷設定］ダイアログボックスは、アプリケーションソフトウェアから表示する方法と、Windows の［スタート］メニューから表示する方法があります。

メモ

- アプリケーションソフトウェアから表示する［プロパティ］ダイアログボックスで設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトウェアだけで使用されます。
- いろいろなアプリケーションソフトウェアで共通して使用する印刷設定は、Windows の［スタートメニュー］から設定します。

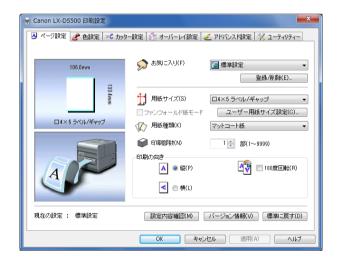
➡「3-1-2.［スタート］メニューから表示する（P.44）」

3-1-1. アプリケーションソフトウェアから表示する

使用しているアプリケーションソフトウェアから［印刷設定］を表示させるには、［印刷］→［プロパティ］をクリックします。
ここでは、Windows 7 で「LabelCreate」を使用した場合を例に説明しています。

1 「LabelCreate」の［ファイル］メニューを開き、［印刷］をクリックします。

2 ［プリンター設定］で［Canon LX-D5500］または［Canon LX-P5500]を選択して［プロパティ］をクリックします。

3 ［Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）のプロパティ］（印刷設定）が表示されます。

メモ

- ［プロパティ］のダイアログボックスを表示する方法は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いのアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- アプリケーションソフトウェアから開く［印刷設定］ダイアログボックスに［ユーティリティー］タブがあります。クリックしてユーティリティーシートを表示すると、プリントヘッドのクリーニングなどを行うことができます。
- ［印刷設定］から表示するユーティリティシートと、［プリンタープロパティ］から表示するユーティリティシートでは設定できる項目が異なります。

➡「3-8［ユーティリティー］シートを利用する（P.103）」

3-1-2.［スタート］メニューから表示する

Windows の［スタート］メニューから［印刷設定］または［プリンターのプロパティ］ダイアログボックスを表示して、設定を行います。
アプリケーションソフトウェアによらず共通の印刷設定を使用するために設定内容を登録する場合に使用します。

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。

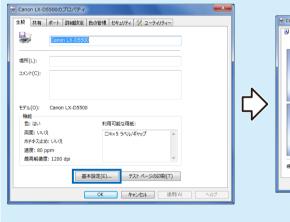
メモ

- Windows 8 の場合は、Windows のスタート画面を右クリックし、［すべてのアプリ］から［コントロールパネル］をクリックして［デバイスとプリンターの表示］を選びます。
- Windows Vista の場合は、［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］の［ハードウェアとサウンド］から［プリンター］を選びます。
- Windows XP の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンターと FAX］を選びます。

2 Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）プリンターのアイコンを右クリックし、［印刷設定］を選びます。

［Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- ［プリンターのプロパティ］ダイアログボックスの［基本設定］をクリックして［印刷設定］ダイアログボックスを表示することもできます。

3-2［ページ設定］シートを利用する

［ページ設定］シートの説明をします。

［印刷設定］ダイアログの［ページ設定］シートでは、用紙に関する設定や印刷部数、印刷の向きなどの設定を行うことができます。

［1］ **用紙サイズのプレビュー**

現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

［2］ **印刷の向きのプレビュー**

現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。

［3］ **お気に入り**

よく使う印刷設定を登録します。

➡「3-2-3.［お気に入り］に登録している印刷設定を使う（P.54）」

［4］ **［登録 / 削除］**

お気に入りの登録または削除を行います。

➡「3-2-1.［お気に入り］を登録する（P.48）」
➡「3-2-2.［お気に入り］を削除する（P.52）」

［5］ **用紙サイズ**

用紙サイズを設定します。

➡「標準ラベル用紙（登録されている用紙）（P.57）」

[6]	**ユーザー用紙サイズ設定**	
	用紙サイズを自由に設定します。	➡「3-2-5. 用紙サイズを自由に設定する(P.59)」
[7]	**用紙種類**	
	用紙の種類を設定します。	➡「3-2-6. 用紙の種類を選ぶ(P.65)」
[8]	**印刷部数**	
	印刷する部数を設定します。	
[9]	**印刷の向き**	
	用紙に対する印刷の向きを設定します。	➡「3-2-7. 印刷の向きを選ぶ(P.66)」
[10]	**設定内容確認**	
	現在の印刷設定の内容が表示されます。	➡「3-2-8. 設定内容を確認する(P.68)」
	バージョン情報	
	プリンタードライバーのバージョン情報と現在接続しているプリンターの情報が表示されます。	➡「3-2-9. バージョン情報を確認する(P.69)」
	標準に戻す	
	[ページ設定]シートの設定を標準の設定に戻します。	
[11]	**ファンフォールド紙モード**	
	[特殊設定]でファンフォールド紙を使用する設定になっていれば、チェックが入った状態を表示します。	➡「3-8-5. 特殊な設定を行う(P.123)」

メモ

- アプリケーションソフトウェアの中からプリンターのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の[スタート]メニューから[印刷設定]ダイアログボックスを開いてください。

  ➡「3-1-2.[スタート]メニューから表示する(P.44)」

- ファンフォールド紙モードをお使いになる場合は、[ユーティリティー]シートの[特殊設定]をクリックして、[ファンフォールド紙モード]にチェックを入れてください。

  ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う(P.123)」

3-2-1.［お気に入り］を登録する

お気に入りは、最大 10 個まで登録しておくことができます。登録したお気に入りは、リストから選ぶだけで読み込まれ、いつでも同じ設定で印刷することが可能です。

メモ

● アプリケーションソフトウェアの中からプリンターのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の［スタート］メニューから［印刷設定］ダイアログボックスを開いてください。

➡「3-1-2.［スタート］メニューから表示する（P.44）」

1 **［ページ設定］シート、［色設定］シートおよび［アドバンスド設定］シートで登録する内容を設定します。**

［ページ設定］タブ、［色設定］タブ、［アドバンスド設定］タブをクリックし、それぞれのシートを表示して設定を行ってください。

メモ

● ［ページ設定］シートで、既定の用紙サイズとは異なったサイズを登録したい場合は、ユーザー用紙設定で任意の用紙設定を行い、予め登録をしておいてください。

➡「3-2-4. 用紙サイズを選ぶ（P.56）」

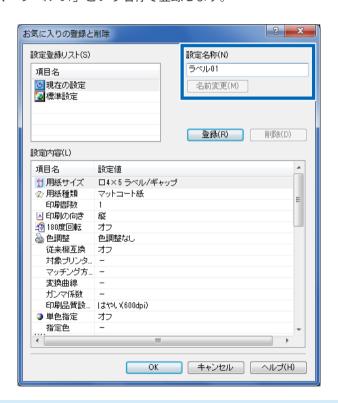
2 **［ページ設定］シートに戻ります。**

［お気に入り］で［現在の設定］が選ばれていることを確認してください。

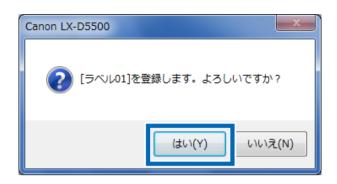
3　**［登録 /削除］をクリックします。**

［設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

4　**［設定名称］のボックスに設定したい任意の名称を入力し、［設定内容］を確認して［登録］をクリックします。**

ここでは、「ラベル 01」という名称で登録します。

メモ

- 名前の入力は省略できません。また、名前にはスペースやタブは使用できません。名前は半角、全角ともに 16 文字まで入力できます。
- ［現在の設定］、［標準設定］の位置には登録できませんので、入力した新しい名称が追加されます。

5 登録確認のメッセージダイアログボックスが表示されますので［はい］をクリックします。

6 ［設定内容］を確認し、［OK］をクリックします。

7 ［お気に入り］に、登録した名称が追加されたことを確認します。

8 ［適用］をクリックして、次に［OK］をクリックします。

［お気に入り］に印刷設定が登録されます。

メモ

- 登録されている印刷設定の名前を変更する場合は、［お気に入り］で変更したい項目名を選び、［登録 / 削除］をクリックします。［設定の登録と削除］ダイアログボックスの［設定名称］で名前を変更し、［登録］をクリックしてください。

3-2-2.［お気に入り］を削除する

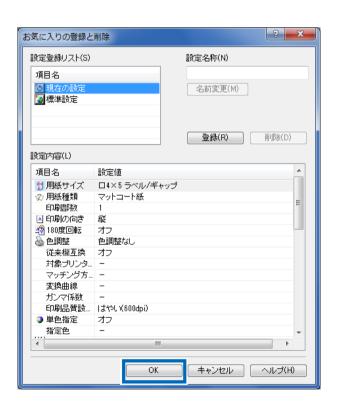
お気に入りに登録した設定を削除します。

1 ［お気に入り］の［登録 /削除］をクリックします。

2 ［設定の登録と削除］ダイアログボックスの［設定登録リスト］から削除したい設定を選択して［削除］をクリックします。

3 確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしてください。

4 ［設定登録リスト］から削除されます。

削除されていることを確認して［OK］をクリックしてください。

3-2-3.［お気に入り］に登録している印刷設定を使う

お気に入りに登録されている印刷設定を使って印刷することができます。
登録されている印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれるので、いつでも目的に合った印刷設定で印刷を行えます。

1　**［お気に入り］から使用する印刷設定を選び、クリックします。**
印刷設定が読み込まれます。

メモ

- ［設定内容確認］をクリックすると、現在の印刷設定の内容が表示されます。
- ［標準設定］を選ぶと、プリンタードライバーをインストールしたときの状態（なにも設定を変更していない状態）に戻ります。

● 標準設定では、次のような設定状態になります。

シート名	項目	設定	
		LX-D5500（顔料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）
ページ設定	用紙サイズ	□ 4 x 5 ラベル / ギャップ	
	用紙の種類	マットコート紙	
	印刷部数	1	
	印刷の向き	縦	
	180 度回転	オフ（チェックなし）	
色設定	色調整	色調整なし	
	グラデーションを簡易で印刷する	-	オン（チェックあり）
	従来機互換	オフ（チェックなし）	-
	印刷品質設定	はやい（600dpi）	速度優先（600dpi）
	単色指定	オフ（チェックなし）	
	ピンポイント色合わせ	オフ（チェックなし）	
	カラーバランス *	Bk/C/M/Y すべて 0	
	ハーフトーン処理 *	誤差拡散	
	明るさ調整 *	通常	
	シャープネス *	0（しない）	
	濃度 *	0	
	コントラスト *	0	
	レベル補正 *	オフ（チェックなし）	
	カラーインク節約 *	-	オフ（チェックなし）
オーバーレイ設定	オーバーレイ	オフ（チェックなし）	
カッター設定 **	オートカッター	オフ	
アドバンスド設定	割付印刷	しない	
	枠線印刷	オフ	
	印刷順	昇順	
	印刷速度	200mm/s	150mm/s

*：［詳細設定］ダイアログボックスの項目です。

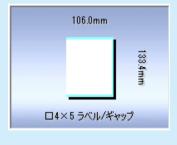
**：カッター設定シートは、オプションのオートカッターを装着した時に使用します。

3-2-4.用紙サイズを選ぶ

1 ［用紙サイズ］では、印刷する用紙のサイズを選びます。

［用紙サイズ］は、次の中から選べます。

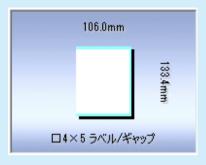
メモ

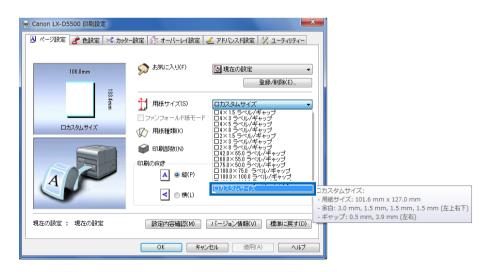
- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。

■ 標準ラベル用紙（登録されている用紙）

13 種類の用紙サイズがあらかじめ登録されています。

用紙サイズの名称	用紙の形状	サイズ（幅×長さ）mm	余白量 mm				ギャップ / マーク長 mm	ギャップ mm	
			上余白	下余白	左余白	右余白		左	右
4 X1.5 ラベル / ギャップ	ラベル / ギャップ	97.3 × 38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
4 X 3 ラベル / ギャップ		97.3 × 76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
4 X 5 ラベル / ギャップ		101.6 × 127	1.5	1.5	3.0	1.5	6.4	0.5	3.9
4 X 8 ラベル / ギャップ		97.3 × 203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 1.5 ラベル / ギャップ		46.5 × 38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 3 ラベル / ギャップ		46.5 × 76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 8 ラベル / ギャップ		46.5 × 203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
42.0 X 65.0mm ラベル / ギャップ		42 × 65	1.5	1.5	1.5	1.5	4.85	2.0	6.0
60 .0X 55.0mm ラベル / ギャップ		60 × 55	1.5	1.5	1.5	1.5	5.32	2.0	2.0
75.0 X 50.0mm ラベル / ギャップ		75 × 50	1.5	1.5	1.5	1.5	4.75	2.0	2.0
100.0 X 75.0mm ラベル / ギャップ		100 × 75	1.5	1.5	2.5	2.5	5.49	1.0	1.0
100.0 X 100.0mm ラベル / ギャップ		100 × 100	1.5	1.5	2.5	2.5	4.77	1.0	1.0
100.0 X 148.0mm ラベル / ギャップ		100 × 148	1.5	1.5	2.5	2.5	5.98	1.0	1.0

メモ

- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。

■ カスタムサイズ

任意の用紙サイズを設定できます。
同じく任意の用紙サイズを設定できるユーザー定義サイズとは異なり、アプリケーションソフトウェアから［印刷設定］ダイアログを表示した場合に一時的な用紙サイズの設定を行うことができます。ただし、用紙の名称は変更できません。

用紙サイズの名称	用紙の形状	サイズ (幅×長さ) mm	余白量　mm				ギャップ / マーク長 mm	ギャップ mm	
			上余白	下余白	左余白	右余白		左	右
カスタムサイズ	ラベル / ギャップ	101.6 × 127	1.5	1.5	3.0	1.5	6.4	0.5	3.9

メモ

- カスタムサイズは、名称を変更せずにサイズ、余白量、ギャップマーク長、ギャップの数値変更が可能です。
- アプリケーションソフトウェアから［印刷設定］ダイアログを表示して行った［カスタムサイズ］の設定は、アプリケーションソフトウェアを閉じたと同時に消去されます。

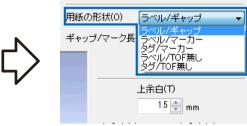
3-2-5.用紙サイズを自由に設定する

使用したい用紙のサイズが［用紙サイズ］に無い場合は、［ユーザー用紙サイズ設定］で新しい用紙設定を行います。
用紙サイズの登録は［ユーザー用紙サイズ設定］に 50 種類まで登録できるほか、あらかじめ登録されている標準ラベル用紙のサイズを自由に変更して登録することもできます。

メモ

- 登録できるのは、「用紙サイズの名称」「幅」「長さ」「表示単位」「用紙の形状」「ギャップ / マーク長」「余白」「ギャップ」です。
- 標準ラベル用紙名称は、変更できませんので別の名称で登録してください。

1 ［用紙サイズ一覧］から、基本にする用紙サイズを選びます。

2 ［用紙のカスタマイズ］欄に「名称」「幅」「長さ」「余白」「ギャップ」「表示単位」「用紙の形状」の各項目の入力または選択をします。

項目		説明
［名称］		新しい用紙の名称を入力します。 名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。
［幅］［長さ］		設定できる範囲内で数値を入力してください。
［表示単位］		mm または inch の設定ができます。
［用紙の形状］	［ラベル / ギャップ］	通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。
	［ラベル / マーカー］	ラベル用紙の裏側に TOF マークが印刷してあるタイプです。TOF マークで用紙の先端を認識します。
	［タグ / マーカー］	タグ用紙の裏側に TOF マークが印刷してあるタイプです。TOF マークで用紙の先端を認識します。
	［ラベル /TOF 無し］	ラベル用紙の裏側に TOF マークが無いタイプです。
	［タグ /TOF 無し］	タグ用紙の裏側に TOF マークが無いタイプです。
［ギャップマーク長］		カスタムサイズに対するギャップ長、またはマーク長の設定を行います。
［用紙余白］		上下余白、左右余白、左右ギャップを入力してください。

【ユーザー用紙サイズ　設定可能範囲】

用紙の形状	ラベル / ギャップ		ラベル / マーカー		タグ / マーカー		ラベル・タグ TOF 無し	
	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
用紙の幅 mm (inch)	24.0 (0.96)	119.0 (4.76)	25.0 (1.0)	120.0 (4.8)	25.0 (1.0)	120.0 (4.8)	25.0 (1.0)	120.0 (4.8)
用紙の長さ mm (inch)	6.0 (0.24)	400 (16.0)	10.0 (0.4)	400 (16.0)	13.0 (0.52)	400 (16.0)	6.0 (0.24)	400 (16.0)
上余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －下余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －下余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －下余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －下余白
下余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －上余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －上余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －上余白	1.5 (0.06)	用紙長 － 3mm －上余白
左余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙幅 － 3mm －右余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －右余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －右余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －右余白
右余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙幅 － 3mm －左余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －左余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －左余白	2.5* (0.1) AIS モード ON 時 2.7(0.11)	用紙幅 － 3mm －左余白
ギャップ / マーク長 mm (inch)	2.5 (0.1)	9.5 (0.38)	3.0 (0.08)	10.0 (0.4)	2.0 (0.08)	10.0 (0.4)	－	－
左ギャップ mm (inch)	0.5 (0.02)	2.5 (0.20)	－	－	－	－	－	－
右ギャップ mm (inch)	0.5 (0.02)	95.5 (3.82)	－	－	－	－	－	－

重要

- 標準ラベル用紙以外をお使いになる場合は、本機をご購入の販売店にお問い合わせください。
- 用紙の形状が［ラベル / ギャップ］の場合、以下の条件を満たすようにしてください。
  - ・用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 25.0mm（1inch）以上
  - ・左余白と左ギャップまたは右余白と右ギャップの合計が 2.5mm（0.1inch）以上
- ラベル / マーカーおよびタグ / マーカー、ラベル・タグ TOF なしについては、左余白と右余白が、［特殊設定］の［AIS モード］* のチェックを外すことにより、それぞれ 2.5mm となります。

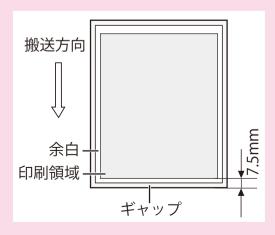
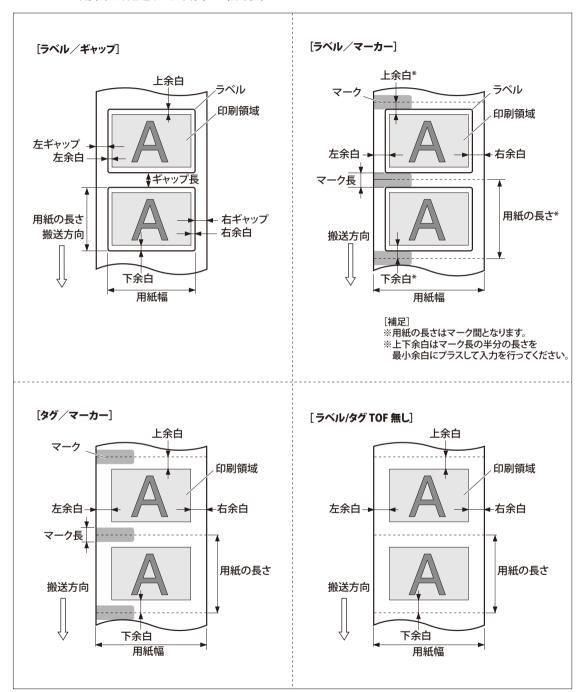
（*［AIS モード］は、プリントヘッド保護のために左右最小余白値を 0.2mm 大きくしています）

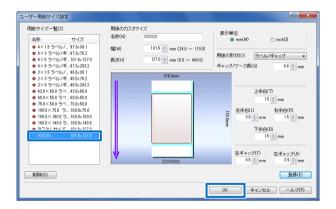
➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」

メモ

- ギャップとは、セパレーター（台紙部分）とラベル部分（上紙）との空き部分です。
- TOF とは「Top Of Form（用紙の先端）」という意味です。
- タグとは、シール加工していない用紙のことです。
- ［ラベル / マーカー］および［タグ / マーカー］での「用紙長」は、マークの中心からマークの中心までの長さです。

重要

- 文字や線が太くなる場合がありますので、ギャップの先端から 7.5mm 以上空けて入力を行ってください。

■ 用紙を設定する項目の確認図

3 すべての入力が完了したら［登録］をクリックします。

4 ［用紙サイズ一覧］のリストに、入力した用紙名称が表示されていることを確認して、［OK］をクリックします。

3-2-6. 用紙の種類を選ぶ

［用紙種類］では、印刷する用紙の種類を選びます。
［用紙種類］は、次の中から選べます。

用紙の種類	LX-D5500（顔料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）	内容
［マットコート紙］	○	○	通常の印刷用紙のように幅広い用途に使用できる無光沢の用紙です。
［光沢紙］	○	○	光沢性を有する用紙です。
［合成紙］	○	○	耐久性や耐水性に優れた用紙です。
［薄紙マットコート紙］	○	○	薄紙タイプのコート紙です。
［白 PET］	○	×	素材の伸び縮みが少なく破れにくいフィルムタイプのメディアです。

メモ

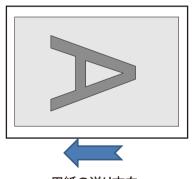
● ［用紙種類］で、本機にセットされた用紙と異なる種類を選んだ場合、正しい印刷結果が得られない場合がありますので注意してください。

3-2-7. 印刷の向きを選ぶ

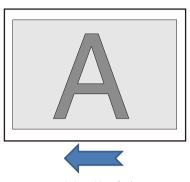
［印刷の向き］では、原稿の印刷する向きを選びます。

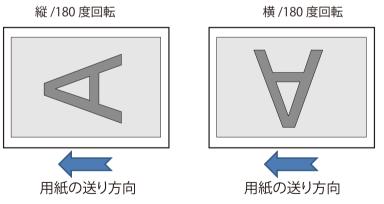
各設定の説明では、以下の原稿を印刷した場合の印刷結果を表わしています。

［縦］

用紙の送り方向に対して、原稿を 90°右に回転させて印刷するときに選びます。

用紙の送り方向

［横］

用紙の送り方向に対して、原稿を水平にして印刷するときに選びます。

［180 度回転］

［縦］または［横］で設定した原稿を 180 度回転して印刷する場合にチェックをつけます。

メモ

● 現在の印刷の向きは、プレビュー表示で確認できます。

3-2-8. 設定内容を確認する

［設定内容確認］をクリックすると現在の用紙の設定内容が確認できます。

メモ

● ［設定内容確認］の［コピー］ボタンは、現在設定している内容を OS のクリップボードにコピーするためのボタンです。

3-2-9. バージョン情報を確認する

プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。
［バージョン情報］をクリックすると、［バージョン情報］ダイアログボックスが表示されます。

［プリンター情報取得］をクリックすると、接続しているプリンターからの情報を取り出します。

メモ

- シリアルナンバー：プリンターの製造番号
- ROM Version：プリンターの ROM バージョン
- プリンター情報は、プリンター本体の接続状態により取得ができない場合があります。
  - ・プリンターと接続していないとき
  - ・通信、ネットワークが混雑しているとき

3-3 ［色設定］シートを利用する

［色設定］シートの説明をします。

［色設定］シートは、印刷するときの画質や色に関する設定を行います。

［1］ **用紙サイズのプレビュー**

現在設定されてる用紙サイズがプレビュー表示されます。

［2］ **設定変更後の印刷イメージ**

色調整を行った後の印刷イメージがプレビュー表示されます。

［3］ **色調整**

ドライバーの色補正を使って、最適な色処理方法を指定します。

➡ 「3-3-1. 原稿に合った色調整を選ぶ（P.72）」

［4］ **従来機互換**

P-640L の色味に合わせます。
（LX-P5500（顔料モデル）には、従来機互換設定は、ありません）

➡ 「［従来機互換］（P.73）」

［5］ **印刷品質設定**

入力解像度きれい（1200dpi）または､はやい（600dpi）を選択します。（LX-P5500 顔料モデルの場合は、「はやい」が「速度優先」となります）

➡ 「3-3-2. 印刷品質設定を使う（P.76）」

[6]	**単色指定**	
	カラー画像データを指定の単色で印刷します。	➡「3-3-3. 単色で印刷する（P.77）」
[7]	**ピンポイント色合わせ設定**	
	「ユーティリティー」で「ピンポイント色合わせ」を行っていないと読み込めません。	➡「3-8-4. ピンポイント色合わせを行う（P.113）」
	詳細設定	
	[カラーバランス] [明るさ調整] [濃度] [コントラスト] [ハーフトーン処理] [レベル補正] [シャープネス] の設定を行います。	➡「[詳細設定] ダイアログボックスの説明をします。（P.78）」
	標準に戻す	
	[色設定] を標準の設定に戻します。	

3-3-1.原稿に合った色調整を選ぶ

［色調整］では、原稿の内容に合った色合いの調整を行います。
風景写真や人物画を印刷するときは［色調整］の「写真入り」を選びます。文字やイラスト、コンピューターグラフィックスなどを印刷するときは「グラフィック入り」を選びます。
また、従来機として「Canon P-640L」で印刷したときの色合いに近づけることもできます。

［色調整］は、次の 4 項目から選べます。

［写真入り］

本機に最適な色調整を行います。
写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

［グラフィック入り］

本機に最適な色調整を行います。
グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

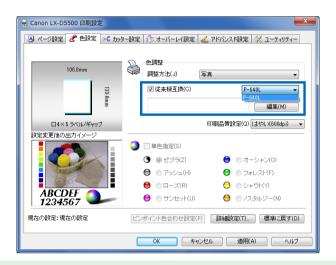
［ICM を使用する］

ICM プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合に使用します。
Windows の色補正機能である ICM（Windows Image Color Management）を使用して色の補正が可能です。

［色調整なし］

色調整を行いません。

［従来機互換］

チェックを入れると P-640L の色合いに近づけることができます。

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

LX-P5500（顔料モデル）には、従来機互換設定はありません。

また、［編集］をクリックすると「マッチング方法」「変換曲線」「ガンマ係数」を設定することができます。

詳細は以下の通りです。

■ マッチング方法：カラー補正の傾向を選択します。

写真	肌色、空色、緑色など、一般的な写真画像に多い中間色を繊細に表現します。
グラフィック	赤、青、黄などの原色を鮮やかに印刷します。
なし	カラー補正をせずに印刷データをそのまま印刷します。

■ 変換曲線：印刷データのカラー傾向に合わせてカラー補正します。印刷データを作成した装置を選択してください。

CG	印刷データのカラー情報を正確に印刷します。YMCK のパーセント指定や色見本で指定されたデータを印刷するときに選択します。赤、青、黄などの原色を鮮やかに印刷します。
スキャナー	スキャナで取り込んだ画像を、元の原稿に近い色で印刷します。
ビデオ	ビデオカメラで撮影した画像を元の被写体に近い色で印刷するときや、画像をディスプレイに表示したときの色に近い色で印刷するときに選択します。
デジカメ	デジタルカメラで取り込んだ画像を、元の被写体に近い色で印刷します。

■ ガンマ係数：画像のカラー調整に使用しているディスプレイのガンマ係数を選択します。1.0、1.4、1.8、2.2 の 4 段階から選択します。

ガンマ係数 1.0	印刷内容をより明るく印刷します。
ガンマ係数 1.4	印刷内容を明るく印刷します。印刷結果が暗く感じた場合に選びます。
ガンマ係数 1.8	通常の明るさで印刷します。 最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて［1.4 または 1.0（明るくする）］または［2.2（暗くする）］を選んでください。
ガンマ係数 2.2	印刷内容を暗く印刷します。 印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

［グラデーションを簡易で印刷する］

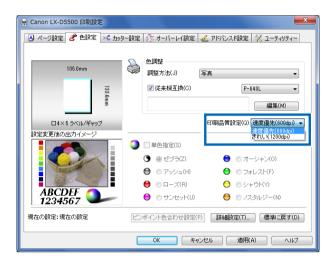
「写真入り」または「グラフィック入り」の設定を行ったときに選択ができます。

チェックあり	グラデーションを早く印刷します。
チェックなし	グラデーションをきれいに印刷します。

メモ

- ［従来機互換］の編集で設定した内容は保存されません。編集内容を保存したい場合は、［お気に入り］に登録してください。
- 印刷内容に写真とグラフィックの両方が含まれている場合は、「写真入り」を選んでください。また、印刷内容が文字だけの場合は、「グラフィック入り」を選んでください。
- ［色調整］で［ICM を使用する］を選んだ場合、「詳細設定」の［明るさ調整］はグレー表示になり、設定は無効になります。

3-3-2.印刷品質設定を使う

印刷するときの、印刷品質を設定します。

きれい	1200X1200dpi で印刷します。	データを 1200 × 1200dpi の解像度で処理して印刷します。
速度優先	600X600dpi で印刷します。	データを 600 × 600dpi の解像度で処理して印刷します。

3-3-3. 単色で印刷する

［単色指定］では、カラーの原稿を単色にして印刷できます。

単色で印刷する場合は、［単色指定］チェックボックスをクリックし、使用する色を選んでチェックをつけます。
単色の指定を解除する場合は、［単色指定］のチェックを外します。

<table>
<tr><td>［ゼブラ］</td><td>印刷内容を白黒で印刷します。</td><td>ブラックインクだけを使って印刷します。</td></tr>
<tr><td>［アッシュ］</td><td>印刷内容をグレー系の単色で印刷します。</td><td rowspan="7">4 色すべてのインクを使って印刷します。</td></tr>
<tr><td>［ローズ］</td><td>印刷内容を赤色系の単色で印刷します。</td></tr>
<tr><td>［サンセット］</td><td>印刷内容を紫色系の単色で印刷します。</td></tr>
<tr><td>［オーシャン］</td><td>印刷内容を青色系の単色で印刷します。</td></tr>
<tr><td>［フォレスト］</td><td>印刷内容を緑色系の単色で印刷します。</td></tr>
<tr><td>［シャウト］</td><td>印刷内容を黄色系の単色で印刷します。</td></tr>
<tr><td>［ノスタルジー］</td><td>印刷内容をセピア色系の単色で印刷します。</td></tr>
</table>

メモ

- ［ゼブラ］を選んだ場合、「色設定」シートの［色調整］、「詳細設定」の［カラーバランス］［濃度］［コントラスト］［レベル補正］はグレー表示になり、使用できません。
- ［単色指定］チェックボックスのチェックを外すと、単色設定値はすべてグレー表示になり、使用できません。

3-4 ［詳細設定］ダイアログボックスを使用する

［詳細設定］ダイアログボックスの説明をします。

［色設定］シートで、より細かい設定を行いたい場合に使用します。

3-4-1. カラーバランスを調整する

［カラーバランス］では、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の濃度調整を行います。

スライダーをドラッグするか直接入力し、濃度を調整します。
濃度は－ 50 ～ +50 の範囲で設定します。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。調整後、［OK］をクリックします。

メモ

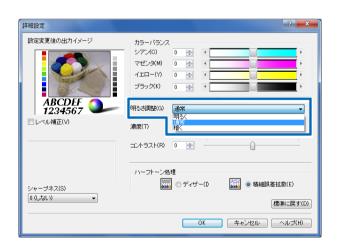
● スライドバーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。また、スライドバーの両端のボタンをクリックすると、現在の設定値から 1 ずつ増減します。

3-4-2. 明るさを調整する

［明るさ調整］では、印刷した結果を見て、全体的に暗すぎたり、明るすぎたりする場合は、明るさを調整します。
この調整では、もっとも暗い部分と明るい部分の濃淡は変えずに、中間色の明るさを調整できます。

メモ

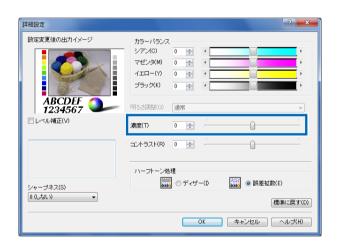
● ［明るさ調整］を行うときは、［色設定］シートの［色調整］を［写真入り］または［グラフィック入り］のに設定してください。［色調整なし］または［ICM を使用する］に設定した状態では使用できません。

［明るさ調整］は、次の 3 つから選べます。

［明るく］	：ガンマ係数 1.4 のモニターに近づけます。
	・印刷内容を明るく印刷します。 ・印刷結果が暗く感じた場合に選びます。

［通常］	：ガンマ係数 1.8 のモニターに近づけます。
	・通常の明るさで印刷します。 ・最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて［明るく］または［暗く］を選択します。
［暗く］	：ガンマ係数 2.2 のモニターに近づけます。
	・印刷内容を暗く印刷します。 ・印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。

設定後、［OK］をクリックします。

3-4-3. 濃度を調整する

［濃度］のスライダーをドラッグし、全体の濃度を決めます。

濃度は－ 50 ～ +50 の範囲で設定できます。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。
調整後、［OK］をクリックします。

メモ

- スライドバーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。
- 標準の設定に戻す場合は、［標準に戻す］をクリックします。

3-4-4. コントラストを調整する

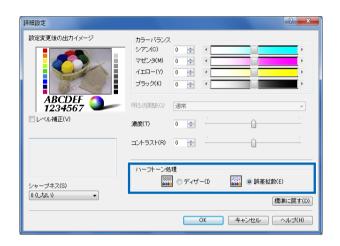
［コントラスト］のスライダーをドラッグして、全体のコントラストを決めます。

コントラストはー 50 ～ +50 の範囲で調整します。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど暗い部分から明るい部分までの幅が広くなり、黒から白までの滑らかなトーン表現ができますが、下げすぎるとはっきりしない画像になってしまいます。
右にスライドさせるほど白いものはより白く、黒いものはより黒くなりますが、色の諧調は失われます。
調整後、［OK］をクリックします。

メモ

- コントラストとは、画像の黒い部分から白い部分までの幅 (許容量) のことです。
- スライドバーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。
- 標準の設定に戻す場合は、［標準に戻す］をクリックします。

3-4-5.ハーフトーン処理を選ぶ

ディザーまたは誤差拡散のチェックボックスをクリックします。

［ディザー］

一定の法則に従ってドットを並べてハーフトーンを表現します。色の境界をくっきり見せたいグラフィックスなどの印刷に適しています。

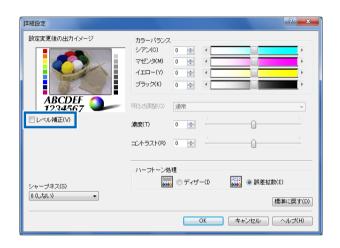
［誤差拡散］

ドットをランダムに配置してハーフトーンを表現します。微妙なグラデーション表現が必要な写真の印刷に適しています。

設定後、［OK］をクリックします。

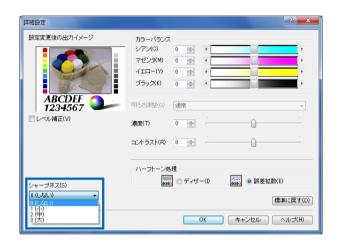
3-4-6. レベル補正を行う

［レベル補正］は、印刷した結果を見て、コントラストが弱い（明暗にメリハリがない）と感じた場合に、コントラストを強くなるように補正をかけます。
レベル補正を行うと、原稿の明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗く印刷されます。

レベル補正を行う場合は、［レベル補正］チェックボックスをクリックし、チェックをします。
レベル補正が必要ない場合は、チェックを外します。

設定した後［OK］をクリックします。

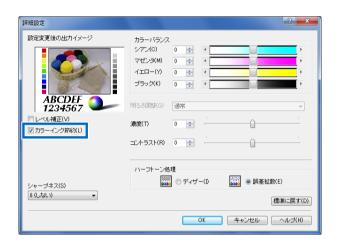
3-4-7. シャープネスをかける

［シャープネス］では、印刷した結果を見て、全体的にぼやけていると感じた場合に、シャープネス処理を行ってくっきり見せることができます。

シャープネスは、プルダウンメニューから、0（しない）、1（小）、2（中）、3（大）の 4 段階で行います。

0（しない）	シャープネスを使用しません。
1（小）	シャープネスの処理を行います。
2（中）	シャープネスの処理を行います。
3（大）	シャープネスの処理を行います。

選択後、［OK］をクリックします。

3-4-8. カラーインク節約を行う（LX-P5500 顔料モデルのみ）

チェックボックスをオンにすると、カラーインクの消費量を抑えて印刷します。 ただし、通常の印刷よりも印刷品位は下がります。

メモ

- 最終確認のために印刷する場合や印刷コストを下げたい場合など、インクを節約したいときにオンにしてください。

3-5［カッター設定］シートを利用する

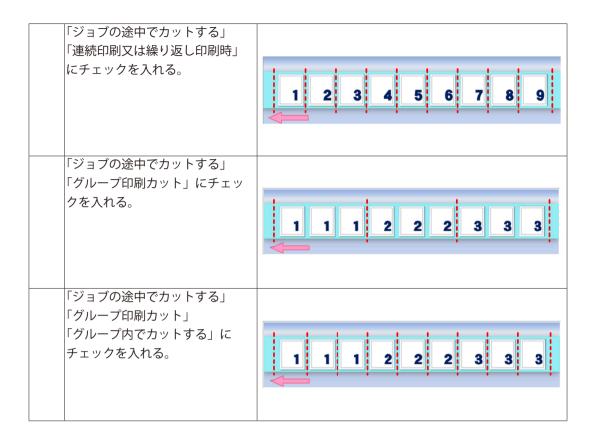
［カッター設定］シートの説明をします。

メモ

- ［カッター設定］シートは、オプションのオートカッターを装着した場合のみ使用可能です。
- 専用アプリケーションの「LabelCreate」をお使いの場合は、LabelCreate の「印刷」⇒「拡張オプション」設定が優先されます。

用紙のカット位置やカット間隔を設定し、自動で用紙をカットします。
初期設定は、［ジョブの始めにカットする］と［ジョブの終わりにカットする］にチェックが入っています。

［1］	オートカッター	オートカッターの動作を設定します。
［2］	カット間隔設定	カットする間隔を設定します。
	［ジョブの始めにカットする］と［ジョブの終わりにカットする］にチェックを入れる。	1 2 3 4 5 6 7 8 9

	「ジョブの途中でカットする」 「連続印刷又は繰り返し印刷時」 にチェックを入れる。	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	「ジョブの途中でカットする」 「グループ印刷カット」にチェックを入れる。	1 1 1 2 2 2 3 3 3
	「ジョブの途中でカットする」 「グループ印刷カット」 「グループ内でカットする」にチェックを入れる。	1 1 1 2 2 2 3 3 3

メモ

- カットを行う位置に赤ライン（点線）が表示されます。
- ［ジョブの始めにカットする］と［ジョブの終わりにカットする］については、［ジョブの途中でカットする］の設定場面でもチェックあり、チェックなしが選べます。

くわしい使い方は第 7 章オートカッターをご覧ください。

➡ 「第 7 章　オートカッター（オプション）（P.226）」

3-6 ［オーバーレイ］シートを利用する

［オーバーレイ］シートの説明をします。

オーバーレイ印刷では、あらかじめ背景画像をフォームファイルとして作成しておき、印刷時に前景となる画像や文字と合成することができます。

	名称	機能
［1］	**オーバーレイ**	チェックを入れるとオーバーレイ印刷が可能になります。
［2］	**印刷モード**	オーバーレイ印刷またはフォームファイル作成の設定を行います。
［3］	**ファイル名**	オーバーレイに使用するフォームファイルのファイルパス、またはフォームファイルの保存先を設定します。
［4］	**フォームファイル情報**	［ファイル名］で選択したフォームファイルの印刷設定情報が表示されます。
［5］	**コメント**	［ファイル名］で選択したフォームファイルのタイトルが表示されます。
［6］	**オーバーレイを簡易で印刷する**	フォームファイルと印刷データをマスク処理または上掛け処理するかを設定します。
［7］	**プレビュー**	チェックボックスにチェックを入れると、［ファイル名］で選択したファイルをプレビュー表示します。
［8］	**標準に戻す**	オーバーレイ設定を標準の設定に戻します。

メモ

- サーバーのプリンタードライバーを共有に設定して、クライアント側がサーバーの共有プリンタードライバーを使用して印刷を行う場合、本機能は正しく動作しません。
- 専用アプリケーションの「LabelCreate」をお使いの場合は、LabelCreate の「印刷」⇒「拡張オプション」設定が優先されます。

3-6-1. フォームをファイルに印刷する

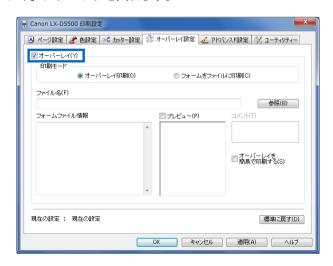
フォームファイルを作成する場合は、プリンターがオンライン状態になっていることを確認してください。
オーバーレイ印刷で使用するフォームファイル（背景になる画像）を作成します。

メモ

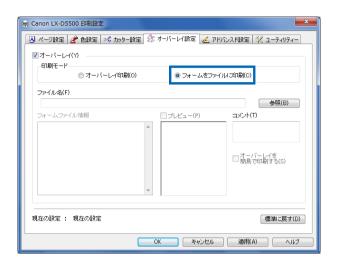
- アプリケーションで画像データを作成して印刷を行います。

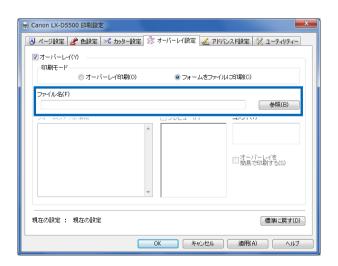
1 **画像データを作成したアプリケーションから［印刷］または［プリント］などを選択して、プリンター名で「Canon LX-D5500」または「Canon LX-P5500」を選び［プロパティ］または［詳細設定］などを選択します。**

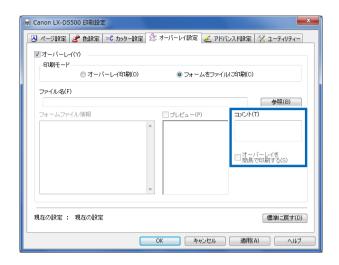
2 **プリンタードライバーの［Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）のプロパティ］ダイアログから［オーバーレイ］タブをクリックして［オーバーレイ］シートを表示します。**

［オーバーレイ］にチェックを入れます。

3　次に、[印刷モード]の［フォームをファイルに印刷］にチェックをいれます。

4　［ファイル名］とファイルの保存場所を指定します。

［参照］をクリックして、フォームファイルを保存したい場所とファイル名を任意に設定します。

■ ファイル名：任意で設定してください。

■ ファイルの保存場所：任意の場所を決めてフォルダー名を作成してください。

5 **［コメント］を入力します。**

半角、全角ともに 31 文字まで入力できます。（未入力でも可）

6 **設定が終わったら［OK］をクリックします。**

7 **印刷実行画面に戻りますので、［印刷］または［プリント］などをクリックします。**

フォームファイルとなるデータの印刷を実行します。

8 **手順 4で作成したフォルダーに、フォームファイルとして保存されます。**

メモ

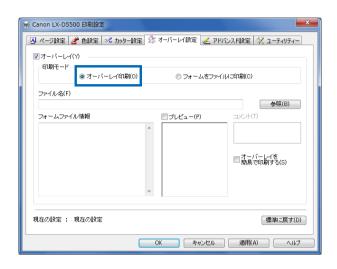
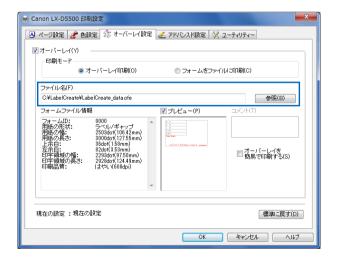
- 複数ページの印刷データをフォームファイルとして作成した場合でも、1 つのファイルとして保存します。

3-6-2. オーバーレイ印刷をする

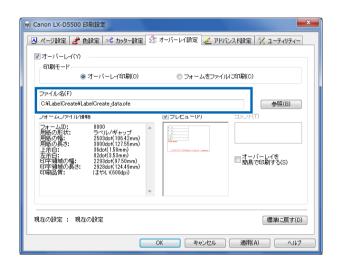
作成したフォームファイルを使って、オーバーレイ印刷をします。

1 ［印刷モード］の［オーバーレイ印刷］にチェックをいれます。

2 ［参照］をクリックして作成したフォームファイルを選択します。

［フォームファイル情報］と［プレビュー］で確認してください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

メモ

● ［オーバーレイを簡易で印刷する］にチェックを入れて印刷を行うと、フォームファイルと印刷データを上掛け処理（下地残し）で合成します。

	［オーバーレイを簡易で印刷する］	処理方法	内容
［1］	チェックなし	フォームファイルと印刷データをマスク処理（下地抜き）で合成します。	下地を抜いて合成するので、イメージの色はそのままの状態で合成されます。
［2］	チェックあり ※チェックを入れると警告が表示されます。	フォームファイルと印刷データを上掛け処理（下地残し）で合成します。	下地を抜かずに合成するため、イメージの色は下地と重なり、色が混ざり合い変色します。 ［標準］と比べ、高速に処理が行われます。

4 印刷を実行します。

印刷データがフォームファイルと重なって印刷されます。

メモ

- オーバーレイ印刷を行う際、印刷設定情報が印刷データとフォームファイルとで異なっている場合、オーバーレイ印刷はできません。
- 原稿を単色のゼブラで印刷する場合はフォームデータと色数が異なっていても、オーバーレイ印刷を行うことができます。
- フォームファイルを作成したプリンタードライバーのバージョン等が異なっているとオーバーレイ印刷ができないことがあります。その場合は、オーバーレイ印刷を行うプリンタードライバーで再度フォームファイルを作成してください。
- フォームファイルによっては、［フォームファイル情報］や［プレビュー］が表示されないことあります。

3-7［アドバンスド設定］シートを利用する

［アドバンスド設定］シートの説明をします。

［アドバンスド設定］シートでは、印刷するときのレイアウトや印刷速度などの設定を行います。

［1］ **用紙サイズのプレビュー**

現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

［2］ **設定変更後の印刷イメージ**

割付印刷、枠線印刷設定を行った後の印刷イメージがプレビュー表示されます。

［3］ **割付印刷**

1 ページに割り付ける面数を設定します。 ➡「3-7-1. 割り付け印刷をする (P.97)」

［4］ **枠線印刷**

複数面の割り付け印刷を行うとき、ページの枠線を印刷する場合にチェックを入れます。 ➡「3-7-2. 枠線を印刷する（P.98）」

［5］ **印刷順**

印刷する順序を設定します。 ➡「3-7-3. 印刷順を決める（P.99）」

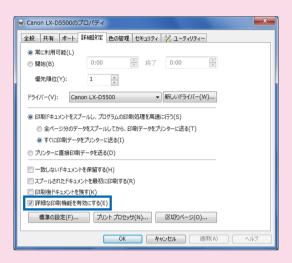
［6］ **印刷速度**

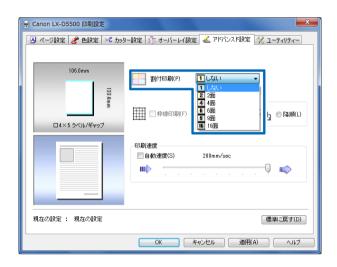
印刷するスピードを設定します。 ➡「3-7-4. 印刷速度を決める (P.100)」

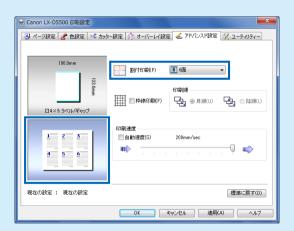
［7］ **標準に戻すボタン**

アドバンスド設定を標準の設定に戻します。

重要

● ［Canon LX-D5500（または Canon LX-P5500）のプロパティ］ダイアログボックスの［詳細設定］シートで、［詳細な印刷機能を有効にする］のチェックがされていないと、［割り付け印刷］、［枠線印刷］、［印刷順］の設定が有効になりません。

3-7-1.割り付け印刷をする

1 ページに割り付ける面数を［しない］、［2 面］、［4 面］、［6 面］、［9 面］、［16 面］から選びます。

メモ

● 割り付け面数を選ぶとページレイアウトにプレビュー表示されます。

● ［しない］を選んだ場合、［枠線印刷］はグレー表示になり、設定が行えず、枠線は印刷されません。

● ［しない］以外を選んだ場合、［印刷順］はグレー表示になり、設定が行えず、昇順で印刷されます。

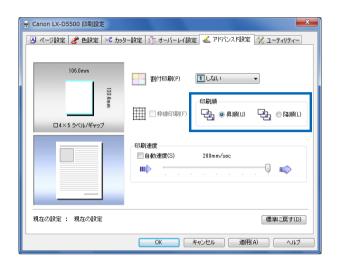
3-7-2. 枠線を印刷する

割り付け印刷をする場合に、面ごとの枠線を印刷することができます。
割り付け印刷の面数を選んでから［枠線印刷］にチェックを入れると、ページレイアウトにプレビュー表示されます。

メモ

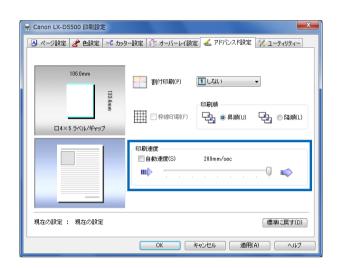
- ［割り付け印刷］で［しない］を選んだ場合、［枠線印刷］はグレー表示になり、設定が行えず、枠線は印刷されません。

3-7-3. 印刷順を決める

印刷する順序をページの先頭または最終ページからにするか決めます。
先頭ページから印刷する場合には［昇順］を、最終ページから印刷する場合は、［降順］を選びます。

メモ

● ［割り付け印刷］を行う場合は、［印刷順］はグレー表示になり、設定ができません。

3-7-4. 印刷速度を決める

印刷する速度を段階的に変更して、印刷することができます。
初期値は、最速の［200mm/sec］に設定されています。

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

LX-P5500（顔料モデル）の印刷速度は、［150mm/sec］が最速値です。

メモ

- 通常は一番右端の位置にスライダーがあります。右から左へスライダーを動かすことにより、段階的に遅い印刷速度へ変更することが可能です。用紙巻取装置などの後工程装置とタイミングを合わせたい時や、速度によって画像に影響が出る場合に調整してください。

- ［自動速度］にチェックを入れると印刷データの送信状況により自動的に速度が変化します。

【光沢紙を選択した場合】

● ［用紙種類］で［光沢紙］を選択した場合は、印刷速度を制限するために警告を表示します。

● プリンタードライバーの［アドバンスド設定］の［印刷速度］は、100mm/sec が最大値になります。

＊［自動速度］がオンに設定されている場合、オフに変更されます。

● ［光沢紙］から他の用紙へ変更した場合は、印刷速度を［オート］または［マニュアル］で変更してください。

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

光沢紙と同時にオートカッターをご使用になる場合、高密度印刷を行うときは、［印刷速度］を 100mm/sec から 70mm/sec にしてください。

3-8［ユーティリティー］シートを利用する

［ユーティリティー］シートの説明をします。

［ユーティリティー］シートでは、プリンターのメンテナンスや、プリンターの節電機能などに関する設定を行います。ステータスモニターを起動するときにも、［ユーティリティー］シートを開きます。

1 Windowsのスタートメニューから［デバイスとプリンター］を選択します。

メモ

- Windows 8 の場合は、Windows のスタート画面を右クリックし、［すべてのアプリ］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックして［デバイスとプリンターの表示］を選びます。

2 ［Canon LX-D5500］または [Canon LX-P5500]を選択して右クリックします。

3 ［プリンターのプロパティ］を選択して［ユーティリティー］タブをクリックします。

[1]	**クリーニング（弱）**	
	プリントヘッドをクリーニングします。	➡「5-1 プリントヘッドをクリーニングする（P.142）」
[2]	**クリーニング（中）**	
	クリーニング（弱）よりも少し強めのクリーニングを行います。	➡「5-1 プリントヘッドをクリーニングする（P.142）」
[3]	**クリーニング（強）**	
	クリーニング（中）よりも強力なクリーニングを行います。	➡「5-1 プリントヘッドをクリーニングする（P.142）」
[4]	**ヘッド位置調整**	
	プリントヘッドの位置を調整します。	➡「5-2 ヘッド位置調整を行う（P.144）」
[5]	**設定値出力**	
	プリンターの現在の設定値を印刷します。	➡「5-4 設定値を確認する（P.169）」
[6]	**スリープ**	
	スリープ状態に切り替えます。	➡「3-8-1. スリープ状態に切り替える（P.107）」
[7]	**スリープタイマー設定**	
	スリープ状態と電源オフ状態に切り替える時間を設定します。	➡「3-8-2. スリープタイマーとオフタイマー（P.108）」
[8]	**ステータスモニター起動**	
	ステータスモニターを表示します。	➡「4-1-1.ステータスモニターを起動する（P.129）」

［9］ 特殊設定

プリンター本体の特殊な設定を行います。

➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」

［10］ カッター調整

印刷された用紙を、手動カッターで切り離すときの停止位置の調整とオートカッターのカット位置の調整を行います。

➡「3-8-3. 用紙の停止位置を調整する（P.111）」

［11］ ピンポイント色合わせ

希望する色に近づけることができます。

➡「3-8-4. ピンポイント色合わせを行う（P.113）」

［12］ 屋内移動準備

本機を同一フロア内または別の階のフロアなどに移動するときの準備を行います。

➡「付録 -1 屋内移動について（P.242）」

［13］ 輸送準備

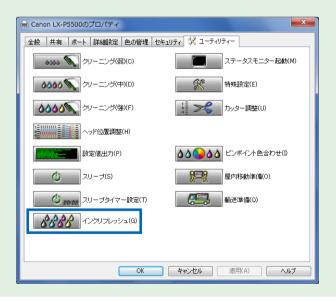
トラックや航空機など長距離の輸送を行う場合の準備を行います。

➡「付録 -2 輸送について（P.245）」

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

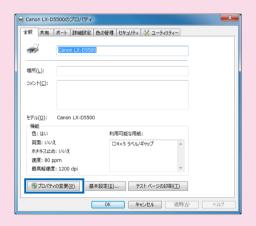
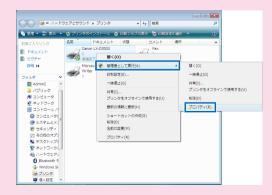
インクリフレッシュ

インクの循環動作を実行するためのボタンです。

➡「5-9 インクリフレッシュを行う（顔料モデルのみ）（P.187）」

重要

- ユーティリティーシートの各項目の設定などを行うときは、プリンターの電源が入っていて、コンピューターと接続されている必要があります。
- ユーティリティーシートに表示される［ヘッド位置調整］［スリープタイマー設定］［特殊設定］［カッター調整］［ピンポイント色合わせ］［屋内移動準備］［輸送準備］をお使いになる場合は、管理者権限でログインして操作を行ってください。

管理者権限以外の権限でログインした場合は操作を行うことができませんが、一時的に管理者権限を取得して操作することができます。

【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】
Windows 7：［プリンターのプロパティ］を開き［全般］シートの［プロパティの変更］をクリックします。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、管理者パスワードの入力が必要になります。

Windows Vista：プリンタードライバーを右クリックして、［管理者として実行］→［プロパティ］をクリックします。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、管理者パスワードの入力が必要になります。

3-8-1. スリープ状態に切り替える

［スリープ］をクリックして、本機をスリープ状態に切り替えます。

メモ

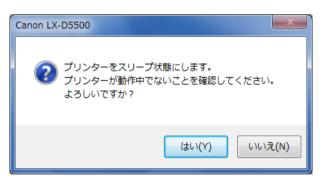
- 印刷中のときは、スリープ状態に切り替えることができません。
- 通常状態で一定時間印刷が行われないと、自動的にスリープ状態に切り替わります。
- スリープ状態では、次のような場合に自動的に通常状態（印刷できる状態）に切り替わります。

  ・電源キーが押されたとき
  ・印刷データを受信したとき
  ・クリーニングなどの操作が行われたとき

1 **本体がオンライン状態になっていることを確認します。**

ステータスランプが点灯していることを確認してください。

2 **［スリープ］をクリックします。**

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

3 **［はい］をクリックします。**

電源ランプが点滅して、スリープ状態になります。

メモ

- 本体が電源オフになっていると、何も動作が行われないので、その場合は電源キーを押して電源オンにしてください。

3-8-2. スリープタイマーとオフタイマー

［スリープタイマー設定］では、プリンターが一定時間操作されない場合や、コンピューターから印刷データが送られていない場合に、自動的にスリープ状態に移行させる時間と、その後に電源オフにする時間を設定します。

メモ

- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、スリープタイマーの設定時間を変更できません。
- ［スリープタイマー設定］の初期設定は、4 分です。
- 「オフタイマー設定」の初期設定は、240 分です。また、オフタイマー設定の「ON」「OFF」を行うことができます。
- 「スリープタイマー設定」と「オフタイマー設定」の 2 種類を設定することができます。

重要

- ［スリープタイマー設定］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

1 **本体がオンライン状態（電源キーが緑色の点灯）になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合は、電源キーを押してオンライン状態にします。

2 ［スリープタイマー設定］をクリックします。

［スリープタイマー設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 設定時間を入力します。

キーボードまたは入力ボックスの右にある ▲、▼ ボタンを使用して、スリープタイマーおよびオフタイマーの設定時間を入力します。

名称	設定範囲（分）	設定単位（分）	機能
スリープタイマー設定	1 ～ 60	1 分	スリープ状態に入るための設定
オフタイマー設定	1 ～ 720	1 分	電源オフの状態に入るための設定（スリープタイマーより長く設定する）

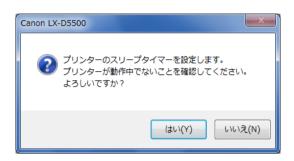
メモ

● 「オフタイマー設定」は、必要に応じて「チェックあり（有効にする）」、「チェックなし（有効にしない）」の切りかえを行うことができます。

4 ［送信］をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

5 ［はい］をクリックします。

スリープタイマーの設定時間が変更されます。

3-8-3. 用紙の停止位置を調整する

印刷された用紙を、手動カッターで切り離すときの停止位置を調整することができます。

1　**［カッター調整］をクリックします。**

［カッター調整］ダイアログボックスが表示されます。

重要

● ［カッター調整］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

2　**［停止位置］のスライダーをドラッグして、用紙の停止位置を調整します。**

メモ

● 中央が標準（0.0mm）の位置で、左にスライドさせると停止位置は給紙方向に設定され、右にスライドさせると排紙方向に設定されます。

● 設定できる範囲は、－ 10.0 ～＋ 10.0mm までで、0.5mm 間隔で設定できます。

● 停止位置の設定を標準の設定に戻す場合は、［標準に戻す］をクリックします。

3 ［送信］をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

4 ［はい］をクリックします。

調整した停止位置がプリンターに送信されます。

5 テスト印刷を行い、用紙間の中央で停止していることを確認し、実際の印刷を行ってください。

メモ

- ［停止位置］の設定は、手動カッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。オプションのオートカッター使用時は機能しません。
- オプションのオートカッターが取り付けられている場合、［カット位置］の調整ができるようになります。調整方法は、停止位置設定の場合と同じです。

3-8-4. ピンポイント色合わせを行う

［ピンポイント色合わせ］の手順を説明します。

メモ

- ピンポイント色合わせは、ロゴマークなどの特別に色合わせをしたい色を登録するためのツールです。
- ターゲット色は、必ず単色にしてください。グラデーションなどで作成している画像はピンポイント色合わせができません。
- ターゲット色と同じ RGB 値で作られている画像が、同じデータ内にあった場合は、その画像にも［ピンポイント色合わせ］で登録した色が反映されます。

重要

- ［ピンポイント色合わせ］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

1　［ピンポイント色合わせ］をクリックします。

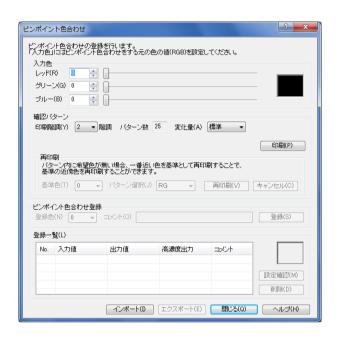
重要

- 色調整で［ICM を使用する］または単色指定で［ゼブラ］の設定にしていると、警告が表示されて［ピンポイント色合わせ］が使用できません。

  ピンポイント色合わせをお使いになる場合は、プリンタードライバーの色設定で［ICM を使用する］または［ゼブラ］以外の設定を使用してください。

  ➡ 「3-3-1. 原稿に合った色調整を選ぶ（P.72）」

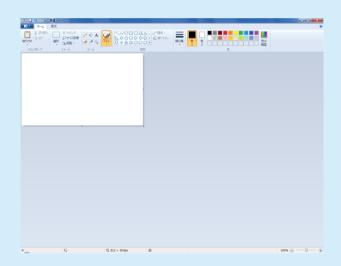
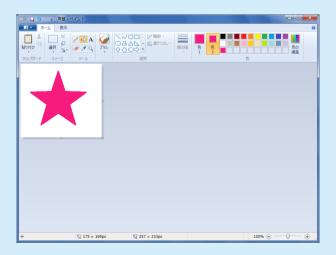
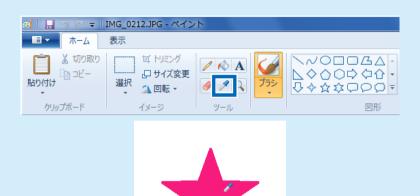
  ➡ 「3-3-3. 単色で印刷する（P.77）」

2 ［ピンポイント色合わせ］ダイアログを表示します。

3 ［ピンポイント色合わせ］を行いたい色の元になる画像から、R/G/Bの値を読み取ります。

メモ

● R/G/B の値の読み取り方は、Winows 標準搭載の「ペイント」などの画像処理ソフトウエアを用いて、ロゴマークなどの色合わせを行いたい画像から R/G/B 値を読み取ります。

■ R/G/B 値読み取り手順（「ペイント」を使用する場合）

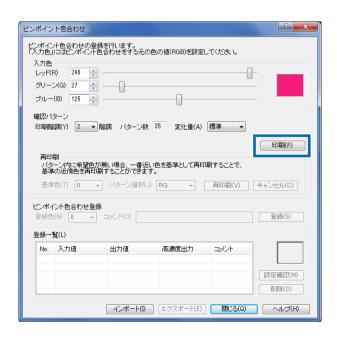
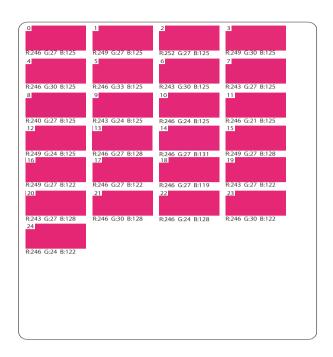
1. コンピューター (Windows) に標準で入っている「ペイント」を起動します。

2. 色合わせを行いたい画像を「ペイント」で開きます。

3. ［スポイト］ツールを使って、その画像をクリックします。

4. 次に［色の編集］をクリックします。

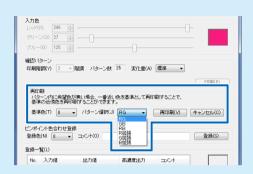
5. ［色 / 純色］がスポイトで取り込んだ色を表示して、［赤 / 緑 / 青］が R/G/B 値となります。

6. ［赤 / 緑 / 青］の値を［ピンポイント色合わせ］シートの［入力色］のレッド、グリーン、ブルーに入力します。

4 ペイントで読み取った数値をシートの Red(R)/Green(G)/Blue(B)にそれぞれ入力します。

5 0～ 24番までの近似値となる色見本（カラーパレット）を印刷します。

［印刷］をクリックしてください。

メモ

● 目標とする色が無かった場合、［再印刷］を行い、より近い色を作ります。

1 目標とする色に一番近い色の番号を［基準色］に入力します。

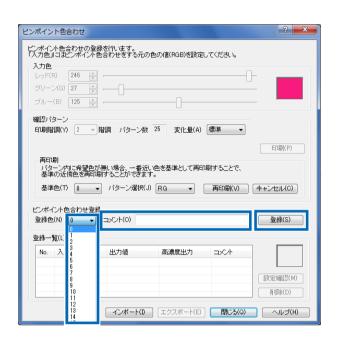
2 ［パターン選択］を行います。
目標とする色に対して RGB どの色を強調したいかを判断してパターンを選択します。

RG	Red(赤)、Green(緑) の 2 色に対して値を変化させます。Blue(青) に関しては同一です。
GB	Green(緑)、Blue(青) の 2 色に対して値を変化させます。Red(赤) に関しては同一です。
RB	Red(赤)、Blue(青) の 2 色に対して値を変化させます。Green(緑) に関しては同一です。
R 拡張	3 色一律に値を変化させて、Red(赤) に関してさらに値を増減します。
G 拡張	3 色一律に値を変化させて、Green(緑) に関してさらに値を増減します。
B 拡張	3 色一律に値を変化させて、Blue(青) に関してさらに値を増減します。

3 ［再印刷］をクリックします。

4 印刷された色見本から目標とする色が見つかったら、［登録色］の番号を選択して［登録］をクリックします。

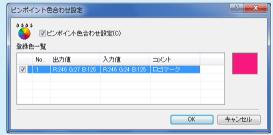
6

印刷された色パレットを見て、「入力色」に一番近い色の番号を、0から 24の中から選び、「コメント」欄に任意の名称を記入して［登録］をクリックします。

7

「登録一覧」に表示されます。

［登録］したセルをクリックするとプレビュー表示されます。

メモ

- ［インポート］［エクスポート］は、作成した特殊色を他のコンピューターで印刷したい場合や他のコンピューターで作成したものを印刷したい場合に使用します。
- 登録されているかを確認したい場合には、［印刷設定］→［色設定］→［特殊色設定］をクリックして［登録色一覧］をご確認ください。

3-8-5.特殊な設定を行う

[特殊設定] は、通常は設定する必要はありません。本機を特殊な環境でご利用になる場合や、ファンフォールド紙をご使用になる場合などに限り設定を行ってください。
下図がデフォルトの状態です。

重要

● [特殊設定] をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】(P.103)」

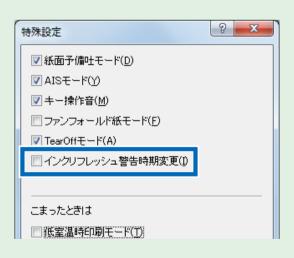
	モード名	内容
[1]	**紙面予備吐モード**	一定間隔で極微量のインクを用紙面に放出することにより、未使用色のプリントヘッド（ノズル）でインクが固着してしまわないように常に動作させて、プリントヘッドの性能を保持します。デフォルトは、オンになっています。オフにした場合は、クリーニング動作が追加されるので印刷時間が長くなります。
	チェックあり	オン
	チェックなし	オフ
[2]	**AIS モード（Auto Image Shift）**	特定のノズルへの負荷を分散し、プリントヘッドの消耗をできるだけ延ばすためのモードです。プリンターが一定枚数ごとに印刷画像を自動で左または右に 0.2mm シフトして印刷します。デフォルトはオンになっています。
	チェックあり	オン
	チェックなし	オフ
[3]	**キー操作音**	プリンター本体のブザー音の設定をします。デフォルトは、オンになっています。
	チェックあり	オン（音あり）
	チェックなし	オフ（音なし）
[4]	**ファンフォールド紙モード**	ファンフォールド紙をご使用になる場合に選びます。デフォルトは、オフになっています。 ➡ 「1-5 ファンフォールド紙を使用する場合（P.24）」
	チェックあり	オン（ファンフォールド紙使用の場合）
	チェックなし	オフ（ロール紙使用の場合）
[5]	**TearOff モード選択**	印刷後の動作およびラベルの停止位置について、常に次の印刷に備えて用紙を戻したいときに使用します。デフォルトは、チェックありになっています。
	チェックあり	オートカッター未装着時：印刷後、ラベルを手で切り離せる位置で停止し、次の印刷データを受信したときに、用紙を戻します。 オートカッター装着時　：印刷後、カットをして次の印刷に備えて用紙を戻します。
	チェックなし	オートカッター未装着時：印刷後、ラベルを手で切り離せる位置で停止せず、次の印刷に備えて用紙を戻します。 オートカッター装着時　：印刷後、カットをして次の印刷に備えて用紙を戻します。
[6]	**低室温時印刷モード**	チェックを入れると自動的に低室温時印刷モードに入ります。デフォルトは、オフになっています。
	チェックあり	オン
	チェックなし	オフ

	モード名	内容
[7]	**濃度ムラ軽減モード**	チェックを入れると、搬送速度が 80mm/sec に制限されますが、印刷ムラを少なくすることができます。また、印刷を開始するまでに約 20 秒ぐらい時間がかかります。デフォルトは、オフになっています。（LX-P5500（顔料モデル）には［濃度ムラ軽減モード］はありません）
	チェックあり	オン
	チェックなし	オフ
[8]	**用紙こすれ軽減モード**	プリントヘッドと用紙の接触を軽減します。 チェックを入れてから、レベル 1 から 3 にチェックを入れます。 デフォルトは、チェックなしです。
	レベル 1	用紙からのプリントヘッド位置が上がり、用紙の接触を軽減します。
	レベル 2	用紙吸引力が最大になり用紙の接触を軽減します。
	レベル 3	レベル 1 とレベル 2 を同時に行います。

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

インクリフレッシュ警告時期変更

ステータスモニターでのインクリフレッシュ警告表示を、インクタンクを装着してから 55 日目に行うか、85 日目に行うかの設定を行います。
出荷時は、オフ（チェックなし）で、55 日目から警告を表示します。
オン（チェックあり）にすると 85 日目に最初の警告を表示します。

➡「5-9 インクリフレッシュを行う（顔料モデルのみ）（P.187）」

重要

- ［ファンフォールド紙モード］にチェックが入ったままだと、ロール紙を使用するときに、ロールホルダーが自動的に回転しないので必ずチェックを外してください。

メモ

- ［特殊設定］は、印刷中やエラーが発生している状態のときは設定できません。
- ［低室温時印刷モード］はインクを多く消費します。
- ［低室温時印刷モード］を使用しても、室温が 14℃よりも極端に低いときは、効果が十分にでない場合があります。
- ［AIS（Auto Image Shift）モード］について

  プリンターの工場出荷時は、［AIS モード］にチェックが入っています。
  このモードでは、印刷画像を自動で左または右に 0.2mm シフトして印刷するため、左右余白（セパレータ含む）はそれぞれ 2.7mm となります。［AIS モード］のチェックを外すと、左右余白（セパレータ含む）は 2.5mm まで拡大されますが、ノズルの負荷を軽減するために、チェックをした状態での使用をお勧めします。

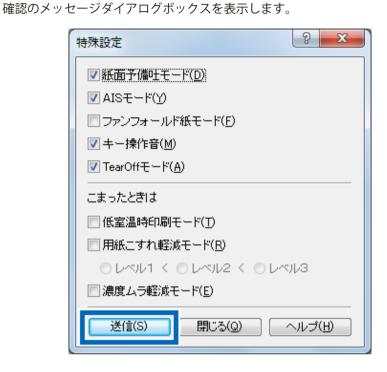
- ファンフォールド紙をお使いになる場合は、画像に影響がでるおそれがありますので、設置環境温度を 15 ℃、湿度を 40% 以上でお使いください。

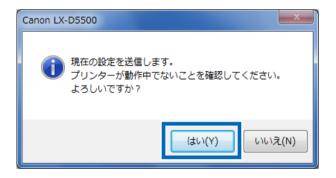
1 **［特殊設定］をクリックします。**

［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **利用する特殊設定のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつける、または外すのどちらかを設定します。**

3 ［送信］をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスを表示します。

4 ［はい］をクリックします。

設定した内容をプリンターへ送信して有効になります。

5 ［閉じる］をクリックします。

第 4 章 ステータスモニターの使いかた

ステータスモニターを使用すると、プリンターの状態や印刷の状況を知ることができます。

4-1 ステータスモニターを表示する

ステータスモニターの起動方法および表示方法を説明します。

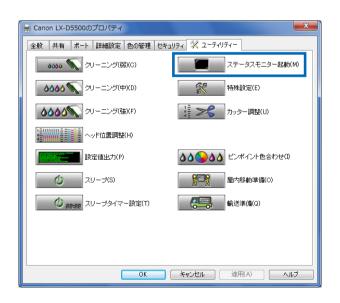
4-1-1. ステータスモニターを起動する

ステータスモニターを起動します。

メモ

- ステータスモニターは、印刷が開始されたときに自動的に起動し、表示される設定になっています。
- ステータスモニターは、メニューの設定によって Windows を起動したときに自動的に起動させることもできます。
- 起動したステータスモニターのウィンドウは、通常はタスクバーやタスクトレイに入れ、エラーなどが発生した場合にウィンドウを表示させることもできます。

➡「第 4 章　ステータスモニターの使いかた（P.129）」

1 ［LX-D5500（または LX-P5500）のプロパティ］ダイアログボックスの［ユーティリティー］シートを表示し、［ステータスモニター起動］をクリックします。

2 ステータスモニターが起動します。

4-1-2.ステータスモニターの起動と表示方法

ステータスモニターダイアログの［起動］［表示］［ヘルプ］をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
ステータスモニターの起動方法と、表示方法をメニュー機能で設定できます。

■ 起動のしかた

起動方法は、次のどちらかに設定できます。

［印刷中に起動］
印刷を開始したときに、ステータスモニターが自動的に起動して表示されます。
ステータスモニターは、印刷が終わると自動的に閉じます。（初期状態の設定）

［Windows と同時に起動］
Windows を起動したときに、ステータスモニターが自動的に起動します。

■ 表示方法

表示方法は、次のいずれかに設定できます。

［ポップアップして起動］
ステータスモニターのウィンドウを画面に表示します。（初期状態の設定）

［最小化で起動］
起動したステータスモニターのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。

［タスクトレイに入れて起動］

起動したステータスモニターを、タスクトレイの中にアイコン化された状態で表示します。

［常に手前に表示］

他のアプリケーションソフトウェアなどのウィンドウを開いても、ステータスモニターのウィンドウを常に手前に表示します。

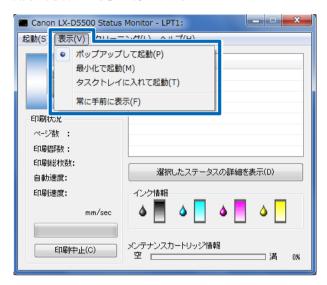
起動および表示方法は次の手順で設定します。

1 ［起動］をクリックしてプルダウンメニューを開き、起動方法を選びます。

［印刷中に起動］または［Windows と同時に起動］をクリックします。
設定された項目の先頭に「●」が付きます。

2 ［表示］をクリックしてプルダウンメニューを開き、表示方法を選びます。

［ポップアップして起動］、［最小化で起動］または［タスクトレイに入れて起動］をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。

メモ

- ウィンドウが表示されたときに常に手前に表示させる場合は、［常に手前に表示］をクリックし、先頭にチェックを付けます。この設定は、［表示］メニューの他の項目とは無関係に設定できます。
- ［常に手前に表示］にチェックを付けると、ステータスモニターのウィンドウが半透明で表示されます。
- ［最小化で起動］または［タスクトレイに入れて起動］に設定しても、プリンターにエラーが発生すると自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

4-2 ステータスモニターを利用する

ステータスモニターでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンターの状態やインクの消費状態、メンテナンスカートリッジのインク回収量などを確認できます。

[1] **プリンター状態のイメージ**

現在のプリンターの状態をプレビュー表示します。

[2] **印刷状況**

現在の印刷状況を数値とインジケーターで表示します。 ➡「4-2-1. 印刷状況を見る（P.134）」

[3] **印刷中止**

印刷を中止します。

[4] **クリーニング**

プリンターのポーズキーを押して一時停止しているときのみ有効になります。

[5] **ステータス情報**

現在のプリンターの状態を知らせるメッセージを表示します。 ➡「4-2-2. ステータス情報を見る（P.135）」

[6] **詳細なステータス表示**

プリンターの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。

[7] **インク情報**

インクタンクの消費状況を表示します。 ➡「4-2-3. インク情報を見る（P.138）」

[8] **メンテナンスカートリッジ情報**

メンテナンスカートリッジ内のインク回収量を表示します。 ➡「4-2-4. メンテナンスカートリッジ情報を見る（P.140）」

4-2-1. 印刷状況を見る

印刷の進行状況を確認できます。

[ページ数]

印刷を指定した原稿のページ数が表示されます。

[印刷部数]

指定した部数の印刷の進行状況が表示されます。

例えば、3 ページ原稿を 10 部ずつ印刷する設定を行った場合、1 ページ目を印刷する間は「0001/0010」～「0010/0010」と順に表示されます。

プログレスバーは、各ページごとの部数の処理状況を表しています。

[印刷総枚数]

指定した印刷総枚数が表示されます。

[自動速度]

自動速度設定のオン / オフを表示します。

[印刷速度]

現在設定されている速度を表示します。

[印刷中止]

印刷を途中で中止する場合にクリックします。現在の印刷を行った後、中止します。

4-2-2. ステータス情報を見る

プリンターの状態を確認します。

■ 現在のプリンターの状態を 4 つのイメージで表示します。

オンラインの状態であることを示します。（背景はブルー）
印刷を行うことができます。

オフライン状態であることを示します。（背景はグレー）

警告が発生していることを示します。（背景はイエロー）
［ステータス情報］に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。
必要に応じて対処を行ってください。

エラーが発生していることを示します。（背景はレッド）
［ステータス情報］にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。
必要な対処を行ってください。

メモ

- ステータスモニターが最小化されている場合、またはタスクトレイに入っている場合は、エラーが発生した時点でステータスモニターのウィンドウが表示されます。

■ ステータス情報を見る

ステータス情報には、4 つのアイコンとメッセージで、現在のプリンターの状態が表示されます。

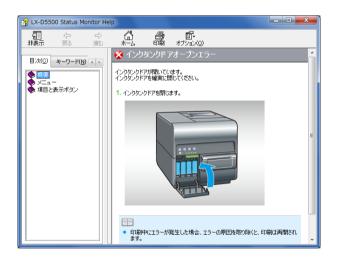
	インフォメーション
	プリンターに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。
	警告メッセージ
	警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。 この場合、印刷を行うことはできます。
	オペレーターコールエラー
	お客様の操作が必要なエラーが発生しています。 エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。
	サービスマンコールエラー
	お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しています。 電源をオフにしてください。再度、電源をオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（4 桁の数字）を控えてご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

メモ

- 複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に［ステータス情報］に表示されます。

ステータス情報に表示されたメッセージについて、さらに詳しく知りたい場合は、次の手順で説明ウィンドウを表示して確認することができます。

1 説明を見るメッセージを選び、［選択したステータスの詳細を表示］をクリックします。

説明ウィンドウが開き、メッセージの説明と対処方法を確認できます。

メモ

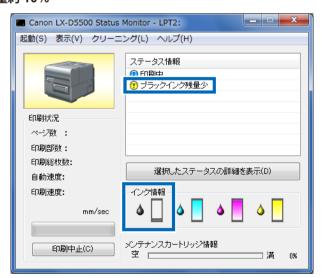
- ［ステータス情報］の項目をダブルクリックしても、同様に説明ウィンドウを表示できます。

4-2-3. インク情報を見る

インクの消費状況を確認します。
インクタンクの種類は、左からブラック（Bk）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）です。

それぞれのインクタンクのインク残量をイメージで表示します。

インク満タン

インク残量約 10%

インクなし

➡「5-5 インクタンクを交換する（P.171）」

重要

- インクタンクは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- インクタンク交換の際は、インクタンクを抜いたまま長時間放置しないでください。
- 「XXXX インク残量少」が表示されたら、新しいインクタンクを用意してください。新しいインクタンクの入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

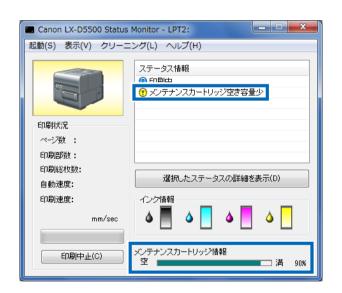
4-2-4. メンテナンスカートリッジ情報を見る

メンテナンスカートリッジのインク回収量を確認します。

メモ

- メンテナンスカートリッジは、プリントヘッドのクリーニングなどを行った際に使用したインクを回収するカートリッジです。
- ステータスモニター内の下段にあるメンテナンスカートリッジ情報のインジケーターに現在の空き情報が表示されています。

■ メンテナンスカートリッジ空き容量少

メンテナンスカートリッジの回収できる容量が残り 10%になってくると、［ステータス情報］欄に「メンテナンスカートリッジ空き容量少」のメッセージが表示されます。
ただし、印刷は継続されます。

重要

- 「メンテナンスカートリッジ空き容量少」が表示されたら、新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。新しいメンテナンスカートリッジの入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■ メンテナンスカートリッジ満タンエラー

メンテナンスカートリッジの空き容量がなくなると、［ステータス情報］欄に「メンテナンスカートリッジ満タンエラー」のメッセージが表示されて、印刷が止まります。
メッセージが表示されたら、新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

➡「5-7 メンテナンスカートリッジを交換する（P.179）」

第 5 章 メンテナンスのしかた

プリンターをよい状態でお使いいただくためのメンテナンスについて説明します。

5-1 プリントヘッドをクリーニングする

印刷結果がかすれている場合は、プリントヘッドにホコリや紙粉が付着しノズルがつまっていることが考えられます。ノズルがつまったときはクリーニングを行ってください。

5-1-1. クリーニング（弱、中、強）を行う

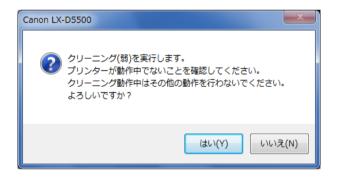
インクの噴出し口（ノズル）の目づまりをクリーニングします。
印刷結果の状態に合わせて、弱、中、強から選んでクリーニングを行ってください。

クリーニング（弱）	印刷のかすれが発生した場合に最初に行う回復動作です。
クリーニング（中）	回復「弱」を行っても印刷のかすれが発生する場合に行う回復動作です。
クリーニング（強）	回復「中」を行っても印刷のかすれが発生する場合に行う回復動作です。

メモ

- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- ［クリーニング］によって状況が改善されない場合は、別の原因が考えられます。ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにお問い合わせください。
- ［クリーニング］は、通常印刷よりインクを消費します。

1 ［LX-D5500（または LX-P5500）のプロパティ］ダイアログボックスの［ユーティリティー］シートを表示し、［クリーニング（弱）、（中）、（強）］のうちどれかを選択して、クリックします。

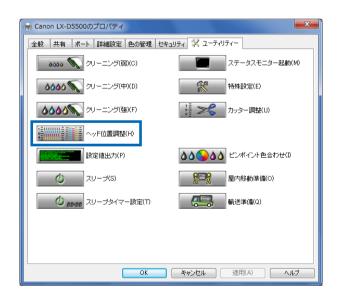
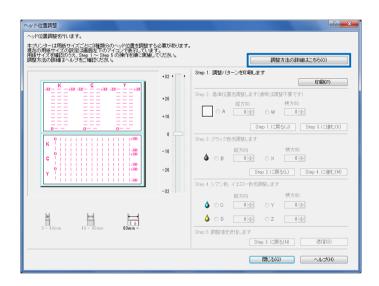
2 確認のダイアログボックスが表示されます。

［はい］をクリックすると、クリーニングを開始します。

5-2 ヘッド位置調整を行う

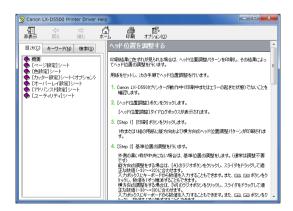
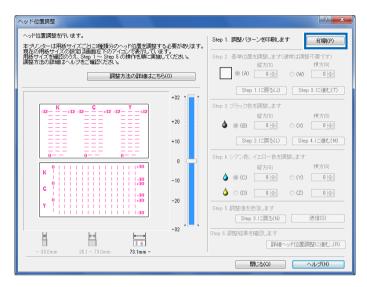
本機は、設置時に最良の状態で印刷できるように調整されていますが、印刷結果に色ずれが見られるなどの場合は、ヘッド位置調整を行ってください。
ヘッド位置調整パターンを印刷して、そのパターンを見ながら調整します。

重要

- プリンターにセットしている用紙サイズにより調整パターンは変化しますが、調整方法は同じです。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、ヘッド位置調整はできません。
- 使用途中から、用紙幅を 25mm（1inch）未満に変更した場合は、ヘッド位置調整を必ず行ってください。

1 ［LX-D5500（または LX-P5500）のプロパティ］ダイアログボックスの［ユーティリティー］シートを表示し、［ヘッド位置調整］をクリックします。

● ［ヘッド位置調整］のボタンを押して警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

2 ［ヘッド位置調整］ダイアログボックスが表示されます。

「調整方法の詳細はこちら」をクリックすると［ヘルプ］から操作手順を確認することができます。

3 プリンターが動作中でないことを確認し、Step 1 調整パターンの印刷を行います。

［印刷］をクリックします。

4 確認画面が表示されますので［はい］をクリックします。

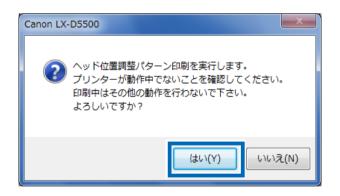
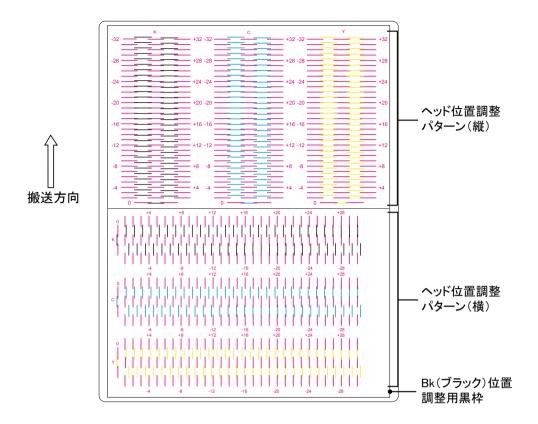
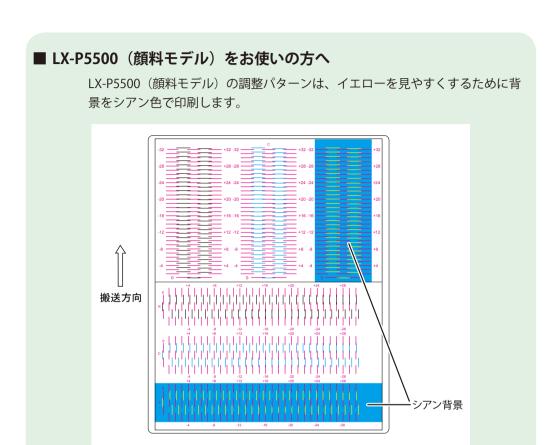
調整用パターンが印刷されます。

搬送方向
ヘッド位置調整
パターン（縦）
ヘッド位置調整
パターン（横）
Bk（ブラック）位置
調整用黒枠
K
C
Y

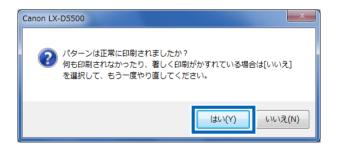
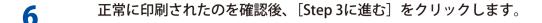
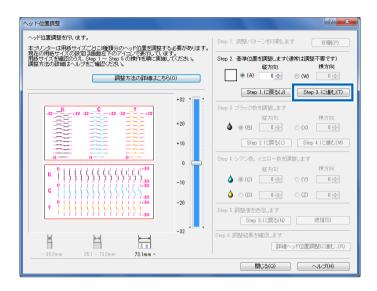
■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

LX-P5500（顔料モデル）の調整パターンは、イエローを見やすくするために背景をシアン色で印刷します。

搬送方向

シアン背景

5 調整用パターンが正常に印刷されたかどうかの確認画面を表示します。

［はい］をクリックします。

［いいえ］を選ぶともう一度調整パターンを出力します。

6　正常に印刷されたのを確認後、［Step 3に進む］をクリックします。

メモ

● ［Step 2］は、ブラックヘッドの基準位置調整（枠線）ですが、通常は変更する必要はありません。

- 基準位置は、ヘッド位置調整パターンの外周に描かれた枠線で確認できます。通常は用紙の上端から 1.5mm、左端から 1.5mm の位置にこの枠線が描かれますが、著しくずれている場合に調整してください。

メモ

● **Step 2 ブラックヘッドの基準位置調整（枠線）を行う場合**

■ 縦方向の調整

K（ブラック）基準位置調整用黒枠が上寄りになっている場合は数値をマイナス（－）に、下寄りになっている場合は数値をプラス（+）にします。
［縦方向］の［A］（ブラック）をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。

■ 横方向の調整

K（ブラック）基準位置調整用黒枠が左寄りになっている場合は数値をプラス（+）に、右寄りになっている場合は数値をマイナス（－）にします。
［横方向］の［W］（ブラック）をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。

● 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。

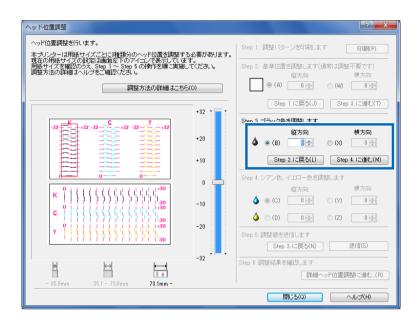
● ▲、▼ ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。

● 数値を 1 増減させると、黒枠は左右に 0.0425mm 移動します。

● 調整範囲は縦（－ 32 ～ +32）、横（－ 30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

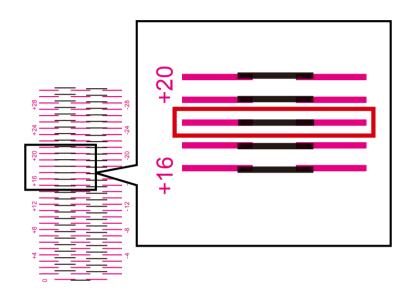
7

Step 3. ブラック色の調整を行います。

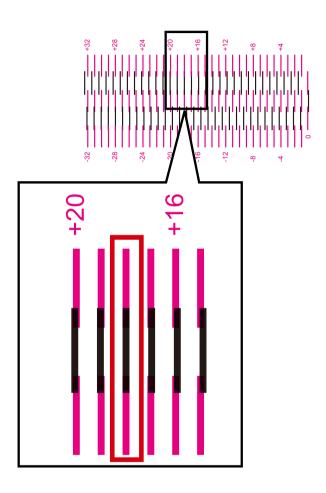
調整パターンの [K]（ブラック）の [B] 縦方向、[X] 横方向を確認して、それぞれ赤い線と重なっている数値を読み取り、入力します。

メモ

- ［B］縦方向や［X］横方向を選択すると、［ヘッド位置調整］ダイアログボックスの調整パターン上で、見る箇所がマゼンタ枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「〜に戻る」をクリックしてください。

■ 縦方向の調整

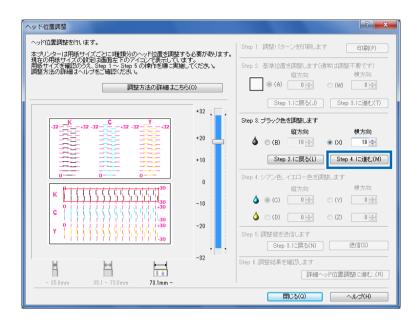
ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。
例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 3 の［縦方向］の（B）をチェックして、「18」を入力します。

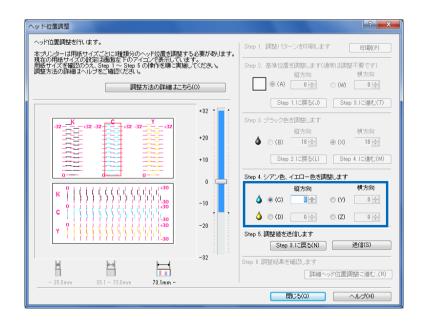
横方向の調整

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。
例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 3 の［横方向］の（X）をチェックして、「18」を入力します。

メモ

- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（− 32 ～ +32）、横（− 30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

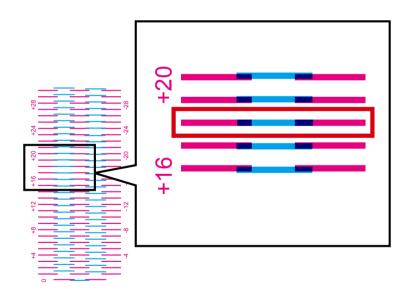
8 数値を入力したら［Step 4.に進む］をクリックします。

9 Step 4. シアン色、イエロー色の調整を行います。

調整パターンの［C］（シアン）の［B］縦方向、［X］横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。

メモ

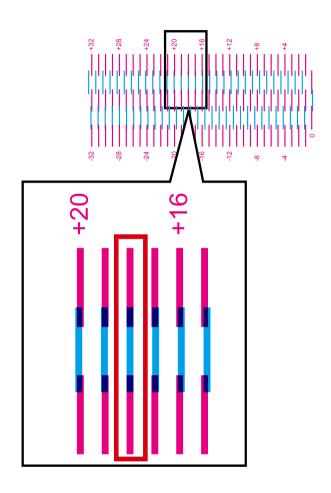
- ［C］［D］縦方向や［Y］［Z］横方向を選択すると左側の調整パターン上で見る位置が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

10 シアン、イエローのヘッド位置を調整します。

■ 縦方向の調整

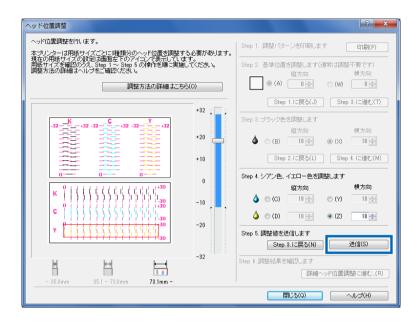
シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。
例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。
同じようにイエローも行います。

ヘッド位置調整シートの Step 4 の［縦方向］の（C）と（D）をチェックして､｢18｣を入力します。

■ 横方向の調整

シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。
例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。
同じようにイエローも行います。

ヘッド位置調整シートの Step 4 の［横方向］の（Y）と（Z）をチェックして、「18」を入力します。

メモ

- ［▲］、［▼］ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（－ 32 ～ +32）、横（－ 30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

11 入力が終わったら［送信］をクリックします。

送信確認が表示されますので［はい］をクリックします。

調整値がプリンターへ送信されて、ヘッド位置が調整されます。

12 ［OK］をクリックします。

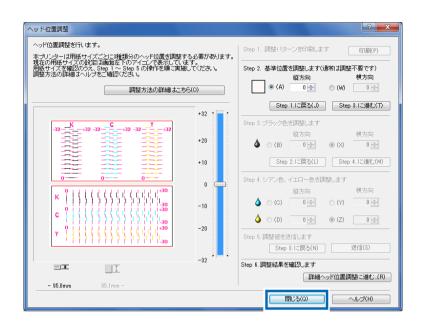
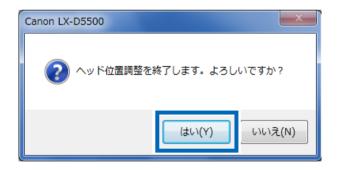
メモ

● より詳細な調整を行いたい場合は、［詳細ヘッド位置調整に進む］をクリックしてください。

➡ 「5-3 詳細なヘッド位置調整を行う（P.160）」

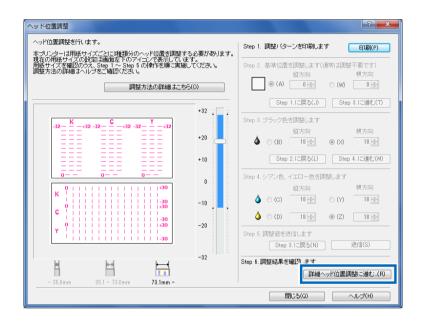
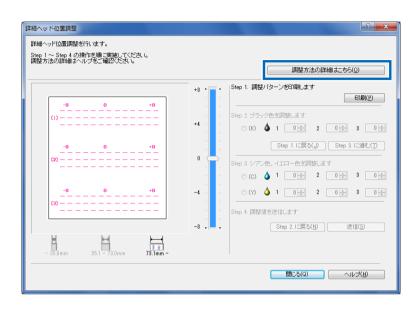
13 再度［印刷］をクリックしてヘッド位置調整パターンを印刷し、ヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。

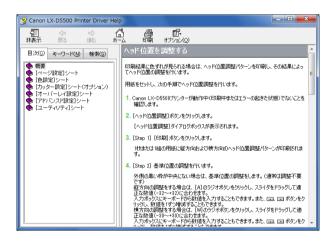
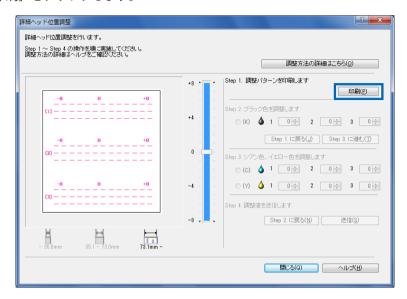
印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。
線がずれて見える場合は、もう一度 Step 1 から調整を行ってください。

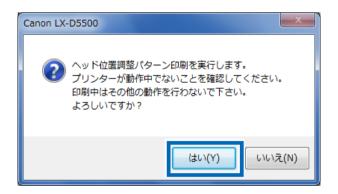
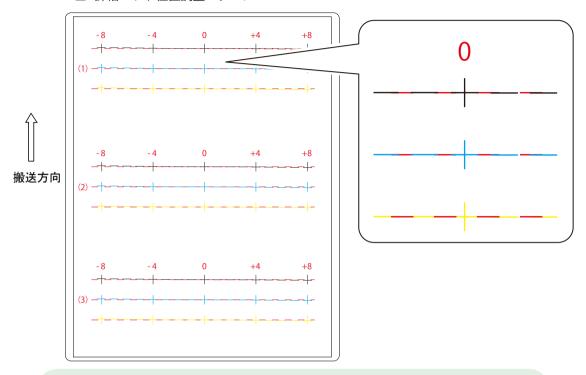
14　ヘッド位置調整が終了したら、［閉じる］をクリックします。

ヘッド位置調整の終了を確認するメッセージが表示されます。

15　［はい］をクリックします。

5-3 詳細なヘッド位置調整を行う

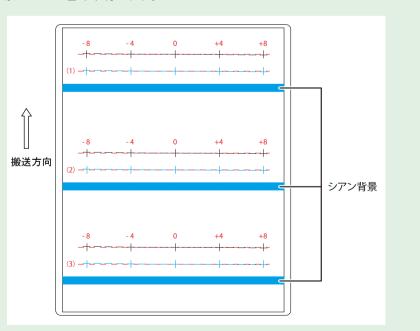
通常の［ヘッド位置調整］を行った後に、もっと詳細な調整を行いたいというお客様のための調整手順です。

1 ［詳細ヘッド位置調整へ進む］をクリックします。

2 ［詳細ヘッド位置調整］ダイアログボックスが表示されます。

「調整方法の詳細はこちら」をクリックすると［ヘルプ］から操作手順を確認することができます。

3 プリンターが動作中でないことを確認し、Step 1 調整パターンの印刷を行います。

［印刷］をクリックします。

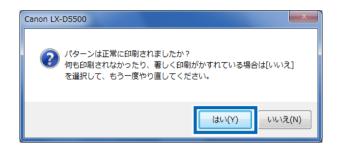
4 確認画面が表示されますので［はい］をクリックします。

■ 詳細ヘッド位置調整パターン

■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

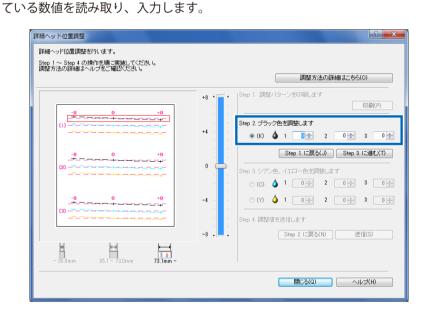
LX-P5500（顔料モデル）の調整パターンは、イエローを見やすくするために背景をシアン色で印刷します。

5

調整用パターンが正常に印刷されたかどうかの確認画面がを表示します。

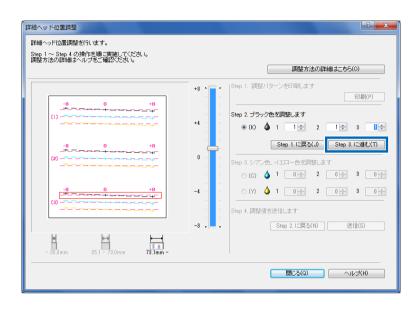
［はい］をクリックします。

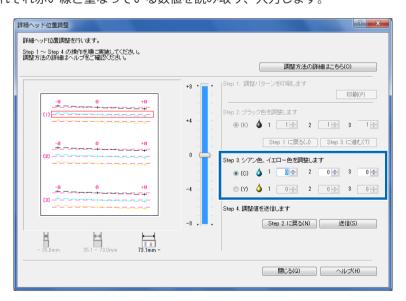
［いいえ］を選ぶともう一度調整パターンを出力します。

6

Step 2 ブラック色の調整を行います。

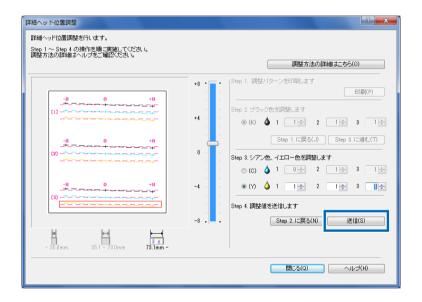
調整パターンの［K］（ブラック）の［1］、［2］、［3］を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。

メモ

- ［1］、［2］、［3］を選択すると、［詳細ヘッド位置調整］ダイアログボックスの調整パターン上で、見る箇所が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

7 数値を入力したら［Step 3.に進む］をクリックします。

8 Step 3. シアン色、イエロー色の調整を行います。

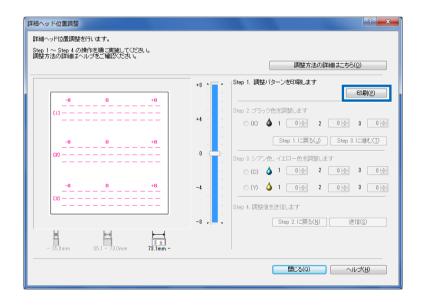
調整パターンの［C］（シアン）の［1］、［2］、［3］と［Y］の［1］、［2］、［3］を確認して、それぞれ赤い線と重なっている数値を読み取り、入力します。

メモ

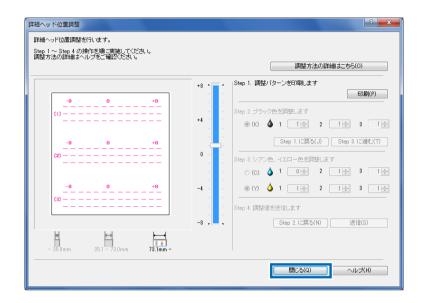
- ［C］シアン、［Y］イエローの［1］、［2］、［3］を選択すると、［詳細ヘッド位置調整］ダイアログボックスの調整パターン上で、見る箇所が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を変更したい場合は、「〜に戻る」をクリックしてください。

9 入力が終わったら［送信］をクリックします。

送信確認が表示されます。

10 ［はい］をクリックします。

調整値がプリンターへ送信されて、ヘッド位置が調整されます。

11 ［印刷］をクリックして詳細ヘッド位置調整パターンを印刷し、ヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。

印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。
線がずれて見える場合は、もう一度 Step 1 から調整を行ってください。

12 [閉じる] をクリックします。

詳細ヘッド位置調整の終了を確認するメッセージが表示されます。

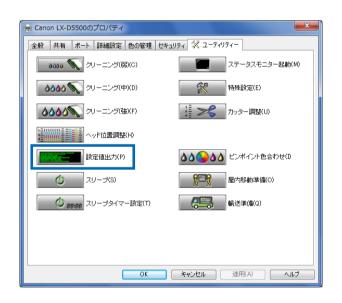
13 [はい] をクリックします。

5-4 設定値を確認する

本機に設定されている情報を印刷します。「設定値出力」を行う際は、用紙サイズが 4 × 3 インチ以上の大きさのカラーラベルプリンター専用紙をお使いください。

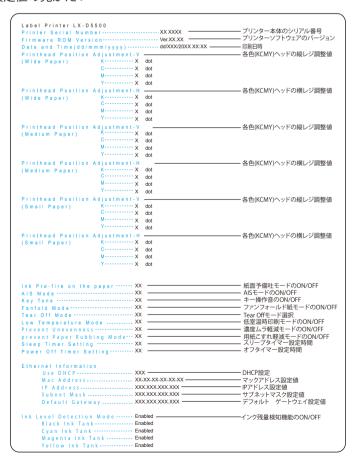
メモ

- 用紙サイズが 4 × 3 インチより小さい用紙をご使用の場合、印刷結果が欠けたり、印刷されない場合があります。
- 用紙がセットされていることを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、設定値印刷はできません。

1 ［LX-D5500（または LX-P5500）のプロパティ］ダイアログボックスの［ユーティリティー］シートを表示し、［設定値出力］をクリックします。

2 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

3 ［プリンターへ出力］または［ファイルへ出力］のどちらかを選択して、［実行］をクリックします。通常は、［プリンターへ出力］を選択します。

現在、プリンターに設定している値が印刷されます。

■ ＜設定値の見かた＞

5-5 インクタンクを交換する

インクの残量が少なくなると､ステータスモニターに｢XXXXインク残量少｣のメッセージが表示され、インクがなくなることを知らせます。印刷は継続できますが、インクがなくなると「XXXXインクなしエラー」メッセージが表示され印刷を停止します。
ステータスモニターに表示されたメッセージを確認し、インクタンクを交換します。

メモ

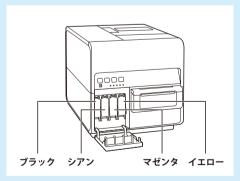
- 「XXXXインク残量少」メッセージが表示されたら、できるだけ早く新しいインクタンクを入手してください。新しいインクタンクの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。

  ※XXXXは、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。

- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは本プリンター用のインクタンクを使用してください。

  インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番が記載されていることをご確認ください。

	LX-D5500（染料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）
ブラックインクタンク	BJI-P511BK	BJI-P521BK
シアンインクタンク	BJI-P511C	BJI-P521C
マゼンタインクタンク	BJI-P511M	BJI-P521M
イエローインクタンク	BJI-P511Y	BJI-P521Y

- 4 色のインクタンクの位置は、次のとおりです。

セットする位置が違う場合は、インクタンクを差し込むことができません。無理にセットしないでください。

重要

- プリントヘッドの品質を維持するためインクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクタンク内に使用できないインクが残ります。
- 良い印刷結果を得るために、インクは開封後 6 ヶ月以内に使い切ってください。
- インクタンクは、交換するとき以外は抜き差しをしないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- インクタンクの交換は速やかに行ってください。また、インクタンクを取り外した状態で長時間放置しないでください。
- インクタンクは、変形するおそれがありますので、高温になる場所に長時間放置しないでください。
- インクタンクは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

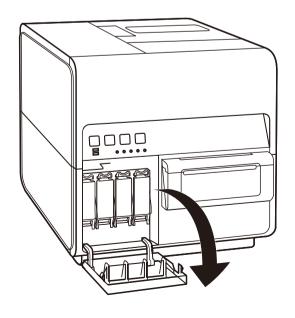
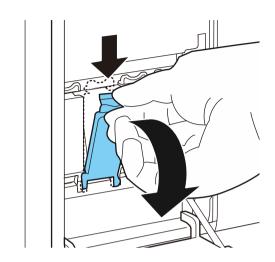
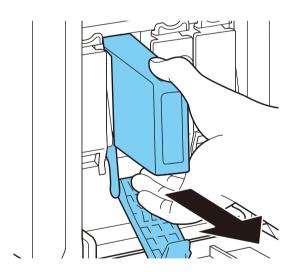
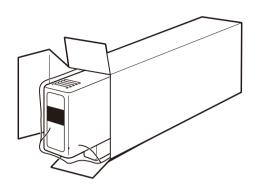
注意

- **安全のために、インクタンクは子供の手が届かないところに保管をしてください。**
- **間違えてインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐ医師にご相談ください。**

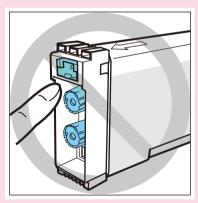
1 インクタンクドアを開きます。

2

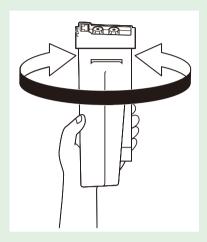
インクタンクカバーを開きます。

3

空になったインクタンクを手前にゆっくり引き抜きます。

4 新しいインクタンクを取り出します。

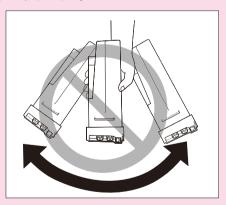
重要

- インク供給部や IC チップが入っている端子部には絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

- インクタンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

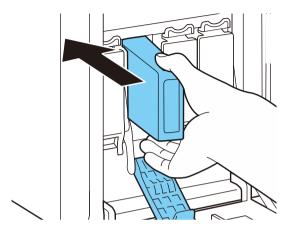
■ LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ

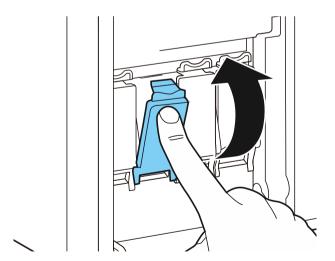
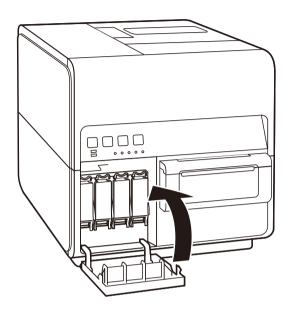
- 顔料インクは成分が沈殿しやすいため、本体に装着する前に図のようにインク供給口を上にして、ゆっくりと 2 ～ 3 回振ってください。

- 使いかけの顔料用インクタンクをセットする場合も、同様に振ってから装着してください。

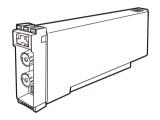
重要

- インク供給口からインクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがありますので、インク供給部を下に向けて振らないでください。

5 新しいインクタンクをセットします。

インクタンクを上下間違えないようにして、ゆっくりと奥まで差し込みます。

注意

- **インクタンクの挿入部内には、針部があり危険です。絶対に内部に指を入れたりしないでください。**

6 インクタンクカバーを閉じます。

7 インクタンクドアを閉じます。

8 セット完了です。

5-6 使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンクの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、″キヤノンによる環境保全と資源の有効活用″の取り組みの主旨にご賛同いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンクを次のいずれかの方法でご提供いただきますようお願いいたします。

回収窓口へのお持ち込み
キヤノンマーケティングジャパンでは、ご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意しております。

回収専用箱での回収
インクタンクの使用量が多いお客様には、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索、および回収専用箱のご注文方法につきましては、キヤノンサポートページを参照してください。

キヤノンサポートページ　　**canon.jp/support**

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、使用済みインクタンクをビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行なうものです。
詳細につきましては、下記のキヤノンのホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み　　**canon.jp/ecology**

5-7 メンテナンスカートリッジを交換する

メンテナンスカートリッジが、回収されたインクで満タンになったら、ステータスモニターに「メンテナンスカートリッジ満タンエラー」が表示されて、プリンターが停止しますので新しいメンテナンスカートリッジを用意して、交換を行ってください。

メモ

● メンテナンスカートリッジをご購入の際は、以下のメンテナンスカートリッジの型番が記載されていることをご確認ください。

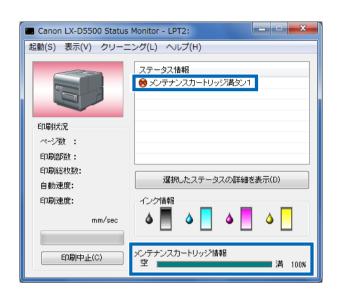
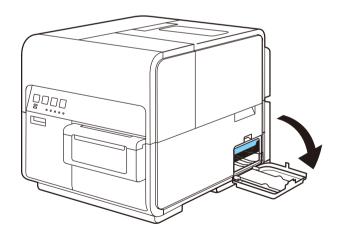
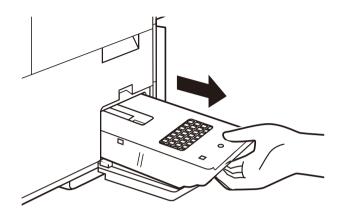
メンテナンスカートリッジ：型式名 WT-X401

重要

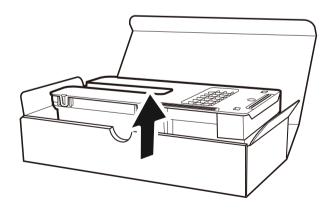
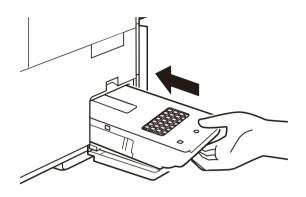
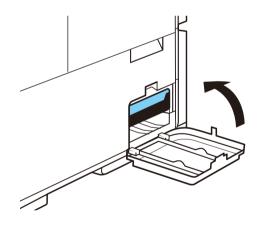
● インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
● 交換したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

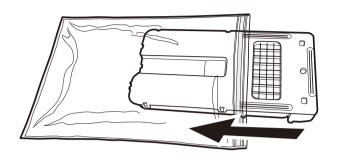
注意

● **安全のために、メンテナンスカートリッジは子供の手が届かないところに保管をしてください。**
● **間違えてインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐ医師にご相談ください。**

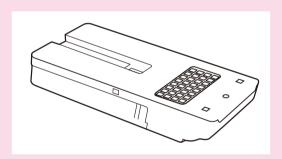
1 メンテナンスカートリッジが回収されたインクで満タンになると、ステータスモニターにエラーが表示されます。

2 メンテナンスカートリッジドアを開きます。

3 満タンになったメンテナンスカートリッジを取り出します。

重要

- 満タンになったメンテナンスカートリッジと取り出す際は、傾けたり、落としたりしないように気を付けてください。インクが飛散して、床や衣服などを汚してしまう場合があります。

4 新しいメンテナンスカートリッジを箱から取り出します。

5 新しいメンテナンスカートリッジをセットします。

6 メンテナンスカートリッジドアを閉じます。

ステータスモニターのエラーが解除されて、印刷が開始されます。

7 取り出したメンテナンスカートリッジを同梱のビニール袋に入れて廃棄します。

重要

■ 使用済みメンテナンスカートリッジについて

使用済みメンテナンスカートリッジは同封のビニール袋に入れ、お住まいの地域の条例に従って処分してください。

5-8 プリンターの清掃

用紙の裏面がインクで汚れた場合は、本機に付属しているクリーニングスティックを使って、搬送部に付着したインクを拭き取ってください。

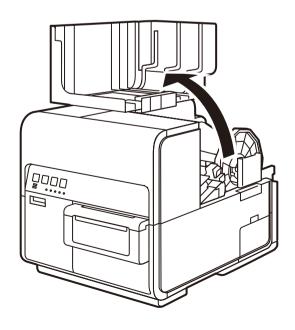
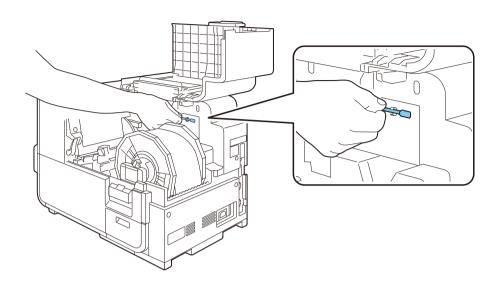
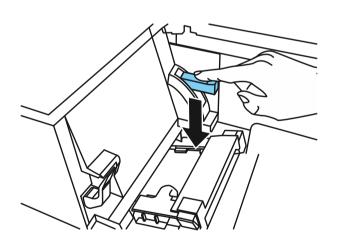
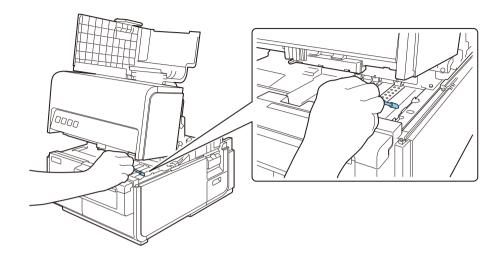
警告

- **プリンター外部および内部を清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。**

注意

- **清掃する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。誤って動作した場合、けがや故障の原因になることがあります。**

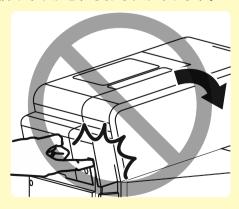
1 電源オフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 ロールカバーを開きます。

3 付属のクリーニングスティックを取り外します。

4 給紙部奥側の、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。

5 クリーニングスティックで搬送部に付着したインクを拭き取ります。

メモ

- ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れたかすや紙粉が本体内に入ると、故障の原因となります。

6 上ユニットを閉じます。

注意

- **上ユニットを閉じる場合は、背面のインターフェイス部に指などで触れないようにしてください。挟んでけがをするおそれがあります。**

5-9 インクリフレッシュを行う（顔料モデルのみ）

インクリフレッシュとは、プリントヘッド内およびインク流路内のインクの循環動作を行います。LX-P5500（顔料モデル）のインクは、時間の経過とともにインクが徐々に沈降していきますので、定期的にインクリフレッシュとインクタンクを振る作業が必要となります。

重要

- インクリフレッシュの「警告」または「オペレーターコール」は、インクタンクを装着してからカウントを開始します。

  54 日間または 84 日間にインクタンクの交換が 1 度もなかった場合は、「警告」または「オペレーターコール」が表示されます。
- インクリフレッシュ中は、その他の動作を行わないでください。
- 「警告：インクリフレッシュ実施時期 1 または 2」「オペレーターコール：インクリフレッシュ実施時期超過 1」が表示されたら、必ずインクリフレッシュを実施してください。

  「オペレーターコール：インクリフレッシュ実施時期超過 2 または 3」は、インクを消費しますのでご注意ください。

	エラー種別	警告 1	オペレーターコール 1	オペレーターコール 2
［特殊設定］の［インクリフレッシュ警告時期変更］が［チェックなし］の場合 ➡「LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ（P.125）」	インクタンクを装着してから	55 日目～ 59 日まで（5 日間）	60 日目～ 89 日まで（30 日間）	90 日目～
	ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期 1 ➡「インクリフレッシュ　その 1（P.189）」	インクリフレッシュ実施時期超過 1 ➡「インクリフレッシュ　その 1（P.189）」	インクリフレッシュ実施時期超過 2 ➡「インクリフレッシュ　その 2（P.198）」
	内容	この時点でインクリフレッシュを行えば、インクは消費しません。 インクリフレッシュを実施すれば、次回も 55 日目に「警告 1」を表示します。 （プリンターは停止しません）	「警告 1」を行わなかった場合に表示します。 この動作は、インクを消費しません。 インクリフレッシュを実施すれば、次回は 55 日目に「警告 1」を表示します。 （プリンターは強制停止します）	「警告 1」も「オペレーターコール 1」も行わなかった場合に表示します。インクリフレッシュを実施すれば、次回は 55 日目に「警告 1」を表示します。 この動作は、インクを消費しますのでご注意ください。 （プリンターは強制停止します）

	エラー種別	警告 2	オペレーターコール 2
［特殊設定］の［インクリフレッシュ警告時期変更］が［チェックあり］の場合 ➡「LX-P5500（顔料モデル）をお使いの方へ（P.125）」	インクタンクを装着してから	85 日目～ 89 日（5 日間）	90 日～
	ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期 2 ➡「インクリフレッシュ　その 1（P.189）」	インクリフレッシュ実施時期超過 2 ➡「インクリフレッシュ　その 2（P.198）」
	内容	使用開始から 84 日間に 1 度もインクリフレッシュを行わなかった場合に表示します。 インクリフレッシュを実施すれば、次回も 85 日目に「警告 2」を表示します。この動作はインクを消費しません。 （プリンターは停止しません）	「警告 2」を実施しなかった場合に表示します。 インクリフレッシュを実施すれば、次回は 85 日目に「警告 2」を表示します。 この動作は、インクを消費しますのでご注意ください。 （プリンターは強制停止します）

最後に印刷を行った日から、60 日間印刷を行わなかった場合	エラー種別	オペレーターコール 3
	最後の印刷から	60 日目〜
	ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期超過 3 ➡「インクリフレッシュ　その 3（P.202）」
	内容	最後の印刷から 60 日以上 1 度も印刷を行わなかったとき、またはインクリフレッシュを行わなかった場合に表示します。（電源の投入だけでは駄目です） インクの沈殿が進行して、インクタンクに戻すことができないので流路内のインクを全て排出します。 この動作は、インクを大量に消費しますのでご注意ください。 ここで、インクリフレッシュを実施すれば次回は、プリンター使用中に「警告 1」または「警告 2」が表示されます。 （この状態を回避するために 2 ヶ月間に 1 度は、印刷を行っていただくことをお勧めします） （プリンターは強制停止します）

インクリフレッシュ　その 1

1 ステータスモニターに［インクリフレッシュ実施時期 1 または 2］［インクリフレッシュ実施時期超過 1］の警告およびオペレーターコールが表示されます。

メモ

- ステータスモニターの［選択したステータスの詳細を表示］をクリックして内容の確認をしてください。

重要

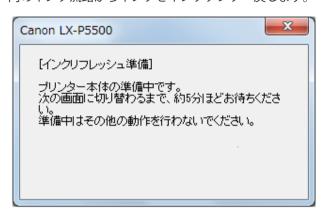
- インクリフレッシュが正常に動作しないおそれがありますので、ステータスモニターを確認した後は必ず閉じてください。

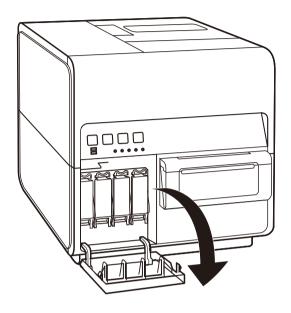
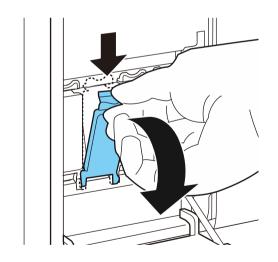
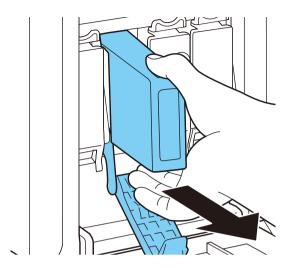
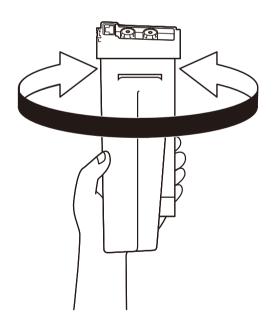
2 ［ユーティリティー］シートの［インクリフレッシュ］をクリックします。

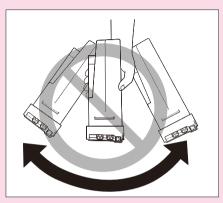
3 確認のダイアログが表示されますので、［はい］をクリックします。

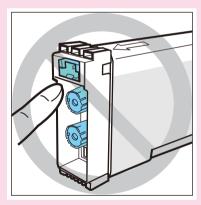
約 5 分程かかります。

4　インクリフレッシュの準備を行います。

プリンター内のインク流路からインクをインクタンクへ戻します。

5　準備が完了するとダイアログは自動的に閉じて、次のダイアログを表示します。

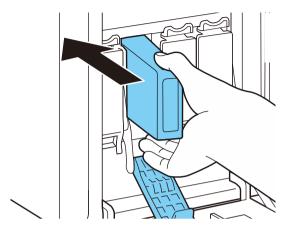
6 インクタンクドアを開きます。

7 インクタンクカバーを開きます。

8 インクタンク各色を手前にゆっくり引き抜きます。

9 インクタンク各色を、図のようにインク供給口を上にして、ゆっくりと 2～ 3回振ってください。

重要

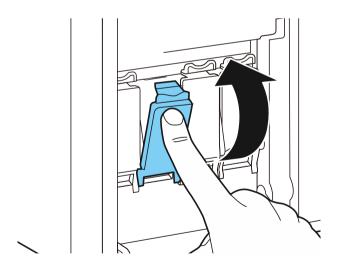
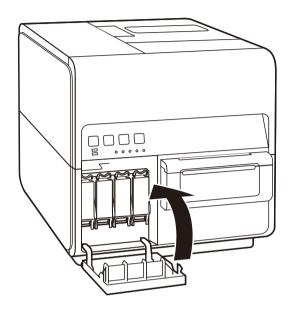
- インクタンクは 4 色全ての色を確実に振ってください。
- インク供給口からインクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがありますので、インク供給部を下に向けて振らないでください。

重要

- インク供給部や IC チップが入っている端子部には絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

- インクタンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがあります。

10 インクタンク各色をセットします。

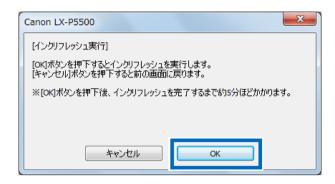
インクタンクを上下間違えないようにして、ゆっくりと奥まで差し込みます。

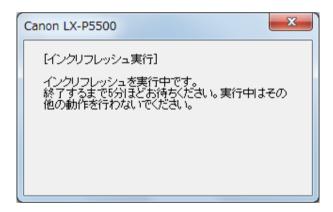
⚠ 注意

- **インクタンクの挿入部内には、針部があり危険です。絶対に内部に指を入れたりしないでください。**

11 インクタンクカバーを閉じます。

12 各色全てのインクタンクをセットしたら、インクタンクドアを閉じます。

13 ［OK］をクリックします。

重要

● 動作の途中で［キャンセル］キーを押さないようにしてください。キャンセルすると、ファーストプリントに時間が掛かります。

14　確認画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

15　プリンターが［インクリフレッシュ］を実行します。

約 5 分程かかります。

16　［インクリフレッシュ］が終了したので［OK］をクリックします。

インクリフレッシュ　その 2

1 ステータスモニターに［インクリフレッシュ実施時期超過 2］のオペレーターコールが表示されてプリンターが停止します。

メモ

- ステータスモニターの［選択したステータスの詳細を表示］をクリックして内容の確認をしてください。

重要

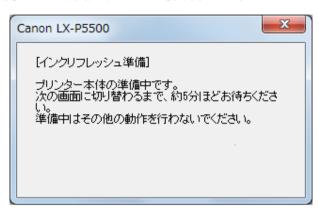
- インクリフレッシュが正常に動作しないおそれがありますので、ステータスモニターを確認した後は必ず閉じてください。

2 ［ユーティリティー］シートの［インクリフレッシュ］をクリックします。

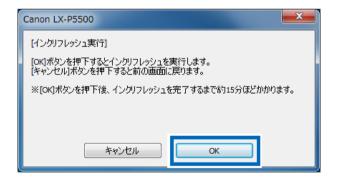
3 確認のダイアログが表示されますので、［はい］をクリックします。

約 5 分程かかります。

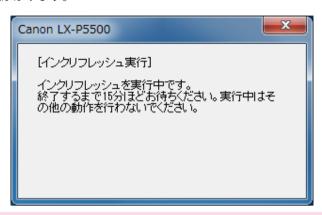
4 インクリフレッシュの準備を行います。

プリンター内のインク流路からインクを引き戻します。

5 「インクリフレッシュ　その 1」の手順 5から手順 13を行います。

➡ 「インクリフレッシュ　その 1（P.189）」

6 確認画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

7 プリンターが［インクリフレッシュ］を実行します。

約 15 分程かかります。

重要

- 90 日目まででインクリフレッシュを実行していなかった場合は、リフレッシュ動作が約 15 分程かかります。

8 ［インクリフレッシュ］が終了したので［OK］をクリックします。

インクリフレッシュ　その 3

1 ステータスモニターに［インクリフレッシュ実施時期超過 3］のオペレーターコールが表示されてプリンターが停止します。

メモ

- ステータスモニターの［選択したステータスの詳細を表示］をクリックして内容の確認をしてください。

重要

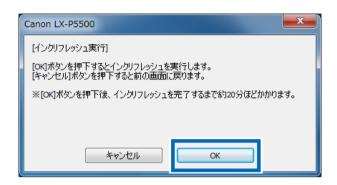
- インクリフレッシュが正常に動作しないおそれがありますので、ステータスモニターを確認した後は必ず閉じてください。

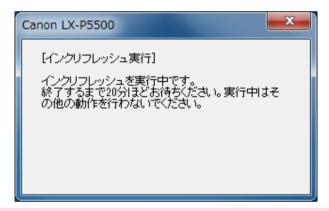
2 ［ユーティリティー］シートの［インクリフレッシュ］をクリックします。

3 確認のダイアログが表示されますので、［はい］をクリックします。

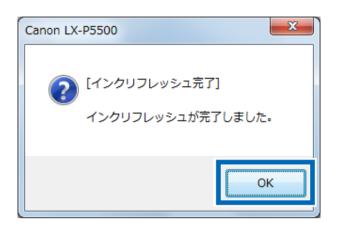
4 「インクリフレッシュ　その 1」の手順 5から手順 13を行います。

➡「インクリフレッシュ　その 1（P.189）」

5 **確認画面が表示されますので、［OK］をクリックします。**

6 **プリンターが［インクリフレッシュ］を実行します。**

約 20 分程かかります。

重要

- 最後の印刷から 60 日間印刷を行っていなかった場合のみ、リフレッシュ動作が約 20 分程かかります。

7 ［インクリフレッシュ］が終了したので［OK］をクリックします。

第 6 章 困ったときは

プリンターが思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときの対処方法について説明します。
下記の対処方法をお試しいただいても、同じメッセージが表示される場合は、本機をご購入の販売店やサービス店または、お客様相談センターにご連絡ください。

6-1 ステータスモニターにメッセージが表示されたとき

プリンターの操作中や印刷中にトラブルが発生すると、ステータスモニターにメッセージが表示されます。

メモ

- エラーメッセージが表示されると、プリンターは自動的にオフライン状態になります。内容によっては、対処を行っても自動的にオンライン状態にならない場合があります。その場合は、電源キーを押してオンライン状態にしてください。
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、ステータスモニターに全てのメッセージが表示されますので、エラー対処を行ってください。

■オペレーターコールエラー

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
上ユニットオープン	上ユニットが開いています。	上ユニットを閉じてください。
インクタンクドアオープン	インクタンクドアが開いています。	インクタンクドアを閉じてください。
メンテナンスカートリッジドアオープン	メンテナンスカートリッジドアが開いています。	メンテナンスカートリッジドアを閉じてください
用紙ガイドオープン	用紙ガイドが開いています。	用紙ガイドを閉めてください。
ロールカバーオープン	ロールカバーが開いています。	ロールカバーを閉じてください。
用紙なし 1	用紙がありません。	用紙をセットしてください ➡「1-4 用紙をセットする（P.15）」 印刷を中止する場合はリセットキーを押してください。 ➡「2-2 印刷を中止する（P.37）」

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
用紙なし 2	用紙が給紙されません。	用紙を再セットしてください。 ➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」 印刷を中止する場は、ステータスモニターの［印刷中止］をクリックしてください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する（P.37）」
用紙縦サイズ違い 1 ～ 3	印刷データとセットしている用紙の長さが合っていません。	印刷データとセットする用紙の長さを確認してください。
用紙横サイズ違い	セットしている用紙の幅が、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズの幅と異なります。	用紙が違っていた場合や用紙ガイドの位置がずれていた場合は、正しい用紙に交換または用紙ガイドの位置をなおしてください。 ➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」 アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が違っていた場合は、ステータスモニターの［印刷中止］をクリックしてください。 再度、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。
用紙ジャム 1 ～ 26	搬送路、または出入口付近で用紙が詰まっています。	用紙を再セットしてください。現象が繰り返されるようであれば、本機をご購入の販売店やサービス店または、お客様相談センターにご連絡ください。 ➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」
用紙セットミス 1 ～ 5	用紙のセットがうまくいきませんでした。	用紙を再セットしてください。 ➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」
ＸＸＸＸインクなし	ＸＸＸＸインクがなくなりました。	新しいインクタンクに交換してください。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
ＸＸＸＸインクタンクセットミス	インクタンクが正しく挿入されていません。	インクタンクを再セットしてください。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
ＸＸＸＸインクタンク異常 1 ～ 5	インクタンクが異常です。	新しいインクタンクに交換してください。
メンテナンスカートリッジ満タン	メンテナンスカートリッジの回収インクが満タンです。	新しいメンテナンスカートリッジをセットしてください。 ➡ 「5-7 メンテナンスカートリッジを交換する（P.179）」
メンテナンスカートリッジセットミス	メンテナンスカートリッジが正しく挿入されていません。	メンテナンスカートリッジを再セットしてください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
メンテナンスカートリッジ異常 1 ～ 4	メンテナンスカートリッジが異常です。	新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。
アップデート失敗 1 ～ 4	ファームウェアのアップデートに失敗しました。	再度、アップデートを行ってください。 オペレーターコールの対処を行った後も、再び同じオペレーターコールが発生する場合は、本機をご購入の販売店やサービス店または、お客様相談センターにご連絡ください。
データ不整合 1	ホストから異常なデータを受信しました。	ケーブルの接続を確認し、もう 1 度実行してください。
データ不整合 2		ケーブルの接続を確認し、もう 1 度実行してください。
データ不整合 3		フォームファイル情報を確認し、もう 1 度実行してください。
データ不整合 4		プリンタードライバーの用紙形状を確認し、もう 1 度実行してください。
メモリーフル	オーバーレイ印刷のフォームデータの容量が大きいため、メモリーが足りません。	印刷を中止して、フォームデータを作りなおしてください。 ➡「3-6-1. フォームをファイルに印刷する（P.89）」
オーバーレイデータ異常	フォームオーバーレイのデータが異常です。	ケーブルの接続を確認し、もう 1 度実行してください。
ＸＸＸＸインク残量不明	インク残量が検知できない。	新しいインクタンクに交換してください。 このまま印刷を続けるとプリンターに損害を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、プリンターの「PAUSE」キーを 5 秒以上押してください。 この場合、インクタンクの残量検知が無効になり、無効にしたことを履歴に残します。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。） ➡「インク残量検知機能について（P.223）」
不明なエラーＸＸＸＸ番	不明なオペレーターコールが発生しました。	メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
対応機種以外のプリンターと接続されています	Canon LX-D5500 または Canon LX-P5500 以外のプリンターと接続されています。	Canon LX-D5500 または Canon LX-P5500 と接続してください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
プリンターとの双方向通信不可能	コンピューターとプリンターの間で、双方向通信ができません。	プリンターの電源を確認して、オンライン状態またはスリープ状態になっているかを確認してください。または、コンピューターとプリンターを再起動してください。
インクリフレッシュ実施時期超過 1 ～ 3	インクリフレッシュの実施時期を超えています。	「インクリフレッシュ」を実施してください。 ➡ 「5-9 インクリフレッシュを行う（顔料モデルのみ）（P.187）」

■警告メッセージ

エラーメッセージ	警告の内容	対処のしかた
ＸＸＸＸインク残量少	Bk/C/M/Y の色のインクが残り少なくなっています。	新しいインクタンクをご用意ください。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
メンテナンスカートリッジ残量少	メンテナンスカートリッジのインク回収量がもうすぐ満タンになります。	新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。
ＸＸＸＸヘッド交換時期	Bk/C/M/Y のプリントヘッドの交換時期がきました。	メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
桶ユニット交換時期	桶ユニットが交換時期を経過しました。	メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
ブレードクリーナー交換時期	ブレードクリーナーが交換時期を経過しました。	メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
搬送ユニット交換時期	搬送ユニットの交換時期がきました。	メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
ＸＸＸＸインク残量検知機能解除中	ＸＸＸＸインクの残量検知機能が無効になっています。	本プリンター用のインクタンクをセットしてください。 （XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
印刷速度が最適ではありません。	印刷速度が最適ではありません。	プリンタードライバーの「印刷設定」ダイアログで［アドバンスド設定］シートの「印刷速度」を［自動速度］にしてください。
不明な警告（ＸＸＸＸ番）	不明な警告を取得しました。	プリンタードライバーのバージョンを確認してください。

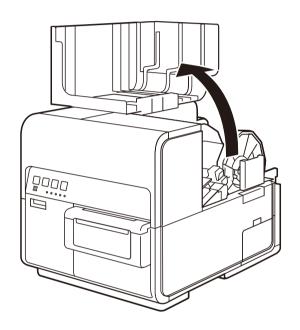
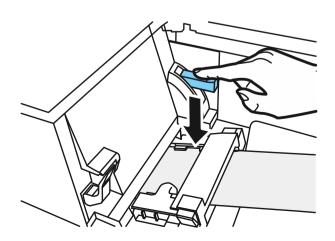
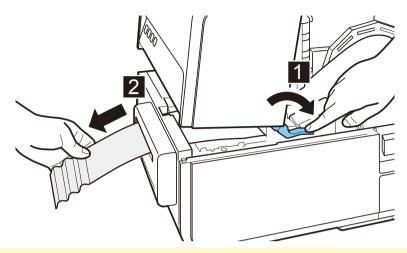
エラーメッセージ	警告の内容	対処のしかた
インクリフレッシュ実施時期 1 または 2	インクリフレッシュの実施時期がきています。	「インクリフレッシュ」を実施してください。 ➡「5-9 インクリフレッシュを行う（顔料モデルのみ）（P.187）」

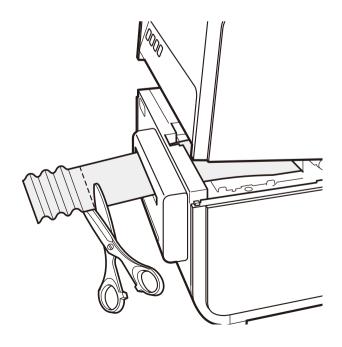
■ サービスマンコールエラー

エラーメッセージ	警告の内容	対処のしかた
サービスマンコールエラーＸＸＸＸ番	復帰不可能なエラーが発生しました。	電源を入れ直してください。 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

6-2 用紙が詰まったとき

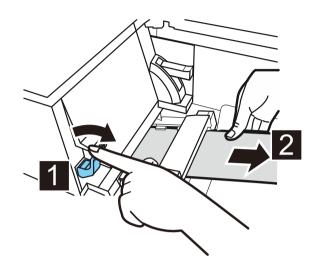
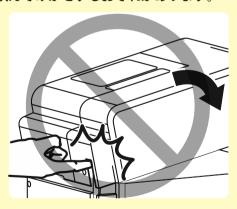
印刷中に紙詰まりが発生すると、印刷が中断され、ステータスモニターに「用紙ジャム X」というエラーメッセージが表示されます。
次の手順で、詰まった用紙を取り除いてください。

1 ロールカバーを開けます。

2 給紙部奥側にある、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。

3　ピンチローラー圧解除レバーを押しながら搬送路で詰まっている用紙を引き出します。

⚠ 注意

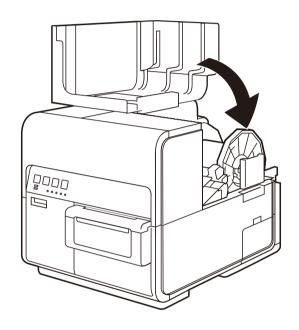
- 上ユニットを開けて搬送部から用紙を取り出す場合は、上ユニット内部の拍車に触れないようにしてください。けがや汚れの原因となります。

4　引き出した用紙をきれいにカットします。

5 ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、用紙を搬送方向と逆に引き出します。

6 上ユニットを閉じます。

⚠ 注意

- **上ユニットを閉じる場合は、背面のインターフェイス部に指などで触れないようにしてください。挟んでけがをするおそれがあります。**

7 用紙を再度セットします。

➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」

8 ロールカバーを閉じます。

9 クリーニングが行われて印刷を再開します。

メモ

● 印刷を中止する場合は、ステータスモニターの［印刷中止］をクリックしてください。

➡ 「2-2 印刷を中止する（P.37）」

6-3 プリンターが思ったとおりに動作しないとき

プリンターが思ったとおりに動かないときは、次のことを確認してください

■ 電源が入らない

確認ポイント	対処のしかた
電源オフ状態になっていませんか	電源キーを押してください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかり差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作するときはプリンター本体の故障が考えられますので、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■ 印刷が始まらない / 途中で止まる

確認ポイント	対処のしかた
上ユニットまたはインクタンクドアまたはメンテナンスカートリッジドアが開いていませんか	ドアを正しく閉じてください。
コンピューターと接続されていますか	コンピューターとプリンターをインターフェイスケーブルで正しく接続してください。
用紙をセットしましたか	用紙を正しくセットしてください。 ➡「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」
インクタンクはセットされていますか	インクタンクを正しくセットしてください。 ➡「5-5 インクタンクを交換する（P.171）」
コンピューター側で［Canon LX-D5500］または［Canon LX-P5500］のプリンタードライバーを選んでいますか	アプリケーションソフトウェアで印刷を開始するときは［CanonLX-D5500］または［CanonLX-P5500］プリンターを選択してください。
容量の大きな画像などを印刷していませんか	ステータスランプが点滅している場合は、データ処理中です。そのまましばらくお待ちください。
長時間連続して印刷を行っていませんか	印刷を長時間続けると、プリントヘッドの温度が高くなります。ヘッドを保護するため、印刷動作が中断されます。しばらくすると印刷を再開します。
印刷先のポートの設定は合っていますか	プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスで印刷先の［ポート］の設定で、正しいポートが選ばれているか確認してください。

確認ポイント	対処のしかた
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブでヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトウェアの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。印刷されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。
コンピューター側でトラブルが発生していませんか	コンピューターを再起動してから印刷してください。なお、起動したときに印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。
コンピューター側で Windows のシステムスタンバイの設定またはスリープ状態の設定が「なし」以外になっていませんか	印刷するときは、Windows のシステムスタンバイの設定またはスリープ状態になる時間設定を「なし」にしてください。コンピューターのスタンバイ状態からの復帰操作を行ったとき、コンピューターから送信したデータが破棄されるようになっていますので、ご注意ください。 システムスタンバイの設定またはスリープ状態の設定をするには、Windows の［スタート］メニューの［コントロールパネル］の中の［電源オプション］を開きます。
残量があるインクタンクが装着されているのに、「インクなし」の表示がでていませんか	インクタンクを一度抜いて、装着し直してください。 改善されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。

■用紙が正しく給紙されない

確認ポイント	対処のしかた
使用する用紙と特殊設定での設定が合っていますか。	プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］の［ファンフォールド紙モード］の設定を確認してください。 ・ロール用紙を使用する場合は、チェックをしないでください。 ・ファンフォールド紙を使用する場合のみ、チェックを入れてください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」
使用できない用紙を使用していませんか	カラーラベルプリンター専用紙を使用してください。他の用紙をお使いになりますと紙詰まりや故障の原因となります。 ➡「3-2-6. 用紙の種類を選ぶ（P.65）」
用紙の先端が折れたり、カールしていませんか	用紙の先端が折れていたり、カールしていると正しく給紙されないことがあります。また、紙詰まりや故障の原因にもなります。
ラベルの糊が劣化して剥れやすくなっていませんか	ラベルが剥れやすくなっている用紙は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
用紙ガイドを用紙の幅に合わせていますか	搬送ガイドを用紙の幅に合わせてセットして、用紙ガイドをカチッと音がするまでセットしてください。 ➡「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」
搬送部が汚れていませんか	搬送部が紙粉やインクで汚れていると、紙詰まりなどが起こりやすくなります。その場合は搬送部を清掃してください。 ➡「5-8 プリンターの清掃（P.184）」

■ ステータスモニターが起動しない

確認ポイント	対処のしかた
ステータスモニターの設定は合っていますか	ステータスモニターの設定によっては、印刷したりエラーが発生しないと起動しません。プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートを開いて［ステータスモニター起動］をクリックします。ステータスモニターが起動したら、設定を行ってください。 ➡「4-1-2. ステータスモニターの起動と表示方法（P.130）」
プリンターとコンピューターで双方向通信ができていますか	プリンターとコンピューターで双方向通信ができていないと、印刷を開始してもステータスモニターは起動しません。 プリンタードライバーの［プロパティ］を開いて［ポート］タブをクリックし、［双方向サポートを有効にする］にチェックされていることを確認してください。 上記の操作を行っても解決しない場合は、プリンタードライバーをアンインストールし、再度インストールしてください。

■ 印刷が止まらない / データが送信されない / ユーティリティーから設定が送れない ステータスモニターでステータスが認識できない

確認ポイント	対処のしかた
印刷キューウィンドウ（印刷データの順番が登録されるウィンドウ）のデータが残っていませんか	プリンターを一時停止して、ステータスモニターから印刷中止を行っていただくか、印刷キューウィンドウのデータを削除してください。その後、コンピューターを再起動してください。 ウィルス対策ソフトウェアの影響により、ネットワーク接続時に印刷およびユーティリティーの設定を行うと、コンピューターとプリンターの間で、データ転送エラーが発生して、印刷キューウィンドウのデータを何度もプリンターへ送信したり、全く送信しなかったりする場合があります。 この現象が発生した場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。

6-4 思ったとおりの印刷結果にならないとき

プリンターで思ったとおりの印刷結果にならないときは、次のことを確認してください。

■ 印刷面の裏側が汚れる

確認ポイント	対処のしかた
用紙の搬送部がインクで汚れていませんか	搬送部の清掃を行ってください。 ➡「5-8 プリンターの清掃（P.184）」

■ 意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対処のしかた
インターフェイスケーブルが外れかかっていませんか	コンピューターとプリンターをインターフェイスケーブルで正しく接続してください。
コンピューター側で［Canon LX-D5500］または［Canon LX-P5500］のプリンタードライバーを選んでいますか	アプリケーションソフトウェアで印刷を開始するとき、［Canon LX-D5500］または［Canon LX-P5500］プリンターを選択してください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブでヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトウェアの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。印刷されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。

■ 印刷が遅い

確認ポイント	対処のしかた
アプリケーション側で印刷部数を指定していませんか	印刷部数をアプリケーションソフトウェア側で指定すると、1 枚印刷するたびに新たな印刷データを送るために時間がかかる場合があります。この様なアプリケーションソフトウェアを使用する場合は、印刷部数はプリンタードライバー側で指定してください。
印刷速度が低速に設定されていませんか	プリンタードライバーの印刷設定の [アドバンスド設定] シートを開いて [印刷速度] を調整することができます。 ➡「3-7-4. 印刷速度を決める（P.100）」

■ 印刷品質が悪い

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果にすじ状の線が現れる	低温（室温 14 度以下）の環境で本機をお使いの場合は、プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］で［低室温時印刷モード］に設定して印刷してください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」
印刷結果に白く抜けているところがある	プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートを開いて［クリーニング］を行ってください。 ➡「5-1-1. クリーニング（弱、中、強）を行う（P.142）」 ［クリーニング］を行っても状況が改善しない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
印刷結果がかすれている	上記の確認ポイント「印刷結果にすじ状の線が現れる」および「印刷結果に白く抜けているところがある」の対処のしかたを確認してください。
印刷結果に色ずれが現れる	プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートを開いて［ヘッド位置調整］を行ってください。 ➡「5-2 ヘッド位置調整を行う（P.144）」
	低温（室温 14 度以下）の環境で本機をお使いの場合は、プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］で［低室温時印刷モード］に設定して印刷してください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」
	プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］の［ファンフォールド紙モード］の設定を確認してください。 ・ロール用紙を使用する場合は、チェックをしないでください。 ・ファンフォールド紙を使用する場合は、必ずチェックを入れてください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」

確認ポイント	対処のしかた
中間調の表現が粗い	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートの［詳細設定］にある［ハーフトーン処理］を［誤差拡散］に設定してください。ただし、［ハーフトーン処理］と比べデータの内部処理に時間が掛かるため、印刷速度が遅くなる場合があります。 ➡「3-4-5. ハーフトーン処理を選ぶ（P.82）」
文字のまわりや、べた塗り部分にムラが現れる	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートの［ハーフトーン処理］を［誤差拡散］に設定してください。ただし、［ハーフトーン処理］と比べデータの内部処理に時間が掛かるため、印刷速度が遅くなる場合があります。 ➡「3-4-5. ハーフトーン処理を選ぶ（P.82）」 または、 プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］ダイアログの［濃度ムラ軽減モード］にチェックを入れてください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」
全体的にきれいに印刷されない	カラーラベルプリンター専用紙を使用することをお奨めします。 専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙詰まりや故障の原因となります。
印刷した用紙が波打っていて、用紙をこすったあとが残る	プリンタードライバーの［ユーティリティー］シートの［特殊設定］ダイアログの［用紙こすれ軽減モード］にチェックを入れて、レベル 1 ～ 3 をクリックしてください。 ➡「3-8-5. 特殊な設定を行う（P.123）」 それでも状況が改善しない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■印刷された色がおかしい

確認ポイント	対処のしかた
印刷された色が画面と違う	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートおよび［詳細設定］シートを調整してください。 ➡「3-3［色設定］シートを利用する（P.70）」 ➡「3-4［詳細設定］ダイアログボックスを使用する（P.78）」 また、お使いのコンピューターのコントロールパネルで、［ディスプレイ］および［画面のプロパティ］が正しく設定されているか確認してください。 特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。
全体的にきれいに印刷されない	カラーラベルプリンター専用紙を使用することをお奨めします。専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙づまりや故障の原因となります。 ➡「3-2-6. 用紙の種類を選ぶ（P.65）」
画像が明るい / 暗い	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートの［色調整］の［写真］、［グラフィック］、［ICM］のどれかを選択して、［詳細設定］シートの［明るさ調整］または［レベル補正］を行ってください。 ➡「3-3［色設定］シートを利用する（P.70）」 ➡「3-4［詳細設定］ダイアログボックスを使用する（P.78）」
画像の濃淡が薄い / 濃い	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートを開いて［詳細設定］で濃度調整を行ってください。 ➡「3-4-3. 濃度を調整する（P.80）」
画像がぼやけている	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートの［詳細設定］シートを開いて［シャープネス］を設定してみてください。 ➡「3-4-7. シャープネスをかける（P.84）」

■単色で印刷される

確認ポイント	対処のしかた
印刷設定で単色指定が行われていませんか	プリンタードライバーの印刷設定の［色設定］シートを開いて［単色指定］の設定を確認してください。 ➡「3-3-3. 単色で印刷する（P.77）」
アプリケーションソフトウェアの設定が単色印刷になっていませんか	アプリケーションソフトウェアによっては単色印刷を設定できる場合があります。コンピューター側でアプリケーションソフトウェアの印刷設定をご確認ください。

■その他

インク残量検知機能について

このプリンターのインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。

➡　「4-2-3. インク情報を見る（P.138）」

インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷を停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いません。

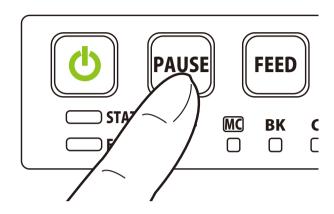
重要

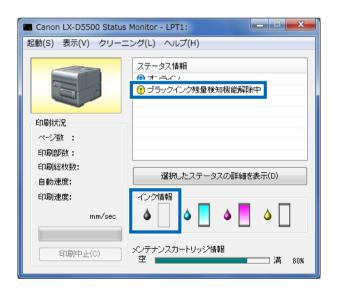
- インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。
- インク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復させるには、「LX-D5500」または「LX-P5500」専用の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。
- インク残量検知機能を無効にした場合は、プリンター本体にその履歴を保存します。

インク残量検知機能を無効にする手順は以下の通りです。

1 ［ステータスモニター］に警告メッセージが表示されます。

「選択したステータスの詳細を表示」をクリックすると、ヘルプが表示されます。

2 操作パネルのポーズキーを 5秒以上押します。

3 インク残量検知機能は無効になり、ステータスモニターの表示は、［XXXXインク残量検知機能解除中］になります。

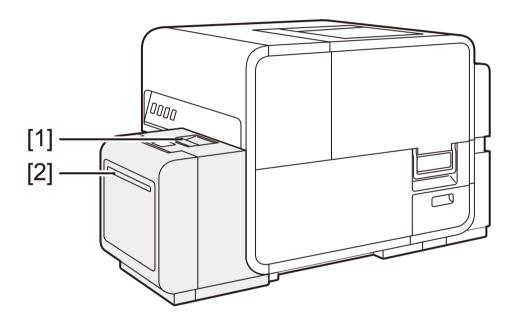
インク情報のインク残量表示がグレーアウトします。

メモ

- ステータスモニターの表示は、「LX-D5500」または「LX-P5500」用の新しいインクタンクを装着すると消えます。

第 7 章 オートカッター（オプション）

7-1 各部の名称と働き

オプションのオートカッターをご購入頂くと、高速で用紙をカットすることができます。
ここではオートカッターの各部の名称や使いかたについて説明します。

7-1-1. 各部の名称

［1］	**開閉カバー**
	用紙詰まりが発生した場合に開けて、詰まった用紙を取り除きます。
［2］	**排紙口**
	カットされた用紙が排紙されます。

重要

- オートカッター部は、机等の設置スペースからはみ出さないようにしてください。
- ラベル用紙の糊部分を切ると、カッターに糊が付着し、カッターが切れにくくなるおそれがあります。

7-2 オートカッターの設定

プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログで、オートカッターを使用するかしないかを設定します。

メモ

- ［カッター設定］シートは、オプションのオートカッターを装着した場合のみ使用可能です。
- 専用アプリケーションの「LabelCreate」をお使いの場合は、LabelCreate の「印刷」⇒「拡張オプション」設定が優先されます。

1

[カッター設定]シートで [オートカッター]にチェックを入れます。

2

次にオートカッターの[カット間隔］を設定します。

用紙をカットするタイミングや何枚ごとにカットするかの間隔を設定します。

ジョブの始めと終わり部分および、ジョブの途中でのカット方法の設定を行います。

7-2-1. ジョブの始めと終わりのカット方法の設定

印刷ジョブの先頭でカットする場合に、[ジョブの始めにカットする] のチェックボックスにチェックを入れます。

印刷ジョブの終わりでカットする場合に、[ジョブの終わりにカットする] のチェックボックスにチェックを入れます。

メモ

● ［カット位置］のイメージが赤点線でプレビュー表示されます。

7-2-2. ジョブの途中でのカット方法の設定

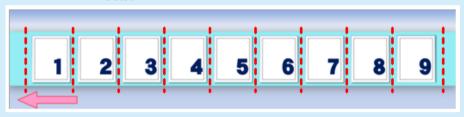
印刷ジョブの途中でカットする場合に、[ジョブの途中でカットする] のチェックボックスにチェックを入れます。

[連続印刷時又は繰り返し印刷時]

連続して印刷する場合や、部単位で繰り返して印刷する場合に選択します。
[カット間隔] で設定したページ数ごとに、部内でカットします。

メモ

- 部ごとにカットする場合は、[カット間隔] は部のページ数の数値に設定してください。
- [ジョブの途中でカットする] の印刷方式の設定と、印刷を行うアプリケーションソフトウェアの印刷方式の設定が異なっていると、正しくカットされません。正しくカットするためには、印刷方式の設定を必ず合わせてください。
- [カット位置] および [カット間隔] の設定は、プレビュー表示されます。

カット間隔 1 ページ

カット間隔 2 ページ

カット間隔 3 ページ

[グループ印刷]

同じページを複数枚まとめて印刷する場合に選択します。
グループごとにカットを行い、さらに、［グループ内でカットする］のチェックボックスにチェックを入れると、［カット間隔］で設定した枚数ごとに、グループ内でカットします。

メモ

- ［カット間隔］で設定した枚数が、グループの枚数より大きい場合は、グループ内でのカットはしません。
- ［ジョブの途中でカットする］の印刷方式の設定と、印刷を行うアプリケーションソフトの印刷方式の設定が異なっていると、正しくカットされません。正しくカットするためには、印刷方式の設定を必ず合わせてください。
- ［カット位置］およびカット間隔の設定イメージは、プレビュー表示されます。

カット間隔 1 ページ

カット間隔 2 ページ

3 [OK]をクリックします。

カット間隔が設定されます。

メモ

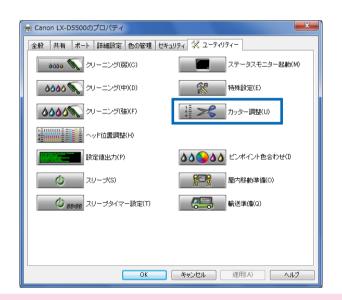
- ［カット間隔］の設定を標準に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。

7-3 カット位置の調整を行う

印刷されたラベルをオートカッターで切り離すときのカット位置を調整することができます。

メモ

- ユーティリティーシートの各項目の設定などを行うときは、プリンターの電源が入っていて、コンピューターと接続されている必要があります。

1 [Canon LX-D5500または Canon LX-P5500のプロパティ]ダイアログボックスの[ユーティリティー]シートの[カッター調整] をクリックします。

重要

- ［カッター調整］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

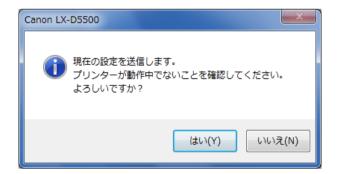
2 [カッター調整]ダイアログボックスが表示されます。

3 [カット位置]のスライダーをドラッグして、用紙のカット位置を調整します。

メモ

- 設定できる範囲は、－ 10.0 ～ +10.0mm までで、0.5mm 間隔で設定できます。
- カット位置の設定を標準の設定に戻す場合は、［標準に戻す］をクリックします。

4 [送信]をクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］をクリックしてください。

5 設定をプリンターへ送信します。

6 テスト印刷を行ない、用紙間の中央をカットしていることを確認し、実際の印刷を行なってください。

メモ

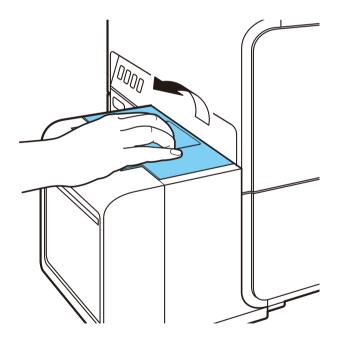
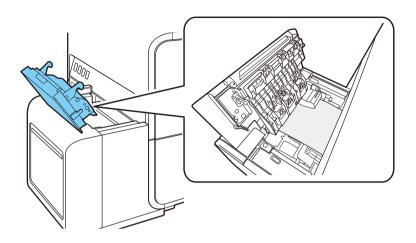
- 用紙を交換した際は、必ず［カット位置］の調整を行なってください。
- ［ユーティリティー］の［カッター調整］にある［停止位置］は、手動カッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。オートカッター使用時は機能しません。

7-4 用紙が詰まったら

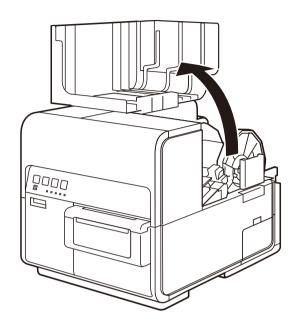
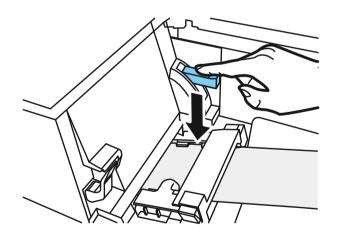
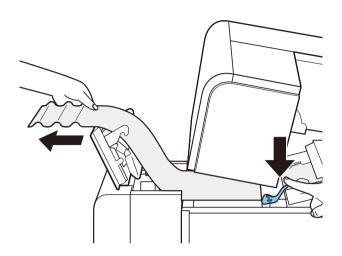
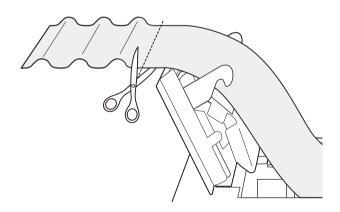
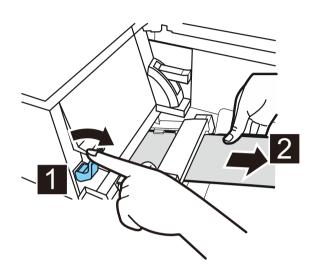
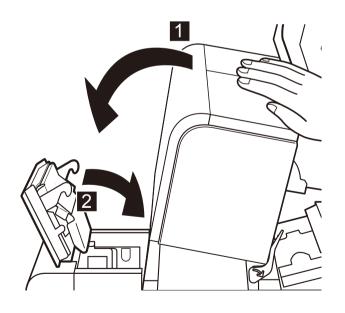
オートカッター使用時に紙詰まりが発生した場合は、以下の方法で詰まった用紙を取り除いてください。

メモ

- 用紙は、カラーラベルプリンター専用紙を使用することをお奨めします。カラーラベルプリンター専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、紙詰まりの原因となる場合があります。
- また、カールしたり折り目のある用紙を使用すると、紙詰まりの原因となります。

1 **オートカッター上部の開閉カバーを開けます。**

2　オートカッター内部を見て、用紙の詰まり状態を確認します。

重要

- 内部にラベル等の貼り付きがないか確認を行ってください。ラベルや切りくずが詰まっていると正常に動作しませんので、必ず取り除いてください。

3 ロールカバーを開けます。

4 給紙部奥側にある、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。

5 ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、搬送方向に用紙を引き出します。

6 しわ等になっている部分を切り取ります。

7 先端部分をカットしたら、ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、用紙を搬送方向と逆に引き出します。

8 上ユニットとオートカッター開閉カバーを閉じます。

9 用紙を再度セットします。

➡ 「1-4-2. 本体にセットする（P.18）」

10 ロールカバーを閉じます。

付録

付録 -1 屋内移動について

本機を同一フロア内または別の階のフロアなどに移動するときなどは、次の手順で正しく設置してください。

1 プリンタードライバーを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択して、［ユーティリティー］タブをクリックします。

2 ［屋内移動準備］をクリックします。

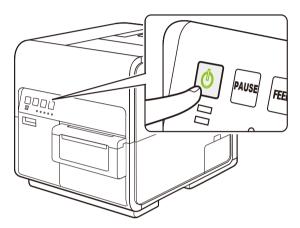
重要

● ［屋内移動準備］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

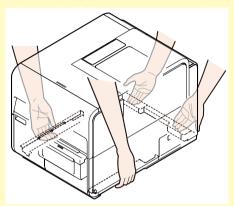
メモ

- ［屋内移動準備］は移動時に本体内にインクが漏れないように、インク受けからインクを抜き取ります。

3 電源キーを長押しして、電源オフにします

4 インターフェイスケーブル、電源コードを取り外します。

5 本体を移動します。

注意

- **本製品は約 24kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（前部と左右）にある取っ手に必ず手をそえて側面側から抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。**

- **本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。**

重要

- 上ユニットやインクタンクドア、メンテナンスカートリッジドアが開いた状態で、本機を移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。
- 本製品を移動するときは、インクタンクを取り出す必要はありません。移動または輸送する前に取り出してしまうと、インクタンク挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

5 移動設置後、電源コードを取り付けます。

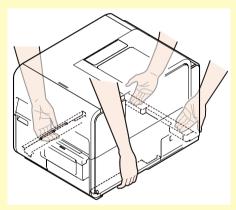
6 本機のコネクタにインターフェイスケーブルを接続し、次にコンピューター側を接続します。

7 電源キーを押して、プリンターを起動します。

付録 -2 輸送について

本機を長距離輸送する場合は、次の手順で正しく行ってください。

注意

- **長距離の輸送や振動の伴う輸送（航空機、電車および自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。**
- **本製品は約 24kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（前部左右と後部）にある取っ手に必ず手をそえてから抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。**

- **本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。**

1

［ステータスモニター］に「メンテナンスカートリッジ空き容量少」の警告メッセージが表示されていないことを確認してください。

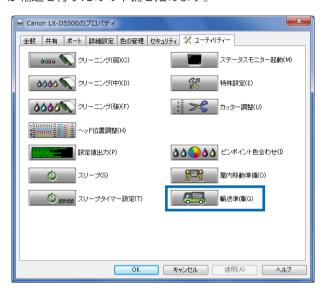
警告メッセージが表示されていたら新しいメンテナンスカートリッジに交換してから作業を開始してください。

重要

- 警告メッセージが出たままで、［輸送準備］を行うとメンテナンスカートリッジがインクで満タンとなりプリンターが停止して、余計に時間が掛かってしまいます。

2 **プリンタードライバーを右クリックして［プリンターのプロパティ］を選択し、［ユーティリティー］タブをクリックします。**

3 **［輸送準備］をクリックします。**

プリンターが輸送を行うための準備を始めます。

メモ

- ［輸送準備］はプリンター本体内のインク流路からインクを抜き取ります。

重要

- ［輸送準備］をクリックして警告が出た場合は、下記を参照してください。

➡ 「【管理者以外の権限で一時的に上記の操作をしたい場合】（P.106）」

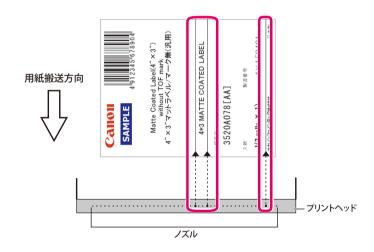
4 販売店またはサービス担当者の指示に従って、緩衝材を間に挟んで正しく梱包して輸送を行ってください。

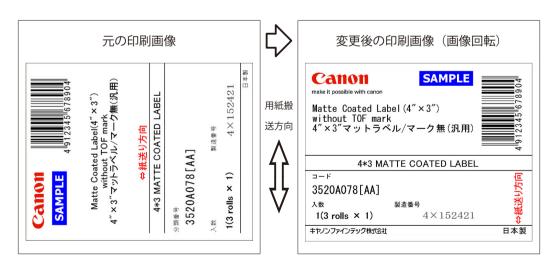
重要

- 上ユニットやインクタンクドア、メンテナンスカートリッジドアが開いた状態で、本機を移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。
- 本機を輸送するときは､必ず､［輸送準備］モードを実行してから移動を行ってください。［輸送準備］モードの実行を行う前にインクタンクを取り出してしまうと、インクタンク挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります

付録 -3 プリントヘッドの上手な使い方

プリントヘッドをより長持ちさせるための使い方を説明します。

用紙搬送方向と同じ方向の罫線を含んだ画像を連続して印刷する（同じ画像のコピー印刷）と、罫線の印刷に使用するノズルが多用され、消耗が早まります。
特定のノズルの消耗が早まると、プリントヘッドの消耗が早まってしまいます。

このような場合、次のように印刷画像の向きを変更すると、プリントヘッドをより長持ちさせることができます。

【罫線の向きを変える】

元の印刷画像は、用紙搬送方向と同じ方向の罫線を印刷しているのでプリントヘッドの消耗が早くなります。
変更後の画像のように画像全体を回転すると、特定ノズルの多用を避けることができます。
このように用紙搬送方向と同じ方向の罫線をできるだけ減らすと、プリントヘッドを長持ちさせることができます。

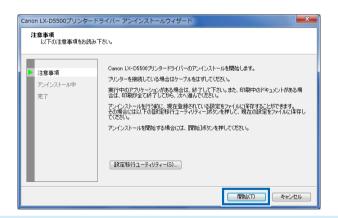
付録 -4 プリンタードライバーのアンインストール

コンピューターにインストールしたプリンタードライバーのアンインストールのしかたを説明します。
アンインストールをする前に、実行中のアプリケーションを全て終了し、印刷がすべて終了していることを確認してから、インターフェイスケーブルを抜いてください。

1 [スタート]メニューの[すべてのプログラム]または[プログラム]から[Canon LX-D5500または Canon LX-P5500]－[プリンタードライバーのアンインストール]を選択します。

アンインストーラが起動します。

メモ

● Windows 8 の場合は、Windows のスタート画面を右クリックし、［すべてのアプリ］から［Canon LX-D5500 または LX-P5500 のアンインストール］を選びます。

2 ［開始］をクリックします。

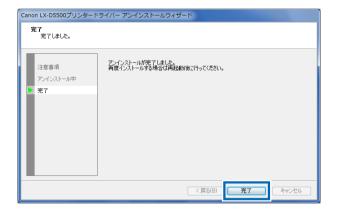
メモ

● [ユーザアカウント制御]ダイアログボックスが表示されることがあります。表示されたときは[続行]または[はい]をクリックします。

● プリンタードライバーの設定項目などを保存しておきたいときは［設定移行ユーティリティー］をクリックしてエクスポート（保存する）を行ってください。

➡「5-1. 設定内容を保存する（エクスポート）（P.253）」

3　［次へ］をクリックします。

4　[完了]をクリックします。

[システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。

5　[はい]をクリックして、Windowsを再起動してください。

メモ

- [いいえ] を選んだ場合は、再度、プリンタードライバーのインストールを行う前に、必ずコンピューターの再起動を行ってください。

付録 -5 設定内容をインポート /エクスポートする

［設定移行ユーティリティー］を使うと、プリンタードライバーに登録した設定内容を別のプリンタードライバーで読み込む（インポートする）ことや、その設定内容をファイル保存する（エクスポートする）ことができます。
たとえば、プリンターを増設したときやプリンタードライバーのバージョンアップを行ったときに、同じ設定内容を再登録する必要がなく、登録済みの設定を使って印刷できます。

メモ

- インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
  - ［ページ設定］シートの［お気に入り］に登録されている印刷設定
  - ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］に登録されている用紙サイズ
- 本プリンターと従来機（LX 760/LX 740）とのインポート / エクスポートには次のような制限があります。
  - 本プリンターの設定内容は、従来機（LX 760/LX 740）へは移行できません。
  - 従来機（LX 760/LX 740）の設定内容のうち用紙サイズ情報のみ、本プリンターへ移行できます。

5-1. 設定内容を保存する（エクスポート）

プリンタードライバーの設定内容をファイルに保存します。

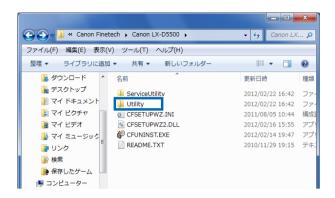
メモ

- インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
  - ［ページ設定］シートの［お気に入り］に登録されている印刷設定
  - ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］に登録されている用紙サイズ
- 本プリンターと従来機とのインポート / エクスポートには次のような制限があります。
  - 設定を移行できる従来機は、LX 760 および LX 740 です。
  - 本プリンターの設定内容は、従来機へは移行できません。
  - 従来機の設定内容のうち用紙サイズ情報のみが本プリンターへ移行できます。

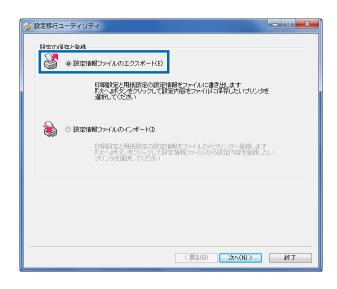
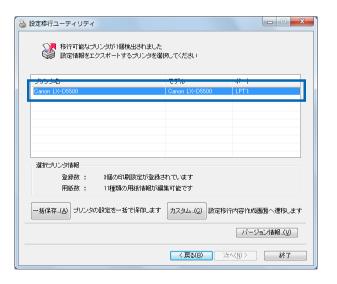
1 C：ドライブの「Program Files」フォルダーをダブルクリックします。

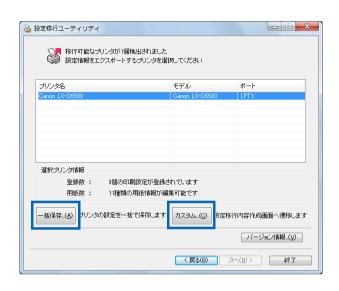
2 「Canon Finetech」フォルダーをダブルクリックします。

3 「Canon LX-D5500」または「Canon LX-P5500」フォルダーをダブルクリックします。

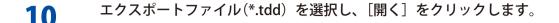
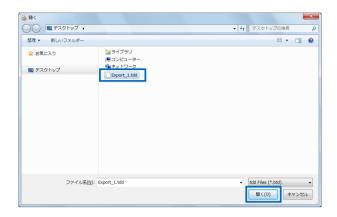
4 「Utility」フォルダーをダブルクリックします。

5 「transdat.exe」をダブルクリックします。

［設定移行ユーティリティー］が起動します。

6 ［設定情報ファイルのエクスポート］をチェックして、［次へ］をクリックします。

7 エクスポートを行うプリンター（ドライバー）を一覧から選択します。

8 ［一括保存］または［カスタム］をクリックします。

設定内容をすべてエクスポートする場合は［一括保存］をクリックし、手順 13 へ進みます。
設定内容を選んでエクスポートしたい場合は［カスタム］をクリックし、手順 9 へ進みます。

9 移行データ作成ダイアログボックスが表示されます。

初めてエクスポートするときや新規ファイルを作成するときは、手順 11 へ進みます。既存のエクスポートファイルに追加登録するときは、［ファイル選択］をクリックします。

10　エクスポートファイル（*.tdd）を選択し、［開く］をクリックします。

ダイアログボックスの右側に読み込んだ情報が表示されます。

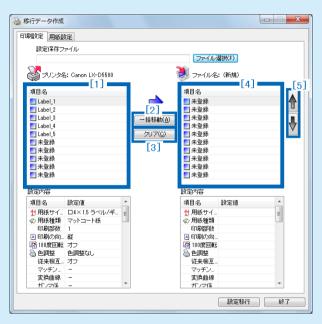
メモ

- 印刷設定情報は、移行データ作成ダイアログボックスの［印刷設定］シートに読み込まれます。
- 用紙設定情報は、移行データ作成ダイアログボックスの［用紙設定］シートに読み込まれます。

11 エクスポートする印刷設定を選択し、登録します。

用紙設定のみをエクスポートするときは、手順 12 へ進みます。

メモ

● ［印刷設定］シートについて

［1］ **プリンタードライバーの印刷設定情報の表示**
［ページ設定］シートの［お気に入り］の一覧が［項目名］に表示されます。選択している項目名の詳細な情報が下段の［設定内容］に表示されます。

［2］ **一括移動ボタン**
［1］のすべてを［4］へ登録します。

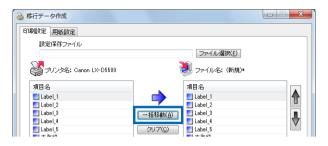
［3］ **クリアボタン**
［4］は初期設定に戻ります。

［4］ **エクスポートする印刷設定情報の登録**
エクスポートする印刷設定が［項目名］に表示されます。選択している項目名の詳細な情報が下段の［設定内容］に表示されます。

［5］ **登録番号の入替えボタン**
［4］の項目名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

■ すべての項目名を登録するとき

［一括移動］をクリックします。

📖メモ

● 一括移動すると、既存の項目名をすべて上書きします。
既存のファイルに追加登録するときは、項目名を選んで登録してください。

■ 項目名を選んで登録したいとき

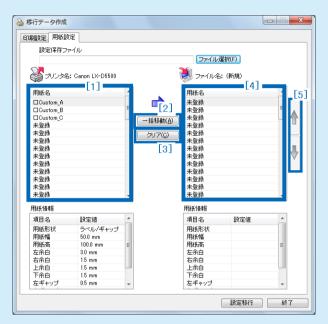
項目名をドラッグしてドロップすると、1 つずつ、最大 10 個まで登録することができます。

📖メモ

● 「未登録」の位置でドロップすると、登録項目名の末尾に登録されます。また、登録項目名上でドロップすると、その位置の項目名を上書きします。

12　エクスポートする用紙設定を選択し、登録します。

メモ

● ［用紙設定］シートについて

［1］　**プリンタードライバーの用紙サイズ情報の表示**
［ページ設定］シートの［用紙サイズ］の一覧が［用紙名］に表示されます。
選択している用紙名の詳細な情報が下段の［用紙情報］に表示されます。

［2］　**一括移動ボタン**
［1］のすべてを［4］へ登録します。

［3］　**クリアボタン**
（4）は初期設定に戻ります。

［4］　**エクスポートする用紙サイズ情報の登録**
エクスポートする用紙設定が［用紙名］に表示されます。選択している用紙名の詳細な情報が下段の［用紙情報］に表示されます。

［5］　**登録番号の入替えボタン**
［4］の用紙名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

• ［1］の用紙名を選択した状態から、クリックすると用紙名を変更することができます。

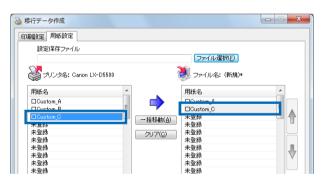
■ すべての用紙名を登録するとき

［一括移動］をクリックします。

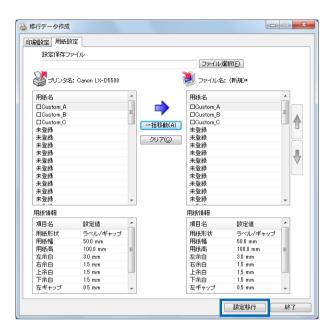
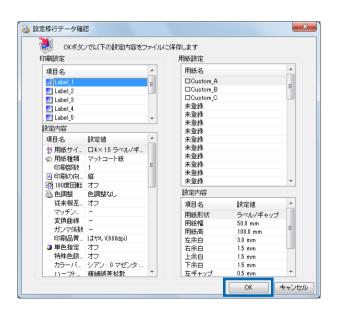
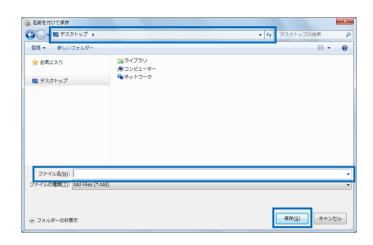
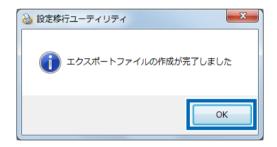
メモ

- 一括移動すると、既存の用紙名をすべて上書きします。
  既存のファイルに追加登録するときは、用紙名を選んで登録してください。

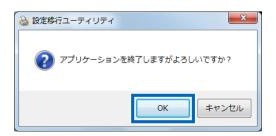
■ 用紙名を選んで登録するとき

用紙名をドラッグしてドロップすると、1種類ずつ、最大50種類まで登録することができます。

メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録用紙名の末尾に登録されます。また、登録用紙名上でドロップすると、その位置の用紙名を上書きします。

13 ［設定移行］をクリックします。

14 表示された内容で保存するときは、［OK］をクリックします。

15 ファイルの保存場所、およびファイル名(*.tdd)を入力し、［保存］をクリックします。

16 [OK]をクリックします。

17 設定移行データ作成画面と設定移行ユーティリティー画面の [終了]をクリックします。

18 [OK]をクリックします。

5-2. 設定内容を読み込む（インポート）

プリンタードライバーの設定内容を読み込みます。インポートのしかたには、次の 2 種類があります。

■エクスポートファイルから読み込む

本プリンター、または従来機 (LX 760/LX 740) のプリンタードライバーの設定内容を保存したファイル（エクスポートファイル）から読み込みます。

■プリンタードライバーから読み込む

コンピューターにある他の本プリンターまたは従来機（LX 760/LX 740）のプリンタードライバーから直接設定内容を読み込みます。

メモ

● インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。

- ［ページ設定］シートの［お気に入り］に登録されている印刷設定
- ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］に登録されている用紙サイズ

● 本プリンターと従来機とのインポート / エクスポートには次のような制限があります。

- 設定を移行できる従来機は、LX 760 および LX 740 となっています。
- 本プリンターの設定内容は、従来機へは移行できません。
- 従来機の設定内容のうち用紙サイズ情報のみが本プリンターへ移行できます。

1 C：ドライブの「Program Files」フォルダーをダブルクリックします。

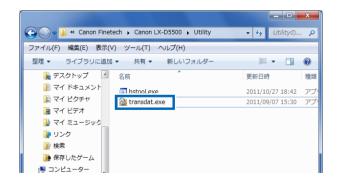
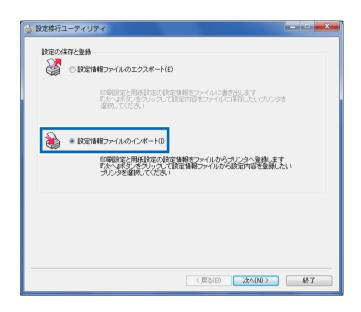
2 「Canon Finetech」フォルダーをダブルクリックします。

3 「Canon LX-D5500」または「Canon LX-P5500」フォルダーをダブルクリックします。

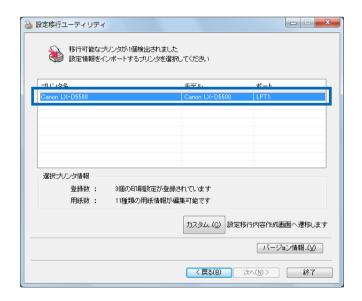
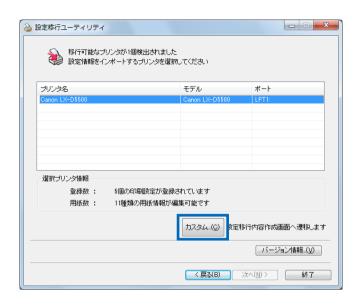
4 「Utility」フォルダーをダブルクリックします。

5 「transdat.exe」をダブルクリックします。

［設定移行ユーティリティー］が起動します。

6

［設定情報ファイルのインポート］を選択し、［次へ］をクリックします。

7

インポートを行うプリンター（ドライバー）を一覧から選択します。

8　［カスタム］をクリックします。

9　［ファイル選択］または［プリンター選択］をクリックします。

エクスポートファイル読み込むときは、［ファイル選択］をクリックします。
プリンタードライバーから読み込むときは［プリンター選択］をクリックします。

📖 **メモ**

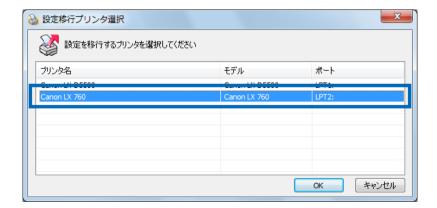
- このとき、ダイアログボックスの右側に表示される情報は、インポートを行うプリンターに現在保存されている設定内容です。

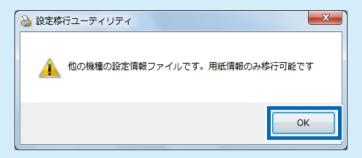
10 それぞれの手順に従って、次のように操作します。

■ エクスポートファイル読み込むとき

エクスポートファイル（*.tdd）を選択し、［開く］をクリックします。

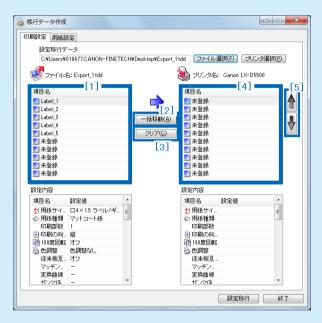
■ プリンタードライバーから読み込むとき

設定移行元のプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- 従来機（LX 760/LX 740）の情報を読み込むと、次のようなメッセージが表示されます。従来機の設定内容のうち用紙サイズ情報のみが本プリンターへ移行できます。

11 読み込んだ印刷設定情報からインポートする印刷設定を選択し、登録します。

用紙設定のみをインポートするときは、手順 12 へ進みます。

メモ

● ［印刷設定］シートについて

［1］　**印刷設定情報の表示**

エクスポートファイル、またはプリンタードライバーから読み込んだ印刷設定の情報が表示されます。

印刷設定の一覧、または［ページ設定］シートの［お気に入り］の一覧が［項目名］に表示されます。選択している項目名の詳細が下段の［設定情報］に表示されます。

［2］　**一括移動ボタン**

［1］のすべてを［4］へ登録します。

［3］　**クリアボタン**

［4］は初期設定に戻ります。

［4］　**インポートする印刷設定情報の登録**

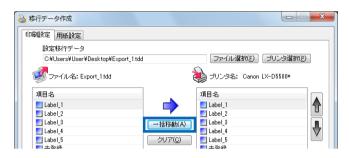
インポートする印刷設定が［項目名］に表示されます。選択している項目名の詳細が下段の［設定情報］に表示されます。

［5］　**登録番号の入替えボタン**

［4］の項目名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

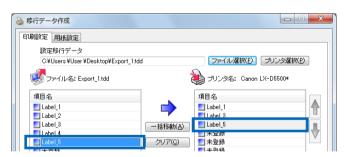
■ すべての項目名を登録するとき

［一括移動］をクリックします。

メモ

- 一括移動すると、既存の項目名をすべて上書きします。
  インポートを行うプリンターに保存されている印刷設定を残したいときは、項目名を選んで登録してください。

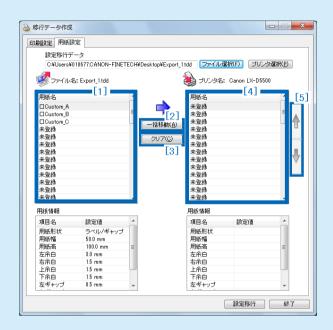
■ 項目名を選んで登録するとき

項目名をドラッグしてドロップすると、1 つずつ、最大 10 個まで登録することができます。

メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録項目名の末尾に登録されます。また、登録項目名上でドロップすると、その位置の項目名を上書きします。

12 読み込んだ用紙サイズ情報から、インポートする用紙サイズを選択します。

メモ

● ［用紙設定］シートについて

［1］　**用紙サイズ情報の表示**

エクスポートファイル、またはプリンタードライバーから読み込んだ用紙サイズの情報が表示されます。
用紙名の一覧、または［ページ設定］シートの［用紙サイズ］の一覧が［用紙名］に表示されます。選択している用紙名の詳細が下段の［用紙情報］に表示されます。

［2］　**一括移動ボタン**

［1］のすべてを［4］へ登録します。

［3］　**クリアボタン**

［4］は初期設定に戻ります。

［4］　**インポートする用紙サイズ情報の登録**

インポートする用紙サイズが［用紙名］に表示されます。選択している用紙名の詳細が下段の［用紙情報］に表示されます。

［5］　**登録番号の入替えボタン**

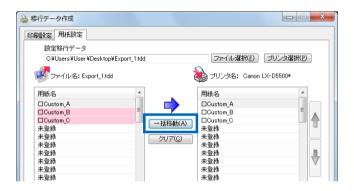
［4］の用紙名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

メモ

- ［1］の用紙名を選択した状態から、クリックすると用紙名を変更することができます。
- ［1］と［4］に同じ用紙名があるときは、［1］の用紙名を赤くマーキングします。用紙名を選んで登録する場合、赤くマーキングされた用紙名を［4］に登録することができません。登録を実行したいときは、用紙名を変更してください。
- 従来機から読み込んだとき、標準用紙サイズを含むすべての用紙サイズが表示されます。赤くマーキングされた用紙サイズは用紙名を変更してください。

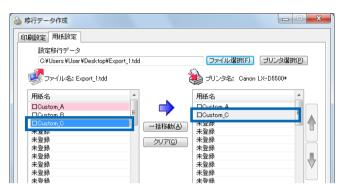
■ すべての用紙名を登録するとき

［一括移動］をクリックします。

メモ

● 一括移動すると、既存の用紙名をすべて上書きします。
インポートを行うプリンターに保存されている用紙サイズを残したいときは、用紙名を選んで登録してください。

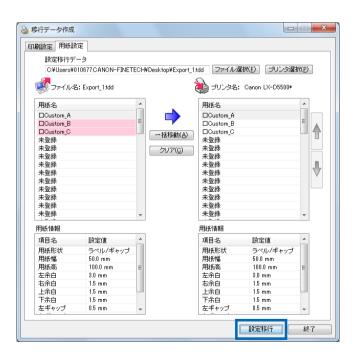
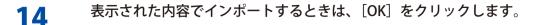
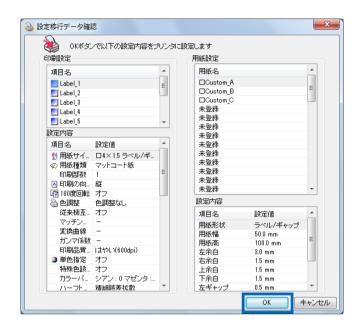
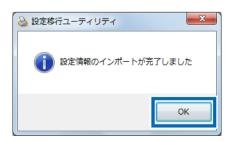
● 従来機（LX 760/LX 740）から本プリンターへのインポートを行うときは、一括移動できません。用紙名を選んで登録してください。

■ 用紙名を選んで登録したいとき

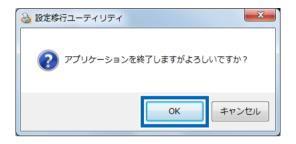
用紙名をドラッグしてドロップすると、1種類ずつ、最大50種類まで登録することができます。

メモ

● 「未登録」の位置でドロップすると、登録用紙名の末尾に登録されます。また、登録用紙名上でドロップすると、その位置の用紙名を上書きします。

13 ［設定移行］をクリックします。

14 表示された内容でインポートするときは、［OK］をクリックします。

15 ［OK］をクリックします。

16 ［OK］をクリックします。

17 移行データ作成画面と設定移行ユーティリティー画面の［終了］をクリックします。

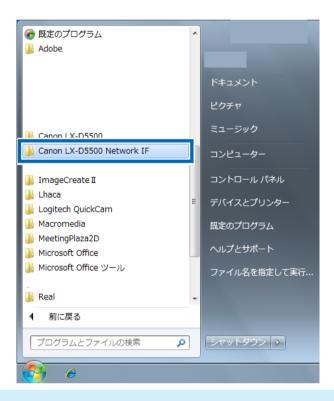
18 ［OK］をクリックします。

付録 -6 ネットワークユーティリティーについて

このユーティリティーソフトウェアは、ネットワークに接続されているプリンターの検索および各種設定を行うためのソフトウェアです。

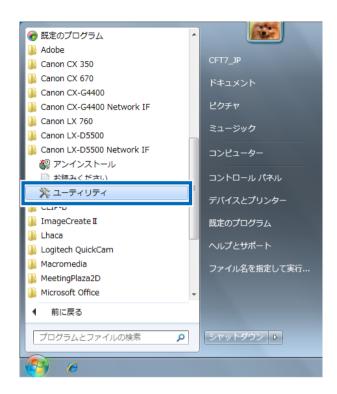
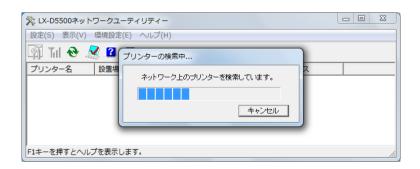
Important

- ネットワークユーティリティーをお使いになる場合は、ネットワーク管理者の方が設定を行うようにしてください。

1 Windowsのスタートメニューから［All programs］をクリックします。

2 ［Canon LX-D5500（または LX-P5500）Network IF］をクリックします。

メモ

- Windows 8 の場合は、Windows のスタート画面を右クリックし、［すべてのアプリ］から［Canon LX-D5500（または LX-P5500）Network IF］を選びます。

3 次に、[ユーティリティ] をクリックします。

4 プリンターの検索を行います。

5　［ユーティリティー］が起動します。

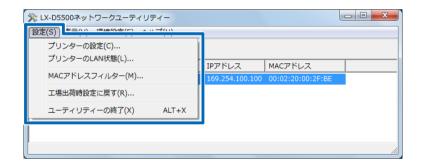
6-1. ツールバーの説明

[1]	**プリンターの設定**	プリンターのネットワーク設定画面を表示します。
[2]	**プリンターの LAN 状態**	有線 LAN の通信状態を表示します。
[3]	**プリンターの再検索**	プリンターの再検索を行います。
[4]	**ユーティリティーの環境設定**	ユーティリティーの環境設定を行います。
[5]	**ユーティリティーのヘルプ**	ヘルプを表示します。
[6]	**ユーティリティーの終了**	ユーティリティーを終了します。

6-2. メニューバーの説明

［ユーティリティー］の設定を行います。

6-3. 設定

1 メニューバーから［設定］をクリックしてプルダウンメニューを表示します。

■ プリンターの設定

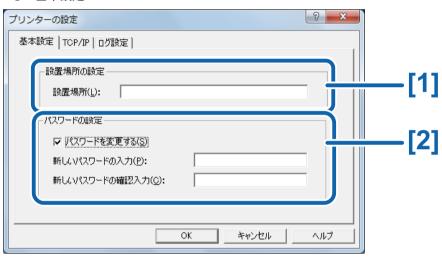
1. プルダウンメニューから［プリンターの設定］をクリックするとパスワード設定画面が表示されます。

＊デフォルトパスワードは、[admin] です。

2.　　パスワードを入力後、［OK］をクリックします。

3.　　プリンター設定画面を表示します。

［基本設定］、［TCP/IP］、［ログ設定］について説明します。

● 基本設定

基本設定		
[1]	設置場所の設定	プリンターを設置している場所を入力します。
		＊入力可能文字数：0 ～ 15 文字
[2]	パスワードの設定	パスワードの再設定を行います。
		＊入力可能文字数：0 ～ 8 文字

● TCP/IP

TCP/IP		
[1]	**IP アドレスを自動的に取得する**	IP アドレスを自動的に取得します。
[2]	**IP アドレスを指定する**	IP アドレスを指定します。
		＊ IP アドレスを DHCP サーバーから取得しない場合に選択します。 または、プリンターに設定されている IP アドレスを変更したい場合に使用します。

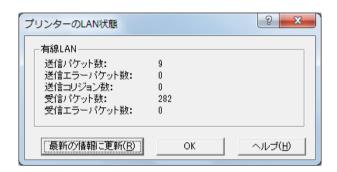
● ログ設定

ログ設定		
[1]	プリンターのログ	プリンターのログファイルの保存先を入力します。
[2]	コンピューターのログ	ネットワーク通信（プリンターとコンピューターの通信）のログをファイルに出力するときにチェックを入れます。
[3]	保存先	ネットワーク通信（プリンターとコンピューターの通信）のログの保存先を入力します。

4.［OK］をクリックします。

■ プリンターの LAN 状態

プリンターから取得したネットワークの状態をチェックします。

1.　プルダウンメニューから [プリンターの LAN 状態] をクリックします。

2.　プリンターから取得したネットワークの状態を表示します。

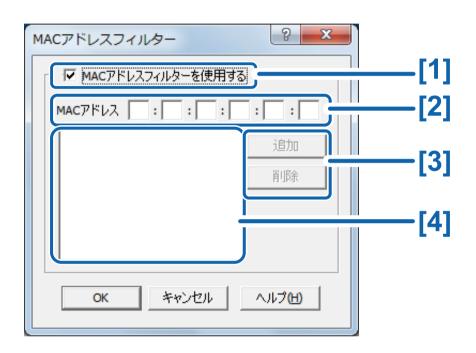
3.　確認したら、［OK］をクリックします。

■ MAC アドレスフィルター（プリンターを 2 台以上使用している場合に使用します。）

1.　メニューバーの［設定］をクリックしてプルダウンメニューから［MAC アドレスフィルター］をクリックします。

2.　パスワード設定画面が表示されますので、入力して［OK］をクリックします。

＊デフォルトパスワードは、[admin] ですが、［設定］のプルダウンメニューの［プリンターの設定］から［基本設定］でパスワードを変更した場合は、その変更したパスワードが有効になります。

3.　［MAC アドレスフィルター］画面が表示されますので、チェックを入れて入力をします。

MAC アドレスフィルター		
[1]	MAC アドレスフィルターを使用する	マックアドレスフィルターを使用する場合にチェックを入れます。
[2]	MAC アドレス	マックアドレスを入力します。
[3]	追加 / 削除	マックアドレスの追加および削除を行います。
[4]	リスト表示	プリンターに登録されている MAC アドレスのリストを表示します。

4.　設定が完了したら［OK］をクリックします。

■ 工場出荷時設定に戻す

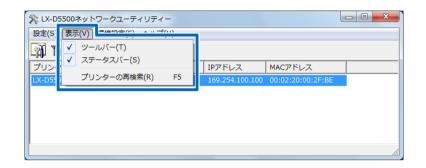
1. プルダウンメニューから［工場出荷時設定に戻す］をクリックします。

2. パスワード設定画面が表示されますので、入力して［OK］をクリックします。

＊デフォルトパスワードは、[admin] ですが、［設定］のプルダウンメニューの［プリンターの設定］から［基本設定］でパスワードを変更した場合は、その変更したパスワードが有効になります。

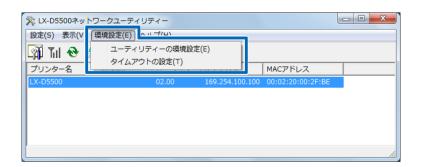
3. 確認画面が表示されますので、［OK］をクリックしてください。

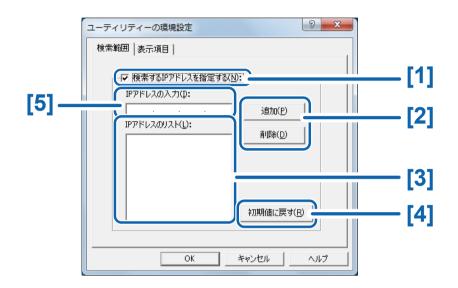
6-4. 表示

1 メニューバーから［表示］をクリックしてプルダウンメニューを表示します。

＊デフォルトはチェックが入っています。チェックを外すと［ツールバー］［ステータスバー］は表示されません。

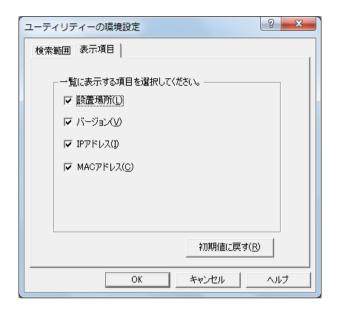
6-5. 環境設定

ユーティリティーの動作環境設定を行います。

1 メニューバーから［環境設定］をクリックしてプルダウンメニューを表示します。

2 ［ユーティリティーの環境設定］をクリックします。

● 検索範囲

検索範囲		
[1]	**検索する IP アドレスを指定する**	チェックオン：検索する IP アドレスを指定する場合。
		チェックオフ：ネットワーク上のプリンターを検索する。
[2]	**追加 / 削除**	IP アドレスを検索リストに追加または削除する。
[3]	**IP アドレスのリスト**	検索対象の IP アドレスのリストを表示する。
[4]	**初期値に戻す**	検索範囲の設定を初期値に戻す。
[5]	**IP アドレスの入力**	検索リストに追加する IP アドレスを指定する。

● 表示項目

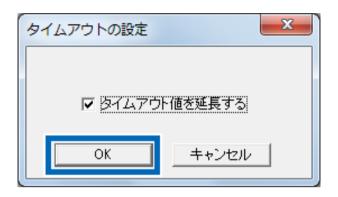
起動時に初期表示させるための設定項目を選択します。

＊プリンター名は常に表示するために、選択項目には入れていません。

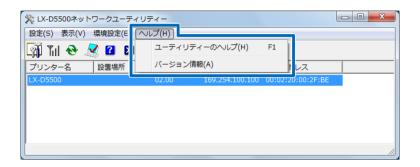
3 **メニューバーから［環境設定］をクリックしてプルダウンメニューを表示して、［タイムアウトの設定］をクリックします。**

■ タイムアウトの設定

印刷データがタイムアウトにより再送されることを回避するために、ネットワークのタイムアウト時間を延長するための設定を行います。

1.　プルダウンメニューから［タイムアウトの設定］をクリックします。

2.　［タイムアウト値を延長する］にチェックを入れて、［OK］をクリックします。

6-6. ヘルプ

1 メニューバーから［ヘルプ］をクリックしてプルダウンメニューを表示します。

■ ユーティリティーのヘルプ

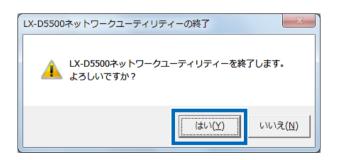
クリックするとヘルプを表示します。

■ バージョン情報

クリックするとユーティリティーのバージョンを表示します。

全て設定が終わったら、［設定］をクリックしてプルダウンメニューから［ユーティリティーの終了］をクリックします。

［はい］をクリックすると終了です。

仕様

■ プリンター本体

機種名	LX-D5500（染料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）
印刷方式	インクジェット記録方式	
印刷色	フルカラー	
解像度	1200dpi × 1200dpi	
印刷速度	自動速度 マニュアルモード： 200/160/120/100/90/80/70/60/50mm/秒	自動速度 マニュアルモード： 150/120/100/90/80/70/60/50mm/秒
	自動速度	
最大印刷領域	幅 106.3mm ×長さ 397mm	
印刷余白 （用紙搬送方向に対して）	前後　1.5mm 左右　2.7mm（セパレータ込み）*1［拡張時：2.5mm］	
プリントヘッド	各色 5,030 ノズル（有効ノズル数）	
用紙	カラーラベルプリンター専用紙（マットコート紙、光沢紙、合成紙、薄紙マットコート紙、白 PET）	カラーラベルプリンター専用紙（マットコート紙、光沢紙、合成紙、薄紙マットコート紙）
用紙サイズ	幅 25.4mm 〜 120mm、長さ 6.0mm 〜 400mm	
用紙厚さ	145μm 〜 255μm	
給紙容量	最大 200mm 以内／紙管 76.2mm	
使用インク	染料系インクタンク イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（Bk）	顔料系インクタンク イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（Bk）
インターフェイス	Hi-Speed USB、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
拡張インターフェイス	RS-232C × 2（外部機器接続用）	
稼動音	約 55 dB（A）以下	
設置環境温度	温度 15 ℃〜 30 ℃、湿度 10% 〜 80%（ただし、結露なきこと）	
電源	AC100-240V　50/60Hz	
消費電力	動作時：233 W（最大） スリープ時：8 W 以下	動作時：250 W（最大） スリープ時：9 W 以下
	オートカッター装着動作時 ：268 W（最大）	オートカッター装着動作時 ：265 W（最大）
本体寸法	幅 386mm × 奥行き 570mm × 高さ 394mm	
	オートカッター装着時　幅 386mm × 奥行き 686.6mm × 高さ 394mm	
本体質量	約 24kg（インクタンクを除く）	

*1：ただし、ラベル紙をご使用される場合は、ラベルの左右端から各 1.5mm 以上の余白が必要です。

■オートカッター（オプション）

形式		ロータリーカッター
設置方式		プリンター排紙口にビスで固定
切断速度		プリンター速度に準ずる
用紙条件	種類	カラーラベルプリンター専用紙（マットコート紙、光沢紙、合成紙、薄紙マットコート紙、白 PET）
	カットサイズ	幅：25.4mm 〜 120mm
		長さ：38.1mm 〜 400mm
	切断可能厚さ	45µm 〜 255µm
外形寸法		幅 221mm ×奥行き 187mm ×高さ 230mm
重量		約 4.0kg
使用環境		温度：15℃〜 30℃　湿度：10%〜 80%（ただし、結露なきこと）

索引

索引

番号

欧字

A

E

L

R

S

T

U

かな

あ

い

う

た

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

ゆ